

レトロなバイクで行こう。

# Woman★Rider

## ツーリング日記

ピラ手 著



## はじめに

---

この本は、2005年から書き始めたブログのツーリングレポートをまとめて再構成したものです。

2001年にバイクに乗り始めた時は、  
こんなにまで自分の人生にバイクが大きな存在となるとは思っていませんでした。

乗ってみて初めてバイクの魅力、日本の魅力、自然や風景の素晴らしさ、  
人の優しさ、自分の気持ちなど、様々なことに気が付きました。

風の匂い、四季折々の花々、美しい里山、絶景の温泉・・・  
都心への通勤電車とは対極にある風景。

バイクがあればどこへでも行ける。そんな自由な気持ちになりました。  
そう思って地図を広げると、そこには無限の楽しみが広がっていました。

まだ見たことのないところへ行ってみたい。  
その土地でしか見られないものを見てみたい。（食べてみたい。）  
どんな風景が待っているんだろう。  
バイクと共にどんな景色を見ることができるんだろう。

そんな風に、いつしかツーリングというものが心を支えてくれました。

エストレヤという250ccのバイクを中古で手に入れたのが始まりで、  
とあるバイクショップにお世話になり、奥多摩から始まって山梨、岐阜、富山、と  
行動範囲はぐんぐん広がって行きました。

半年後には大型二輪免許を取り、これまたレトロなスタイルのw650に乗り始めました。  
日本の風景に馴染むクラシカルなデザインに一目惚れでした。

やがて一緒にツーリングに行っていたZZR1100乗りの人と家庭を持ち、  
育児が始まると、乗れない時期や一緒に走る人がいなかった時期も長かったです。

でも、1人の先輩から励まされ、ある本にも励まされ、細々と乗っていました。  
いずれはバイクを降りてしまうのだろうか、考えることもありました。

それだけに、数年ぶりに夫婦でツーリングをした時は感慨深かったです。

そして・・・

2013年からはブログを通じて女性ライダーさんとの出会いがたくさんありました。  
日常生活ではほとんど出会えない女性ライダーですが、  
ブログは同じ趣味を持つオンナ同士を巡り合わせてくれました。

そんなツーリングの日々を綴った日記です♪

ではWoman★Riderのツーリング日記、始まり始まりで～す（≧▽≦）

# 目次

---

## 第1章 2001年 レトロなバイクとの出会い～バイクショップや先輩方とのツーリング

生まれてはじめてのバイクツーリングin奥多摩(2001.6)

初めてのお泊まりツーリングin岐阜(2001.9)

榛名湖ツーリング(2001.9)

富士山厳寒ツーリング(2001.12.26)

秩父神社へ初詣ツーリング(2002.1.20)

袋田の滝ツーリング(2002.9)

## 第2章 2002年5月 ソロツーリング能登編 (飛騨古川・能登半島)

能登ツーリング1日目 (調布IC—松本IC—飛騨古川YH) (2002.5.1)

能登ツーリング2日目 (飛騨古川YH—能登漁火YH) (2002.5.2)

能登ツーリング3日目 (能登漁火YH—千枚田—地蔵前民宿) (2002.5.3)

能登ツーリング4日目 (地蔵前民宿—飛騨古川YH) (2002.5.4)

能登ツーリング5日目 (飛騨古川YH—松本IC—八王子IC) (2002.5.5)

## 第3章 2002年8月 ソロツーリング北海道編 (道央・道東・サロマ湖)

北海道ソロツーリング【1日目・出発～乗船】(2002.8.1)

北海道ソロツーリング【1日目・乗船後】(2002.8.1)

北海道ソロツーリング【2日目・北海道上陸～美馬牛ユース】(2002.8.2)

北海道ソロツーリング【3日目・美馬牛リバティYH～北帯広トイピルカYH】(2002.8.3)

北海道ソロツーリング【4日目・北帯広トイピルカYH2泊目】(2002.8.4)

北海道ソロツアーリング【5日目・帯広～北見～美幌峠】(2002.8.5)

北海道ソロツアーリング【5日目・美幌峠～摩周湖】(2002.8.5)

北海道ソロツアーリング【5日目・摩周湖～摩周湖YH】(2002.8.5)

北海道ソロツアーリング【6日目・摩周湖YH二泊目。阿寒湖へ】(2002.8.6)

北海道ソロツアーリング【7日目・摩周湖YH～開陽台～霧多布湿原】(2002.8.7)

北海道ソロツアーリング【7日目・霧多布湿原～釧路湿原とうろYH】(2002.8.7)

北海道ソロツアーリング【8日目・釧路湿原とうろYH～釧路湿原でカヌー】(2002.8.8)

北海道ソロツアーリング【9日目・釧路湿原とうろYH～清里イーハトーヴYH】(2002.8.9)

北海道ソロツアーリング【10日目・清里イーハトーヴYH～サロマ湖YH】(2002.8.10)

北海道ソロツアーリング【11日目・サロマ湖YH～美瑛ポテトの丘YH】(2002.8.11)

北海道ソロツアーリング【11日目・美瑛ポテトの丘YHで驚きの再会】(2002.8.11)

北海道ソロツアーリング【12日目・美瑛ポテトの丘YH～苫小牧港】(2002.8.12)

北海道ソロツアーリング【帰宅編】(2002.8.13)

【オンナ1人ダブルツアーIn北海道を終えて・・・】(2013.10.21)

#### 第4章 2004年4月 南紀・伊勢ツアーリング 2005年 夫婦ツアーリング

南紀・伊勢ツアーリング1日目(自宅ー川崎港)(2004.4.28)

南紀・伊勢ツアーリング2日目(那智勝浦港ー有田オレンジYH)(2004.4.29)

南紀・伊勢ツアーリング2日目続き(那智勝浦港ー有田オレンジYH)(2004.4.29)

南紀・伊勢ツアーリング3日目(有田オレンジYHー高野山青巖寺YH)(2004.4.30)

南紀・伊勢ツアーリング3日目続き(有田オレンジYHー高野山青巖寺YH)(2004.4.30)

南紀・伊勢ツアーリング4日目(高野山ー三重)(2004.5.1)

南紀・伊勢ツアーリング(伊勢志摩スカイライン～パールロード)5日目(2004.5.1～2)

ZZR1100とw650の夫婦で奥会津ツーリング (2005.5月)

秩父へなちよこツーリング! (2005.9.5)

第5章 2006年-2008年 長男誕生～オンナ2人ダブルツーリング In 軽井沢～  
ママはバイクを降りない!?

お礼参りツーリング(^)v(2006.8.20)

オンナ2人、w650ツーリング In 軽井沢 (2006.11.7)

ママはバイクを降りない(2006.11.10)

満開の芝桜ツーリング(2007.5.3)

2年ぶりの夫婦ツーリング(2007.6.24)

2年ぶりの夫婦ツーリング 2 (2007.7.1)

2年ぶりの夫婦ツーリング3 (2007.7.4)

ちょこっと奥多摩ツーリング(2007.8.8)

秩父ツーリング♪(2007.8.30)

おっばい卒業・・・きのこツーリング(2007.10.30)

おいしいお魚つーりんぐ!! (2007.12.6)

真鶴★走り納めツーリング (2007.12.27)

ハンドル交換&越生のにしんそばツー♪(2008.2.27)

久々にチョイ乗り♪ (2008.6.22)

名栗プチツーリング♪(2008.9.16)

第6章 2009年-2012年 長女誕生～引っ越し

無事帰ったトモダチ&産後初w650(2009.8.10)

名栗カフェまでツーリング(2010.5.16)

久々に(2010.5.22)

名栗カフェまでツーリング(W i t h 旦那さん)(2011.9.28)

一時間のお出かけ(2012.8.19)

第7章 2013年 ブログから女性ライダーとの出会い～オンナ2人ダブルツーリング I n 佐久

久しぶりにダブルちゃんとお散歩(2013.7.13)

ダブルちゃんを預けてきました(\*\_\*)(2013.8.19)

ダブルちゃん帰ってきました♪ (\*^^) inゲリラ豪雨(2013.9.1)

お気に入りの温泉発見ツーリング(\*^^)v♪(2013.9.17)

巾着田ツアー(?)行きました(^\_^)(2013.9.18)

オンナ2人、w650&w800ツーリング I n 佐久(2013.9.21)

あとがき

# 第1章 2001年 レトロなバイクとの出会い ～バイクショップや先輩方とのツーリング～

私、自分のバイクを運転して山梨まで来ちゃった！！  
私ってすごくない？（笑）



## 生まれてはじめてのバイクツーリングin奥多摩(2001.6)

---

生まれてはじめてのバイクツーリングは奥多摩でした。

バイクは250ccのestrella（エストレヤ）でした。

深緑と白のツートンのカラーで、シートが二つに分かれたセパレートタイプでした。

メグロなど、昔のバイクが好きな私は、このエストレヤに一目惚れしてしまったのでした。

中古のエストレヤが私のファーストバイクです。

納車の日には社長さんのバイクの後ろに乗せてもらって、色々な注意点を教わりながら走ってもらったり、

家まで先導してもらったりと、本当に頼れるライダー！っていう感じでした。

そして、これからバイクショップのツーリングに参加するにあたり、奥多摩に走る練習にいこう！と誘って下さいました。

女性がバイクに乗るのを応援したいって言って下さって、お忙しい中、すごくあたたかく色々と指導していただきました。

以下、初めてのツーリングの様子を振り返ります。（≧▽≦）

その日は、2001年の夏。

ベテランさんたち数名と奥多摩湖の駐車場を目指すことに。

私、普通の服だし、すごく場違いなんだけど・・・（汗）

皆さん速そうなバイクに、専用のジャケットを着ている。

新青梅街道を突き当たって右折し、突き当りを左折すると道なりに奥多摩だ。

急に道がくねくねして、山っぽくなってくる。

景色なんて見ている余裕はゼロ。

トンネル出口が急カーブだったり、ところどころヒヤヒヤしながら・・・。

一体何速で走ればいいのか？

トンネルをいくつも通過して、奥多摩湖の駐車場へ到着！



奥多摩湖の駐車場は広くて、朝早くだというのにライダーや車の人が集まっていた。  
みなさんとっても優しい。．．．．（涙）

ライダーの一員になれたという気持ちでとっても嬉しかった～(#^.^#)  
奥多摩湖っていう場所があることすら知らなかった私．．．。

ここからは、マンツーマンで柳沢峠まで連れて行ってくださることに。



奥多摩湖の駐車場から柳沢峠までの道は、アップダウンもあり、  
くねくねもあり、初めての登りコーナーでドキドキした～(^\_^;)  
（たぶん最もドキドキしたのは社長さんだけど）

以前も、特訓でコーナーを曲がりきれずに視界から消えた女の子がいたとかいないとか．．．

急なカーブではバイクを寝かすのが怖くて、すごく肩に力が入っていたと思う。  
5速などの高いギアでは失速してしまい、慌ててギアを下げたり．．．  
必死でついていった。

もともと運動は大の苦手で、ドンくさく、反射神経も鈍い私．．．。  
コーナーで頭も一緒に傾いてて、うまくバンクできてなかった．．．（汗）  
（頭は水平に！（笑））

走っている途中、東京都から山梨県に入った！  
私、自分のバイクを運転して山梨まで来ちゃった！！  
私ってすごくない？（笑）

なんとかかんとか、柳沢ドライブインまで到着！



静かな山の中。こんなところがあるんだ～。。。(^o^ )知らなかった。

社長さんは、お店が始まる前の貴重な時間を使って練習に付き合ってくださいました。  
朝早かったし、とっても眠たそう・・・。

こんなに親切にしてくださって、本当にありがたいなあ。。。（また涙）

この峠を下ると塩山などへ出るそうだが、時間的に引き返すことに。  
帰りに奥多摩の梅沢という所で少しバイクを止め、川を眺めたり、  
わさび漬けなどを物色したり。



普段は停まることのない場所だったとかで、新鮮だったみたい。

初めての奥多摩ツーリングは、ドキドキがいっぱいだった。

いきなり、山梨県まで行っちゃった自分に驚いた。

バイクって、雑誌で見るとみたいに、都会を颯爽と走るカッコよさをイメージしていたけれど、  
まるで正反対の、山の中を走る人たちもいるんだな～

（・・・と、当時はカルチャーショックをうけた。）

バイクって、乗りこなすのも練習が必要そうだけど、

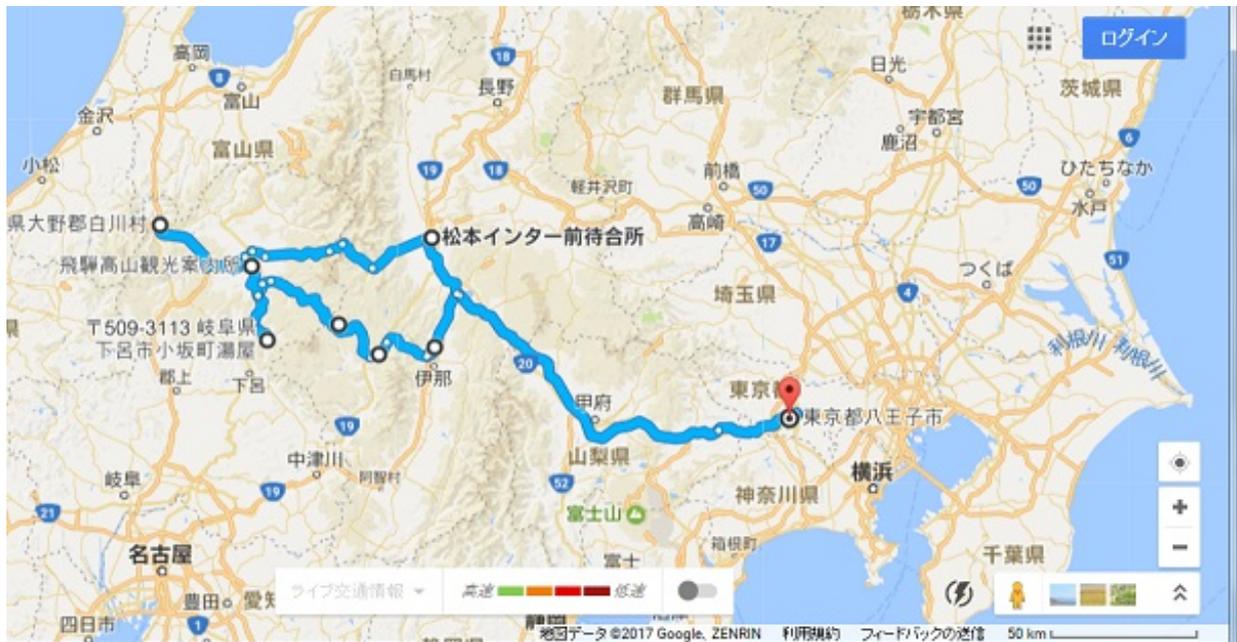
こんな風と一緒に走ってくれる人がいるってとっても安心で、楽しくて、

ありがたいな～って心から思った一日だった。



この後、ツーリングの魅力にハマリ、  
半年後に大型にチャレンジするとは夢にも思っていなかったのだった。 (\*^^\*)

東京はまだ秋の気配もしないのに、もう秋は始まっているんだ・・・



## 初めてのお泊まりツーリングin岐阜(2001.9)

---

バイクに乗り始めて初めてのお泊まりツーリングは感動の連続だった。

デビュー4ヶ月目。へっぴり腰ライダーの私はその頃、  
estrella（エストレヤ）という250ccのバイクに乗っていた。

季節は秋。

バイクショップの方たちは、2泊3日の岐阜ツーリングに  
へなちょこの私を連れて行ってくれたのだった。

私にとって生まれて初めてのお泊まりツーリングだったこともあり、  
今でも様々なシーンが鮮明に思い浮かぶ。

以下、振り返ります（ $\geq \nabla \leq$ ）

朝、4：30に中央道の八王子IC集合。

今では早起きしてツーリングに行くのは当たり前だが、その時は  
あまりの早さに驚いた。3：30に家を出るなんて・・・

中央道で二回ほど休憩を取り、長野自動車道を塩尻ICで降りて、  
R19（中山道）を木曾福島方面へ向かった。

途中、道の駅日義木曾駒高原で休憩を取る。  
道の駅が物珍しく、あれこれ見たり、お団子などを買って食べたりする。

木曾大橋を渡りR361木曾街道に入ると峠道が続く。  
目的は開田高原のお蕎麦。日本一とも言われる蕎麦は有名らしい。  
（と、ツーリングマップルに書いてある・・・）

峠を抜けた辺りに、お蕎麦屋さんが何軒か点在していた。

こんな山の中にお蕎麦屋さんがあるなんて、驚いたなあ。

しかも、結構お客さんが入っている。

未知の世界だった。

お蕎麦を食べて、再び出発する。標高がぐんぐん上がり、  
初心者の私は付いていくのがやっとで、景色を見る余裕はなかった。

なにせ、エストレヤは単気筒のバイクのせいか、2速にしないと峠を  
上っていかない。しかし、2速では他の人に追いつけないので、  
2～5速のギアチェンジをひっきりなしにする必要があったのだ。

信号待ちでふと気づけば一面のススキ野原が風に揺れていた。  
柔らかな日差しをうけて金色に揺れるススキの穂はとても美しく  
幻想的だった。思わず見とれてしまったなあ。

その後R463柳瀬峠→R435濁河峠→R441大平峠と、くねくねとした細い峠を抜ける。

冬期は閉鎖されるような道で、途中閉鎖用のゲートを通って行く。  
標高が高くなるにつれ、気温が下がり、ひんやりと涼しくなって来る。  
所々で木々が鮮やかに紅葉しており、赤や黄色の美しい木々のアーチを  
次々とくぐり抜けて行く。

東京はまだ秋の気配もしないのに、もう秋は始まっているんだ・・・と、  
季節の移り変わりを目で、肌で、実感したのだった。

バイクって本当に五感で楽しむことができる乗り物だなあ。

宿泊先はその少し先の湯屋温泉の民宿、「一二三」（ひふみ）にお世話になる。  
(岐阜県下呂市小坂町湯屋656)

キノコのお鍋がめちゃくちゃ美味しかった。

今でもあのときの食事は美味しかったなあ～と心から思う。



バイク屋のようにずらりと並びました

翌日、白川郷を目指した。

途中、飛騨高山に立ち寄り、飛騨牛の牛串や、松茸のにぎり寿司 (!)などを堪能する。



特別に作ってくれたマツタケにぎり。

あれは美味しかったなあ・・・ぜひまた食べたい。

観光客に紛れて革パン軍団は結構浮いていたけど、他にもライダーらしき軍団がいっぱいたので安心する。



↑ 人力車にも乗れます (乗らなかったけど)

↑ 手焼きのおせんべい。香ばしい～

!



秋がないから、商（あきない）い中！

それにしても、なんて楽しいだろう。（美味しいだろう？）

いままでの人生がひっくり返ったみたいに、目からウロコの体験ばかりだった。

それまで一人ぼっちで悩んでいたのが、嘘みたい。

その後、R158白川街道で白川郷へ向かう。

緩やかなワインディングは初心者の私にも比較的走りやすく、

気持ちよくアクセルを開けることができた。

（といっても大型の皆さんに付いていくのは大変だったので、  
全開走りをしすぎてオイル交換の時にオイルが真っ黒けになっていた。）

すれ違いが困難なトンネルを抜け、御母衣（みぼろ）ダムで記念撮影をする。

そして、白川郷へ到着！

世界遺産に登録された白川郷の茅葺き住宅が民宿になっており、

昔ながらの雰囲気が残されていた。



お宿は「十衛門」です。

コスモスがキレイ。

初めて見る白川郷の絶景に感激し、こんな遠くまで自分のバイクで来てしまったという喜びに、胸がいっぱいになった。民家の子どもとも触れあって、楽しくワイワイと夜は更けていった。

翌日、R158を松本方面に向かう。平湯トンネルまでの道は緩やかなワインディングで走りやすく、ペースも上がっていく。

岐阜って、ホントいい道が多い。そして車が少ないのだ。

しかし、まだまだ曲がるのが怖い時期で、コーナー手前で上手に減速ができず、立ち上がりでもアクセルを開けることができなくて、結果的にどんどん離されてしまう。他の人たちに迷惑をかけてしまうという思いで、あせればあせるほど、道路ではなく、前の人を凝視してしまい、うまく曲がれなかった。

そうこうしているうちに、上高地を抜け、R25を塩尻方面に入る。このあたりは唐沢そば集落というものがあり、一見普通の民家なのだが、集落一帯でお蕎麦屋さんをやっているのだ。

R25に入って少し行くと、「ようこそ唐沢集落へ」という看板が目印だ。看板を右へ入ると、坂道沿いに蕎麦屋（普通の民家）が点在する。普通の家なのに、お蕎麦屋さんだなんて・・・  
またまたカルチャーショックを受け、塩尻インターから帰路に着く。

塩尻インターまでの道、日本アルプスサラダ街道は、辺りを山に囲まれたとっても気持ちがいい道だ。最後の最後まで素晴らしい景色を楽しむことができた。こんな風に私の初お泊まりツーリングは感動の連続で、オートバイの素晴らしさに目覚めるきっかけを与えてくれた。

きっと初めてのツーリングは、誰もがこのように感動の連続だと思う。悩んだり、迷っているのなら、ぜひ勇気を持って一步を踏み出して欲しいと思う。初めてのツーリングで味わった感動は、人生を変えちゃうかも。

この頃はまだ地図を見ながら走る、なんてとてもできない頃で、  
地図すらもっていなかったかも・・・(^\_^;)   
ただ人について走るのが精一杯でした。



## 榛名湖ツーリング(2001.9)

---

2001年春、私は中免を取得した。

いまでは「中免」とは言わないけど、

当時は400CCまでのバイクが乗れる免許のことを中型免許（略して中免）っていったのだ。

そして、たまたま教習所で知り合った人に紹介され、

Kawasakiの正規販売店へと連れて行ってもらい、

そこで250CCのレトロなバイク「エストレヤ」に出会った。

（ずっとエストレアって言っていたけど。）

足つきがとても良く、軽くて乗りやすいバイク。

そして見た目がとってもレトロでカッコイイ。

私が絶版車カタログでよく目にしていたあの「メグロ」などを思わせるデザイン。

周囲には誰もバイクに乗っている知り合いなどはいなかった。

でも、バイクショップの社長さんや、お客さんたち、お店の方たちが

一緒に走ってくれたり、特訓！？してくれて・・・

何とか公道を走れるように♪

・・・そしてなんと、秋には仕事の先輩たちがツーリングに誘ってくれたのだった！！

わーい、(^o^)

先輩たちと行ったのは榛名湖。

以下、記憶を辿りつつ、写真とともに振り返ってみたいと思います♪

待ち合わせの関越道のSAにて。（高坂かな？）



エストにまたがっている貴重な(?)ショットです♪  
当時は、オレンジのSHOEIジェッペルにサングラスでした。  
ジャケットも普通の服で、下はジーパン。  
プロテクターの存在すら知らなかった。。。。

いや、知っていたけど、限りなく見た目重視でした。(汗)

この頃はまだ地図を見ながら走る、なんてとてもできない頃で、  
地図すらもっていなかったかも・・・(^\_^;)   
ただ人について走るのが精一杯でした。

この日のメンバーのバイクは、シェルパ、エストレヤ(青)、エストレヤ(緑)、SRです。



関越道を渋川伊香保ICで降り、伊香保方面へ。  
途中、いい感じのお店で休憩～♪



レトロな感じでツボ！

こういう世界にひょいッと来られちゃうバイクにうっとりしていました。

この日の目的は、水沢うどんと榛名湖。

少し行くと水沢うどんのお店が何軒も立ち並び、そのうちの一軒へ入りました。

つやつやしていておいしかった～（まだ覚えてる（笑））



食事の後は、榛名湖を目指します。

結構くねくねしたコーナーを必死で登って・・・

やっと直線に！



なが～いくだり坂。

エストのピラ手♪



きっっ切れてる～（笑）

榛名湖に到着～



ここで、SRの先輩がコーヒーを淹れてくれました。  
惚れた～（笑）

バイクで行った先でコーヒーを沸かして飲む。  
なんて渋いんだ！

この後、地蔵峠という峠へ行き、道に迷って引き返し、  
横川の釜飯を買って帰りました。

私の人生初のお友達ツー。

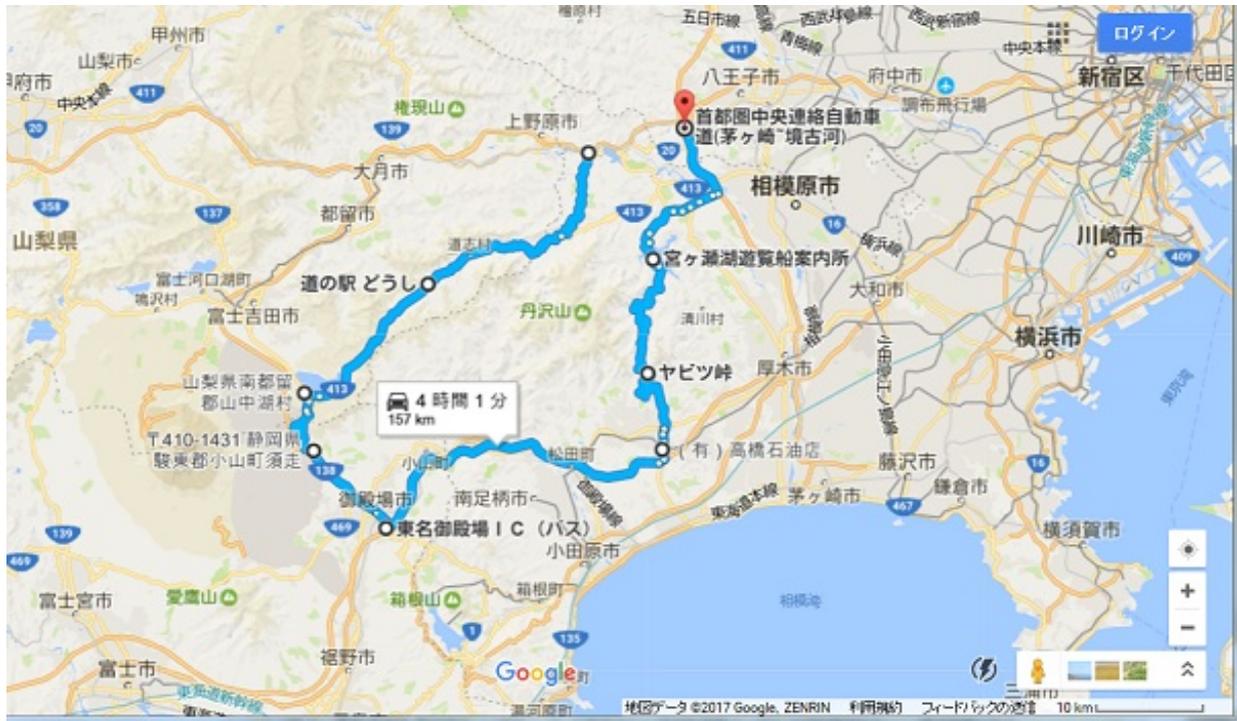
ホントに楽しかったな～(#^.^#)

今回の写真は、ツーリングに行くたびにA4サイズの紙に写真を  
コラージュ風にのっけてツーリングした人へ渡していたものです。

こうして写真やコメントを一枚の紙にプリントしておくのも後で見返すと楽しいですね♪

今度時間があったらやってみようかな～って思います。

信号待ちでブレーキをかけたら、  
リアタイヤがブリブリとロックして左右に振れて焦りました〜(° o °)



## 富士山厳寒ツーリング(2001.12.26)

---

2001年の冬のある日、私は何をしていたかというところ・・・

SR乗りの先輩と、シェルパの先輩と一緒に  
厳寒の山中湖へツーリングに行ったのでした！(^\_^;)

何しろツーリング経験が浅くて、冬の山中湖の寒さなど全くわかっていなかった。  
(路面に雪があり、メチャ怖かった～)

久しぶりに出てきた写真を見ると、防寒はしっかりしていて、  
他の人よりもポカポカしていた模様。  
(おやつもしっかり持っていたし)

宮ヶ瀬湖で日が暮れて、下道で帰ったこともあり、とてつもなく  
遠い場所というイメージがあったけど、  
当時はまだ圏央道もできてなかったから、仕方ないですね(^\_^;)

写真と共に振り返ってみたいと思います。

2001年12月26日

先輩たちとの待ち合わせは、中央道の藤野PAだった。  
一人で高速のPAに行くのは初めてで、かなりドキドキ♪

無事待ち合わせ場所に到着し、私もやればできる！？(#^.^#)  
頼れる先輩たちの後を追って、上野原ICから道志みちを目指す。

山中湖に着くと突然路面の状態が怪しくなり・・・(汗)  
しかもとっても寒い～

だけど、先輩たちとツーリングに来られたということがとってもとっても嬉しくて、  
終始笑顔だった気がする・・・。

SR乗りの先輩は革ジャンで、ぶるぶる震えていた。

あ、この先輩、私が出産した時にお祝いを下さって  
「お返しはいらぬからバイクを降りないでね」って言って下さったお方(#^.^#)

先輩たちが頼もしくて、かっこよくて。

仕事上ではかなり上の先輩方・・・。

バイクという縁で親しくさせていただく事ができて、すごく嬉しくて(^.^)

寒さのせいか、先輩は私が持っているキャラメルをガンガン食べて暖をとっていた（笑）

もしバイクに乗っていなかったら、  
こうして先輩方と時間を共有する事もなかったと思うと、  
ホント不思議なものですね。

山中湖畔はシャーベット状の雪で車の轍が残った状態の路面。。（汗）



信号待ちでブレーキをかけたら、リアタイヤがブリブリとロックして左右に振れて焦りました～(° o° )

そそくさと山中湖を脱出し、須走あたりでお蕎麦を食べ、少しホッとして(^\_^;)

東名高速の大井松田ICまで下道で行き、秦野中井ICまでワープ♪

R70を北上してヤビツ峠を目指します(^.^)

「首都圏には珍しい未改良の峠らしい峠」・・・と、ツーリングマップルには書いてあります。



高台の眺めのいいところで休憩♪

普段直接一緒に仕事をしている先輩達ではありませんが、  
バイク仲間として一緒に時間を共有できたことが本当に嬉しかった～  
ホントに優しくて素敵な先輩方です。

江ノ島も見えたんですよ♪



この後宮ヶ瀬湖へ。



夕暮れ時はまた雰囲気が違います。



この後、日が沈み、真っ暗に・・・（汗）

真っ暗な道を相模原方面へ向かって、さらに八王子方面へ。

知らない山道で真っ暗って、かなり怖かった～(° o°)

途中の不二家レストランで夕飯。。。。

寒くて寒くて、暗くて、、、

不二家レストランから出たくなかった～（笑）

そんな、思い出の山中湖ツアーでした(#^.^#)

先日先輩にこの写真を見せたら、

「しかしあなたは変わらないねえ」

とって下さって、とってもとっても嬉しかったです！（^^\*）

確かに、同じウェア今も着てるよお～（笑）

R299は冬季になると道がブラックアイスバーンという  
恐ろしい状態になることもあるようで、  
あちこちに「ブラックアイスバーン注意！」という看板があり  
かなりビビります。(笑)



## 秩父神社へ初詣ツーリング(2002.1.20)

---

2002年1月20日、  
バイクショップの、秩父神社初詣ツーリングに参加しました。

何度か初詣ツアーに参加させてもらった記憶があります。

R299は冬季になると道がブラックアイスバーンという恐ろしい状態になることもあるようで、あちこちに「ブラックアイスバーン注意!」という看板がありかなりビビります。(笑)

正丸駅で一休み♪



12~15人くらいだったでしょうか？

寒いけど、みんなで集まってワイワイしたりして楽しかった思い出があります。

おいしいお蕎麦も楽しみの一つ。

秩父神社は、踏切を越えてすぐの右側にあります。  
彫り物が素晴らしく、一見の価値はあります！





みんなで安全祈願♪



おみくじを引いてみたりして。

お昼は、踏み切りの所にある武蔵屋さんでお蕎麦を食べました。

とてもおいしいけど、いつも混んでいるお店です。

この日はこれで、帰路につき解散です。

あれ・・・？この時の写真私が一枚も写ってない(^\_^;)カメラマンに撒してました～

.....

秩父神社の先、突き当りを右へ行くと、左手に武甲酒造があります♪

武甲正宗というお酒がおいしいんですよ～(#^.^#)

おみやげにおススメです♪

(途中の道の駅あしがくぼ果樹公園でも売ってました！)

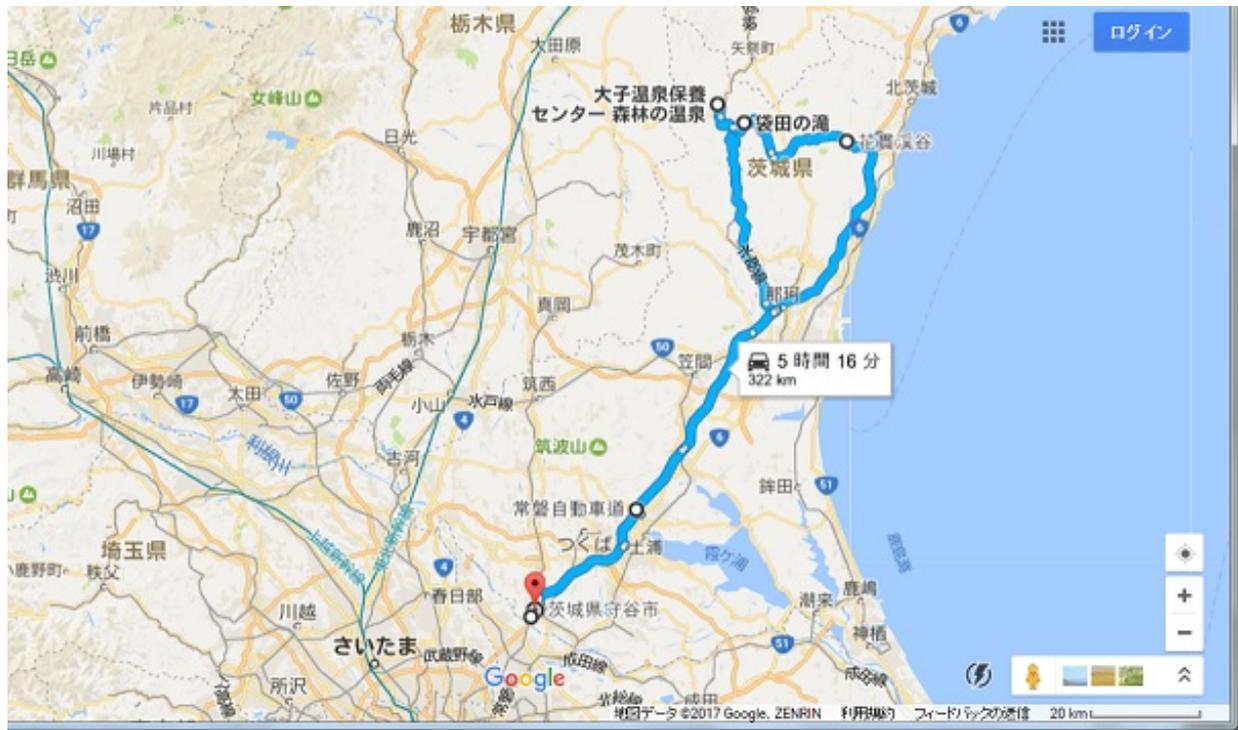
寒いので温泉なんかもいいですね～

秩父は温泉がいっぱいあります♪

また行きたいな～

---

今ではこんにゃく大好きでしょっちゅう買っていますが、  
当時はめったに食べなかったのですごく新鮮でした～(^.^)



## 袋田の滝ツーリング(2002.9)

---

2002年と言えば、ダブルの納車の年でした。

この年は、嬉しくて嬉しくて、色々なところへダブルと共に出かけました。(^.^)

その一つが仕事の先輩達と行った袋田の滝ツーリングです♪

温泉と袋田の滝へ行ってみよう！ってことで

2002年9月1日

8:00に常磐自動車道の守谷SAに集合！

メンバーはSRのM先輩、シェルパのA先輩、エストレアのTさん、そしてオフ車の女性の先輩。

待ち合わせ時点でとっても楽しくて幸せでした。

・・・で。どこのICで高速を降りたか・・・？  
先輩におんぶに抱っこ状態で記憶がほとんどない(笑)

那珂ICで降りて、R118を北上したような？  
この道が、結構単調で、暑かった～

こんにゃくのお店で一休み。



今ではこんにゃく大好きでしょっちゅう買ってますが、

当時はめったに食べなかったのですごく新鮮でした～(^.^)

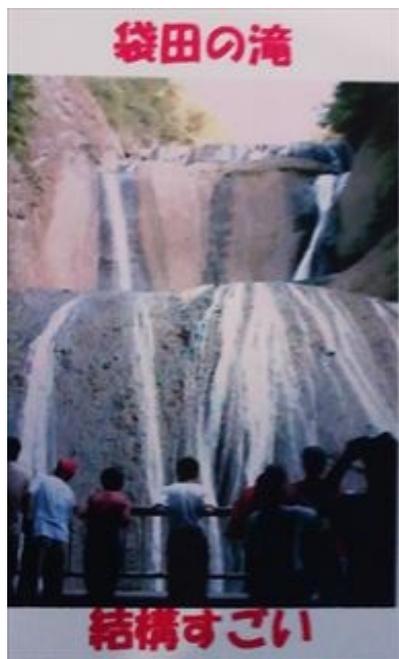
「森のいでゆ」という温泉へ

ロータリーでダブルの試乗会が始まってま～す(#^.^#)

絶好のツーリング日和！



袋田の滝は温泉からそう遠くなかった。  
バイクを停めて、長いトンネルの中を歩いていく。  
ひんやりと涼しい～



冬は氷瀑（滝が凍る）するそうで、それも気になるな～

でも真冬に来るのは無理か～

袋田の滝を見た後は、R461を東へ東へ。  
途中、霧囲気のある集落などを駆け抜け、涼を求めて花貫溪谷へ。

バイクを停める場所が傾いていて怖かったのを覚えています(^\_^;)

溪谷の水の流れる音、つり橋に癒されて・・・

紅葉にはまだまだ早く、緑がきれいでした♪

その後常磐道高萩ICから高速に乗り、友部SAで水戸黄門の顔ハメなどして遊び、  
解散しました(^.^)

峠などはなく、初心者におすすめのルートだと思います！

こういうツーリング、いいですね～  
また行きたいな！

## 第2章 2002年5月 ソロツーリング能登編 (飛騨古川・能登半島)

雲の晴れ間から朝日が山の斜面を照らしてとてもすがすがしい！  
思わず深呼吸していた。こういう瞬間がたまらない。



## 能登ツーリング1日目（調布IC—松本IC—飛騨古川YH）(2002.5.1)

---

能登ツーリング

2002年5月1・2・3・4・5

1日目 調布IC—松本IC—飛騨古川YH 総距離およそ328km

宿泊先 飛騨古川YH 岐阜県吉城郡古川町信包180（森林公園前）

0577-75-2979 2食付 ￥4600

朝起きると、小雨が降っていた。

初めての1人旅でドキドキしていたせいかなかなか寝付けず少々寝不足気味。

雨の高速走行に不安を覚えつつ、4時に家を出発した！

高速に乗って、八ヶ岳SAで一休み。時計を見ると8時。雨はやんでいた。

おなかが減ったのでまたけそばを食べる。マイタケの天ぷらがさくさくでおいしい！

体が冷えていたらしい。SAにはバイクの人は1人もいなくてちょっとさみしかったな

カップを着こんでいる姿にギョツとする人が多くて恥ずかしかった・・・

一休みしたら、さて、松本をめざそう。道はGWだというのにガラガラだった。

朝早いからか・・・

雲の晴れ間から朝日が山の斜面を照らしてとてもすがすがしい！

思わず深呼吸していた。こういう瞬間がたまらない。

諏訪湖を右手に通り過ぎ、岡谷JCTを無事に通過して松本に到着。

ここで分岐間違えると違う方へ行っちゃうから気をつけていた（笑）

松本でカップとブーツカバーを脱いでネットにはさむ。

上高地へ向かう道は一度通ったことがあって、懐かしかった

ガソリンスタンドに入ると、なんとセルフのスタンドだった。

初めてだったのでチョット緊張。無事給油して、お金を払う。払う所には店員さんがいた。

R158はマンホールのふたの所がいちいちへこんでいて、よけて走るのが大変！

1車線だから遅い車が一台いると大変だ。昼間は渋滞がすごそうな道。

絶対通りたくないな～なんて思いつつR158をひたすら走る。

途中道の駅風穴の里で休憩。

観光バスで混雑していた。さて、いよいよ安房トンネルをめざすぞ。

松本から上高地までの道はトンネルが多い。しかも暗くて洞窟のよう。チョット不気味。

途中雨が降り出した。カッパを着こんで再び出発。ブーツカバー買っておいてよかった！

安房トンネルはなんてことのないトンネルだけど600円かかる。安房峠は通れないみたいだった。しかもバイク屋さんのお兄さんが「あの峠はやめなさい」と言っていたな。

トンネルを抜けるとひどい雨で視界が悪かった。料金所の先の分岐を右へ曲がると平湯温泉だ。平湯の森という温泉をめざしていた。

・・・が、温泉街を通り過ぎてしまい、土砂降りのなかUターンをするはめに。

ところが。Uターンできないんです！練習不足で・・・

何とか車がないのを確認し、手で押してUターン。やれやれ。

戻ってPAのおっちゃんに聞くと少し先を右だよ～と教えてくれた。

あったあった。無事平湯の森へ到着。雨で濡れた体が悲惨すぎるけど、温泉に入れば復活するさ！と、温泉へ。

露天風呂が8つもあって、湯の花がたくさん浮いていた。しかもお客さんはほとんどいない。時間は11時だった。体をあたためていると雨があがり、嘘みたいに晴れてきた！山に囲まれた温泉はとても静かでお湯の流れる音と鳥の声しかしない。

・・・最高だな～これで500円でホント？

少し熱めのお湯だったのであまり長居はせず、あがることにした。

さて、お昼にはまだ早いし、先を急ごう。と飛騨高山方面を目指す。

この平湯からの道がとてもいい道。



乗鞍の残雪が印象的だった。

R89沿いに、ガイドブックに乗っていた飛騨ラーメンのお店を発見！飛騨ラーメンを食す。麺が細くて繊細なラーメンだった。牛串を食べながらバイクに戻るとおじさんとおばさんの集団がバイクを取り囲んでいた！

なんだろう・・・不安になって顔を出すと「姉ちゃんのバイクかい？」といわれ「はあ」と答える。

するとおじちゃんは嬉しそうに「東京からきたんか～たいしたもんだな！」といって「さっき風穴の里にいなかった？」といった。どうやら同じ時間に休憩していたらしい。話してみるとこの後この観光ご一行は飛騨古川祭り会館に行くとのこと！「私もこれからそこを目指す予定です」というとまたまた嬉しそうに「んじゃ、まっとるからね！」と言い残して去っていった・・・

なんだか嬉しいような、嬉しくないような、不思議な気分。

飛騨古川に向かう。晴れてきたらさすがに冬用ジャケットは暑かった。左手に田んぼ、右手には民家があり庭先には色とりどりの花が咲いている。

飛騨古川駅に案内所があって、そこのおじちゃんが親切に古川町のめぐりかたを教えてくれた。とりあえず教わったとおり市役所の無料駐車場にバイクを放置して、町をめぐってみた。まず、祭り会館。ここでは3Dの映像で祭りの模様を再現していて迫力があつた。そのあとNHKの連ドラ「さくら」で有名な白壁土蔵街をあるく。しかし革パンはいて1人で歩いている私はかなり浮いていたかも。



めちゃくちゃ大きな鯉がいっぱいいた。



ドラマに出てきたろうそく屋さん



ふとしたところがとてもいい雰囲気。

古川めぐりを終えて宿泊予定の飛騨古川YHに電話を入れた。

「まだ3時ですが行ってもいいでしょうか？」

するとYHのオーナーは困ったように「できれば4時以降に・・・」と言うのでお薦めの四十八滝という所に行くことにした。

きた道を少し戻り、右に入るとそこはノンビリした農村風景が広がっていた。

行き止まりが滝になっていて、上れば上るほど色んな滝があるようだった。



さすがに1人で山奥に入るのは不安がよぎり、手前の3つくらいを見て引き返した。

それからバイクの4人組とすれ違い、すぐ近くにあった温泉に行くことにした。

YHに着くとバイクがたくさん停まっていた。みんな雨でどろんこ。

オーナーは「よくきたね。お風呂に入れるから、すぐ入ったら？」とってくれた。

すこしはにかんだ感じの人だ。とてもよくしてくれた。

飛騨古川YHは夕食がとっても美味しい！ご飯が魚沼産コシヒカリだし、おかわり自由！大満足。勝手に冷蔵庫からビールを出して飲んだくれていた。（セルフサービスでかごにお金を入れる）

その日は4人部屋で1人はバイク、1人は電車、1人は車と、みんなそれぞれだった。

そのうちの1人が「明日は能登漁火YHに行く」とっていたのでおどろいた！私もだ。！

なんだかちょっと嬉しかった。ユース hostel 初体験の日だった。

#### <追記>

この頃は、ツーリング用バッグもちゃんとしたものを持っていませんでした。

なんと、普通のカバンに、ゴミ袋をかぶせてネットをかけていたのです。

今思うと、笑っちゃいますね。

この時、ブーツカバーがめんどくさくてドロドロで参りました。

飛騨古川というところはいいところです。

右も左も海！海！すごく景色がいい！なんだこりゃ！



## 能登ツーリング2日目（飛騨古川YHー能登漁火YH）(2002.5.2)

---

2日目 飛騨古川YHー能登漁火YH

5月2日予定ルート総距離およそ 196.2 km

宿泊先 九十九湾 能登漁火YH

石川県珠洲郡内浦町小木5 1ー6

0768ー74ー0150

朝起きると「さくら」をやっていた。昨日行った古川の町並みがテレビに映っていて不思議な気分。

朝食もモリモリ食べて、さて、出発だ！

出掛けにバイクで来ていたお兄さん方と記念撮影をした。



みんな色とりどりのバイクできれい。

R41はとても走りやすいいい道で気持ち良かった。車もほとんどいなくて、貸切状態。緩やかなカーブが続いて、エメラルドグリーンの湖の横を走り抜ける。最高の気分。バイクもいい音をさせて軽快に走ってくれる。

富山の市街地は混んでいると怖そうだったのでワープして、高速を使った。緑に囲まれた高速道路で楽しい。小杉ICでおりる。

高速をおりて道の駅新湊を目指す。大きい道の駅だが、なんだかがらんとしていた。ます寿司を横目で見ながら先を急ぐことにした。

しばらくすると道の駅氷見に到着した。海沿いに建つ、いかにも海の幸が期待できそうな所だ。なにやら入り口で炭火焼きをしている。道の駅で新鮮な魚介類を売っていて、買うと炭火で焼いてくれるというイベントをしていた。1人で来ている人はいなかったけど。



さっそく中に入ると一山2500円のでんこもり魚介類が売っていた。これは食べきれない！  
そこでオバちゃんに相談してみると、適当にみつくろって1500円にしてくれた。

いか・はまぐり・ホタテのセットになった。

うきうきして持っていくと焼き代1000円のところ500円にまけてくれた。

焼きあがると、番号で呼んでくれる。しょうゆとお酒をたらして焼いてくれる。



あつあつで、めちゃくちゃ美味しかった！

おなかも満足して、少し走ると山道に入る。

荒山峠はところどころに棚田があって、おお～！と感動した。思わずバイクを止めて写真撮影。



日本の知恵だな～

峠を無事に越え、能登大橋に向かう途中で「竹内のみそまんじゅう」を自宅に送る。  
一つ100円で、甘さ控えめの味噌餡が美味しい。皮がふんわりやわらか！

能登の銘菓らしく、雑誌で見て覚えていた。

それから和倉温泉を左手に通り過ぎる。

能登大橋を渡った。右も左も海！海！すごく景色がいい！なんだこりゃ！



まさに絶景！入り組んだ地形や断崖絶壁が壮観な風景を創り出している

能登島は興味がなくてパスし、すぐに能登ツインブリッジへむかう。

パトカーが後ろにくっついてきて冷や汗をかいた～！

能登ツインブリッジを渡り終わったところでPAに入りパトカーをやり過ごす。

まいったまいった。ヘンな汗をかいた・・・

展望台に登ると海の向こうに立山連峰が雪化粧をしていた。ここはお薦めの場所だ。



そこから先は入り組んだ海沿いの道をノンビリながす。

水平線の上に立山連峰がそびえていて、ものすごい絶景。

こんな風景みたことない・・・

雪化粧をした山に向かってひたすら走る。なにも考えないでいられる瞬間。



海に面した駐車場を貸切。

すこし時間があつたので

YHの手前にある縄文真脇温泉という所に立ち寄つた

ここは高台にある温泉で海を眺めながらのんびりできる。おすすめ！  
宿泊もできようで、GWでも空きがあるみたいだった。穴場かな？

その後YHの看板に従つて能登漁火YHに到着！

本当に海のまん前にあつた。

夕食はイカや、魚などの新鮮な魚介類中心。

イカつり漁船が港に集合してお祭りをしているということで、宿泊客のみなさんと見に行った。  
イカつり漁船の明かりはものすごく明るく、その周りを小さな船が10mくらいありそうなのぼりをつけて

笛や太鼓を打ち鳴らし、若い男の子達が大声をあげて踊りながら港をぐるぐる回っていた。

また知らない日本を発見してしまった・・・

こういうところで生まれ育つた人もいるんだなあ。としみじみ感じた夜だった。

<追記>

NHKの、連ドラ「さくら」懐かしい～！！時代を感じてしまいます。

この日までは、平日ということもあり、道路はガラガラでした。

今思えばすごくラッキーだったんでしょうね。

初めて見るものばかりで、ヘルメットの中で目を見開いてばかりでした。

本当にバイクで走るって、最高の幸せ。

鯉のぼり祭りをしていたので停めて**100匹**以上の鯉を眺めた。

そういえば明後日は子供の日だ。



## 能登ツーリング3日目（能登漁火YH一千枚田一地蔵前民宿）(2002.5.3)

---

3日目 能登漁火YH一千枚田一地蔵前民宿

5月3日予定ルート総距離およそ 113 km

宿泊先 地蔵前民宿 羽咋郡富来町福浦港港199

0767-48-8010

イカ釣り漁船が停泊する能登漁火YHに別れを告げて、福浦港というところをめざす。

そこには知り合いのバイク屋さんが紹介してくれた民宿があった。

唯一の民宿泊にすこしうき。

当初の予定とは少しルートを変えて、恋路海岸や禄剛崎灯台を通ることにした。

九十九湾から出発して、能登半島の端っこをひたすら走る。

恋路海岸のあたりは黒い瓦の民家が立ち並んでいて、細くくねくねした道が続く。

時折右に視界が開けて海がみえる。

少し行くと見附島（通称：軍艦島）があった。



広くがらんとした駐車場にバイクを止めて、缶コーヒーで休憩。

とおもったら、昨晚YHでご一緒した人が2人も！みんな行く所は一緒なのね。

とっても天気が良く、暑いくらいで、気持ち良かった。

次のスポットは禄剛崎灯台。能登半島の端っこだ。

車が少なく、本当にこっち？と不安になるが、看板があってほっとする。

道路の左手に駐車場があって、100円だった。バイクは5台くらい来ていた。

丘の上にある灯台で、すぐだけど、結構きつかった。運動不足を感じつつ登りきると

灯台のうしろに水平線が果てしなく続いていた。



しばらくそのスケールの大きさにぼんやりとたたずんでいた。

が、またYHで一緒だったひとが！この調子だとこの後の千枚田も一緒かな？

いよいよ今回の目的地、千枚田へ向かう。

途中暑くなり、ウェアを着替える。海沿いの道はとても気持ちがいい。

本当にバイクで走るって、最高の幸せ。

途中、飛騨古川YHで一緒だった女の子が反対方面からバイクで走ってきてすれ違った！  
お互いに「おお！」という感じ。ものすごい偶然だったな。でもそれっきり。

鯉のぼり祭りをしていたので停めて100匹以上の鯉を眺めた。



そういえば明後日は子供の日だ。

そして千枚田に着いた。

千枚田の横に千枚田ポケットパークという駐車場があって、そこに停めるのだが、  
車がいっぱいであふれている。すごい人気スポットだ。

バイクだから、その辺の端っこにチョイと停めた。やっぱりバイクって便利！  
ちょうど田植えが終わったところだったらしく、きれいだった。



海とのコントラストが素晴らしい。

能登半島にはポケットパークという駐車スペースがところどころにあって、景色をみたり、休憩したりできるようになっていた。

思いがけず混んでいた千枚田を後にして、ねぶた温泉をめざした。

ねぶた温泉に着くと、先ほど灯台の駐車場で言葉を交わしたハーレーのお兄さんが  
ちょうど出発する所だった。やっぱりみんな同じなのね！

ねぶた温泉は500円でぬるぬるした感じのお湯だった。お肌がつるつるになった。

輪島市街を通り過ぎ、じゃらんに乗っていた「うのはな」という食事どころへ向かう。  
ちょっとした料亭といった雰囲気ではあったが、すんなり通してくれた。

1人ですというと、すこしおどろいた顔でカウンターに通してくれた。

海鮮丼を頼んだ。うにや甘えびがとろけそうに美味しかった。

ちょっとした人気店らしく、かなり混雑していた。

カウンターの中にいた板前さんが職人氣質っぽい怖そうな感じだったが、

よく1人で宿が取れたね、などと話し掛けてくれた。

この時期輪島に1人で部屋を取るのはかなり難しいらしい。

宿泊先は輪島ではないんです。というと納得してくれた

再びR249を走り、市街を通過して、海に出た。

門前温泉じんのびの湯というところをめざす。また温泉。

バイクで走ると温泉が最高に気持ちいい。

ここは海を眺めながら入れるとても気持ちのいい温泉で、高台にある。  
遠くに絶壁を望みながらのんびり。最高だわ。

ここから目的の民宿はそう遠くない。

このあたりにはものすごい断崖絶壁があり、ヤセの断崖という所へいった。  
標識に従って右折する。と、目の前のバイクが練馬ナンバーだった。  
すこし話をして、お互いに写真をとってわかれた。

断崖の先っちょは本当はいいとはいけないらしいが、みんなのぞき込んでいた。

そこから民宿はすぐだった。

到着すると部屋に通された。6畳くらいのフローリングにシングルベットの一人部屋で、  
想像と違ってきれいな所だった。夕飯はかにを丸々一杯と海の幸盛りたくさん。

こんなに食べていいの？くらい食べてしまった。

他には大工さんと名古屋から来た夫婦が一组だけ。

夜は民宿のオーナー夫妻とお客さんとおそくまでお酒を飲んで色々話をした。

明日の天気が雨ということだけが心配だった

<追記>

能登半島はとっても海の幸が美味しい所でした。

地蔵前民宿では、とてもよくしていただき、

「今度は彼を連れて来なきゃ駄目よ」と言われてしまいました。

いつか、だんなさんを連れて、遊びに行きたいです！

もうとにかく、雨でびしょびしょ。  
気を取り直し、金沢方面に向かう。

なんとか抜け道を発掘して、切り抜けた。  
勘が当たってよかった～！



## 能登ツーリング4日目（地蔵前民宿－飛驒古川YH）(2002.5.4)

---

4日目 地蔵前民宿－飛驒古川YH

5月4日予定ルート 走行距離約215km

朝起きると雨がぽつぽつ降っていた。

民宿の周りをカッパ着て散歩してみると、カニが土の壁にいっぱい住んでいる。

穴がたくさんあいているな、と思ったらカニさんのお家だったらしい。



朝食を済ませると、雨足が強くなってきた。

心配そうなおばさんに別れを告げ、宿を後にする。

ひとまず海岸を走れる「なぎさドライブウェイ」をめざす。

今回の旅の二つ目の目的はこれだったのだ。雨っていうのは残念だったが、

とりあえず、行くだけいってみよう！

なぎさの入り口がドロドロで、タイヤがはまりそうでびびったが、何とか海岸に進入できた。

あいにくの天気だが、ワリと人がいた。晴れていたら最高だったろうな！



もうとにかく、雨でびしょびしょ。

気を取り直し、金沢方面に向かう。

と、道路が大渋滞！雨の渋滞って最悪！

なんとか抜け道を発掘して、切り抜けた。勘が当たってよかった～！

福光ICへ向かう道は、峠みちで、雨の峠って最高に怖い。

たまに車が来ると、先に行ってもらった。

雨の峠は、走るもんじゃない！

と思いながら、道の駅福光に到着。お昼を食べたい。

が、カッパやブーツカバーを脱がないとお店に入れないことに気がついて、

入り口の端っこの方で脱いで、持って入れないからそこら辺に置いて

「とられたらどうしよう」と不安だったが思い切ってお店にはいった。

タンポポ定食というのを頼むと、すごい豪華で、おいしくてむっちゃうれしかった。

冷えた体にしみた。1人で来ている人はいなかったが。

雨のツーリングにくじけそうになったが、ご飯を食べたら少し復活した。

しょうがないから、白川郷に向かおう。

途中、峠道が多く、車が多くなってきた。もういちいち先に行かせてたらきりが無い。

恐怖でがちがちになった。つるつといたら・・・なんて想像して。

天気がよければまた違うんだろうけど、カッパを脱がなきゃお店にも入れないので

観光する気もせず、合掌集落を次々に通過した。

さすがのカッパも1日雨の中走ると濡れてくる。

お尻が冷たいかも・・・

早く宿についてくれ～と願いつつ、飛騨古川YHをめざした。

17時ごろ、ようやく到着。へとへとになっていた。

ひとまず民宿のオバちゃんに無事着いたコールをすると、心配していたらしく、

喜んでくれた。

その日は部屋の人と会話もせず、速攻で眠りについた

<追記>

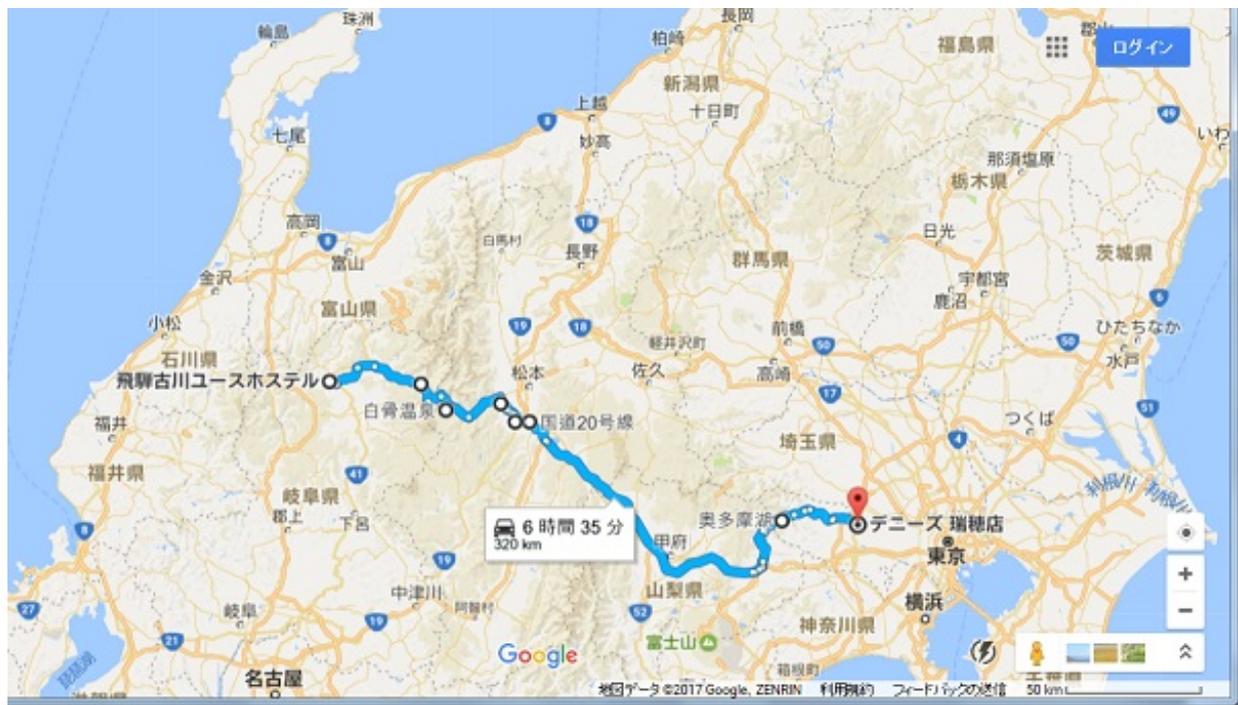
金沢方面から五箇山へ向かう道は、車のすべり止め用なのか、道路に細い溝があり、w650のタイヤを時々溝にとられて怖い思いをしました。

あの溝の道路、よく見かけるけど、大嫌い！

この日はあまりの怖さに、だんなさんに道の駅白川郷から「怖いよ～（泣）」と電話をしたのを思い出します。

---

入ってみると川のほんとは真横にあり、  
湯船が温泉の成分でかなり天然の湯船という感じだった。  
お湯は白っぽく濁り、ちょっと熱め。  
お湯につかりながら、今日でこの旅も終わってしまうんだ。  
と、すこし悲しくなる。



## 能登ツーリング5日目（飛騨古川YHー松本ICー八王子IC）(2002.5.5)

---

5日目 飛騨古川YHー松本ICー八王子IC 走行距離約320km

雨の昨日とはうって変わって今日は快晴！

やっほ～！

やっぱりこうでなくっちゃ。

ライダーの皆さんと記念撮影♪

YHを後にして、栃尾温泉に向かう。

途中、川沿いを走る道がとっても気持ちがいい！

が、荒神の湯というところが最悪で

「注意！のぞき頻発」という貼り紙のとなりで、のぞきをしているジジイがいるような所だった。

モチロンそんな所に入る気もしないので、

さっさとバイクにまたがり白骨温泉をめざした。

安房トンネルを抜け、上高地へ向かう人を横目でみながら白骨温泉の看板でR158を左に折れる。

そこから白骨温泉郷は近いが、道が細くて急勾配だった。途中交通整理員が誘導していた。

そうしないと大渋滞が起こりそうな道だった。

この道は雨の日にはとてもじゃないが通りたくない道。

昨日の宿泊予定地を当初はこの辺にあるYHに予定していたのだが、

満室で断られたのだった。

「満室でよかった・・・」と本気で思った。

白骨温泉につくと、公共露天風呂500円というのに入る。

長い階段を下ると、川沿いに温泉があった。

人気があるらしくかなり混雑している。小さな脱衣所もひとでいっぱい。

入ってみると川のほんとに真横にあり、湯船が温泉の成分でかなり天然の湯船という感じだったお湯は白っぽく濁り、ちょっと熱め。

お湯につかりながら、今日でこの旅も終わってしまうんだ。とすこし悲しくなる。

しかし、無事帰るまでは気を引き締めていこう。と言い聞かせ、温泉を後にした。

R158は予想通り混んでいた。風穴の里で休憩し、唐沢そばをめざす。

ガソリンスタンドで唐沢そばを食べるにはどう行けばいいか聞くと、親切に教えてくれた。

R158を右に折れ、渋滞を抜けた。前に一度来た道だったが、記憶があまりない。

おそわったとおりに看板が出ていてやっと思い出す。



以前に入った店を探して入る。

前回大勢で来て、色んな店に分散して食べたのだが、あたりはずれが激しく、私はあたりの店だったらしかった。

そして前に食べたのと同じ物を頼む。天もりが800円と安いのだ。

大盛りのおしんこも食べ放題。民家の大広間がお店になっていて不思議な空間だ。

根橋屋？だったかな

さあ、満腹になったし、渋滞覚悟で帰るか。と塩尻ICを目指してサラダ街道を走る。

この道はととても気持ちがいい。四方を山に囲まれた畑の中を走り抜けるさわやかなルート。

笹子トンネルから渋滞40キロという表示を見て塩尻から勝沼まで高速を使い、その後奥多摩を越えて帰ることにした。

が！奥多摩も大・大・大渋滞！しかも1車線ですり抜けができないから最悪！

何とかダムの駐車場までたどり着いたが、もうへとへとだった。

時間は19時。すでに日は落ちていた。

真っ暗の奥多摩をのろのろ走り、

ギリギリの左側の路肩を走ったりかなり、サバイバルだった。

ミラーをぶつけてしまったり・・・

渋滞の奥多摩ってこんなに最悪だったのか。。ととても勉強になったが、

両腕と両足が限界に達していたので、新青梅街道沿いのデニーズで夕飯を食べることにした。

疲れすぎていて、食べ終わってもなかなか帰る気にならなかった。

そして駐車場を出ようとUターンしようとしてエンストし、ガシャ！  
バイクもろとも倒れる。

と、駐車場にいた人達が駆け寄りバイクを起こしてくれた。

「だいじょうぶ？」

自分はたいしたことないがみごとにクラッチレバーの先が折れて、ゆがんでしまっていた。  
持っていたビニールテープを出すと、お兄さんがレバーの先に巻きつけてくれた。

お礼を言って再び出発。Wにのって初立ちゴケだった！

ほんとにへとへとだった。

教訓：最後に峠を越えるのはやめましょう。

5日間の総走行距離約1194km

<追記>

最終日の奥多摩の渋滞には、参ってしまいました。

あれほどのすごさとは・・・お盆やGWは絶対にもう通りたくないです。

バイクに乗ってもっともつらかった（疲れた）のは、あの時でしょう。

すり抜け不可能な渋滞にはまるほどライダーにとってつらいものではありませんでした。（しかも夜）

高速でのすり抜けに慣れていなかったため、奥多摩を通ろうなどと考えたのが甘かったです。

実は、心細いときや、ふとしたときに浮かんでくるのは、ある人の声でした。

この頃、自分の心の中では何かが決まっていたのかもしれない。

この5日間のツーリングでは、一人で自由にのんびり走る楽しさを知ることができました。（時には心細かったりしましたが・・・）

w650を、のびのびと、ゆったりと走らせることがこんなに気持ちいいものだったなんて・・・

マスツーリングでは体験できないものでした。

バイクには、それぞれのバイクの楽しい速さや、乗り方があって、

一人で走ることによって、w650を100%楽しむ事ができました。

一人だったからこそ、体験できたこと、感じられたこと、出会えた人など

一人旅の魅力を知ることのできた充実した5日間でした。

そしてこの5日間は私に感動と自信を与えてくれたのでした。

お世話になった方、そして、この文章を読んでくださった方、どうもありがとう。



第3章 2002年8月 ソロツーリング北海道編  
(道央・道東・サロマ湖)

---

なんだかんだいってもやっぱり仲間がいると心強いわぁ。(\*^\_^\*)



## 北海道ソロツーリング【1日目・出発～乗船】(2002.8.1)

---

2002年8月1日(晴れ)

12:00母に見送られて出発。

大洗を18時頃出るフェリーに乗るため、余裕を持って出発した。

外環道→常磐道→友部JCT→北関東道で水戸大洗を目指す。

メッシュジャケットでも汗だくになる暑さの高速を走り、13:40安那SAで休憩。  
かき氷を食べてクールダウン。

・・・と、バリオスに大きな荷物を積んだ女の子が入ってきた。

こんにちは(^^)どこまで行くの？

Mちゃんは静岡から北海道行きのフェリーを目指して走っていた。

同じフェリーだぁ(^o^)

フェリーまで一緒に行くことになり、嬉しかった♪

なんだかんだいってもやっぱり仲間がいると心強いわぁ。(\*^\_^\*)

15:40水戸大洗ICで降り、コンビニで食料を調達^^)

16:20フェリーターミナルで乗船手続きをする。

17:00乗船

バイクの人もいっぱい。一列に並んでフェリーに乗り込んだ。

いよいよ北海道だぁ～♪

とりあえずフェリーに無事乗れてホッとした(\*^\_^\*)

## 北海道ソロツアーリング【1日目・乗船後】(2002.8.1)

---

乗船してすぐに荷物を下ろし、二等寝台の部屋へ向かう。

カーテンで仕切られた二段ベッドが4つ並んでいる部屋だ。

早速カーテンの中で革パンを脱ぎ、楽な格好に着替える。ふう～(～o～)

乗り込んですぐお風呂に向かう♪(^^)一番すいてる時間に入りたい～

お風呂の丸窓からは海が見えた。

フェリーが出港し、海の上を進んでゆく。

期待と不安に胸を膨らませ、湯船につかる。

お風呂あがりにビアーとカップ麺とおにぎりで夕飯をとる。

Mちゃんも一緒～(\*^\_^\*)

ツアーリングの日のビールって最高なのよね～！

おしゃべりしながら夜は更けて行った♪(^-^)

本日の支出

2092円（ジュース・かき氷・夕飯代）

高速代(カード)2250円

※フェリー代は事前払い済み

---

初めてピースサインもらった～！



## 北海道ソロツーリング【2日目・北海道上陸～美馬牛ユース】(2002.8.2)

---

2002年8月2日(晴れ)

13:15フェリーが苫小牧港に到着!

Mちゃんとメールアドレスを交換し、お互いの北海道ツアーの成功を祈って別れる。  
多くのライダーが散り散りになっていった。

ここが北海道かあ～(^。^)

苫小牧港から北に向かい、途中で給油する。98円/リッター 燃費21キロ/リッター  
(当時はだいぶガソリンが安かった!)

R234を北上し、R12を右折、R452に入り、16時前に桂沢湖で休憩する。

とても静かなひっそりとした湖。

さて先を急ごう。

夜の北海道走りたくな～い!

車やバイクが少なくって、不安になる。北海道って、こんなに人が少ないの?

すれ違ったバイクの人がピースしてくれた(\*^^)v

初めてピースサインもらった～!

R135を右折して富良野方面へ。

R237富良野国道を20キロ余り北上すると目的地の美馬牛リバティYHだ。

線路を越えて、裏道っぽい場所をうろうろしてやっと見つけた!

良かった～(^O^)

ちょっと分かりにくい場所にあった・・・。

17:50美馬牛リバティYH着

札幌から来たSさんというライダーさんとお話したりして夜が更けていった・・・。

YHだと、ペアレントさんやお客さん同士での情報交換が楽しい♪

本日の出費 6,274円

(・ガソリン759円・タバコ250円・ライター105円・YH5040円・ジュース120円)

※当時はスモーカーでした(^\_^;)

この日、ダブルが5000キロ達成～！

明日は、北帯広トイプルカYHまで行きま～す♪

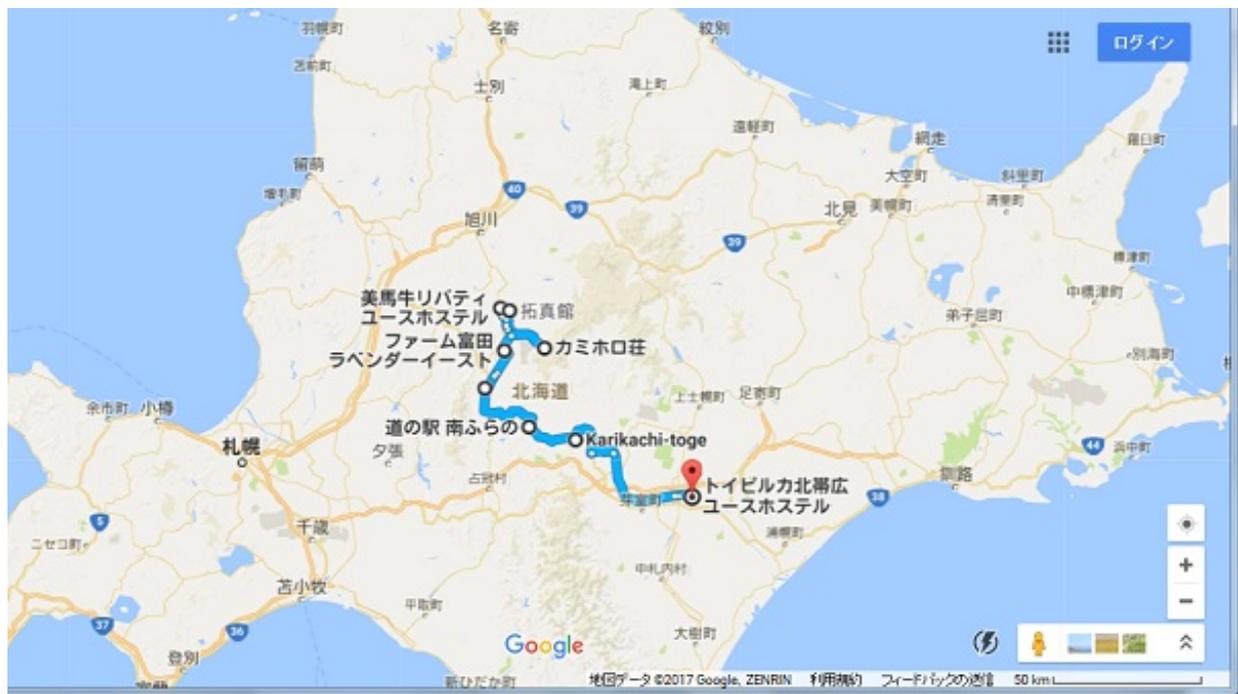
---

露天風呂で韓国系の女性に話しかけられる。

「どうやって来たの？」（英語で）

「**Motorcycle!**」とアクセルを回すアクションで切り抜ける（笑）

こんな時英語できたらカッコいいんだけどなあ・・・



## 北海道ソロツーリング【3日目・美馬牛リバティYH～北帯広トイピルカYH】(2002.8.3)

---

2002年8月3日（晴れ）

9:00

拓真館という写真館（ギャラリー？）に立ち寄る。

「大人気のフォトギャラリー」とツーリングマップルに書いてあった。

富良野の美しい風景の写真がたくさんあった。

雪景色などはバイクでは見られないから写真で楽しむ。

朝なのに人が結構来ていて、有名な観光スポットみたい。

十勝岳を登るR966は気持ちのいい道だった。

車も少ない

ぐんぐん上って行き、下っていくルート。

吹上温泉など「北の国から」に出てくるスポットを通過・・・

混浴だしな～・・・

10:00

十勝岳温泉のカミホ口荘で温泉（600円）に入る。

山の上にぐんぐん上っていったところにある温泉。

すいているのか駐車場はがらんとしていた。

露天風呂で韓国系の女性に話しかけられる。

「どうやって来たの？」（英語で）

「Motorcycle!」とアクセルを回すアクションで切り抜ける（笑）

こんな時英語できたらカッコいいんだけどなあ・・・

十勝岳から富良野へ下って

11:30

ファーム富田でラベンダーやお花を見る♪

ラベンダーソフトを食べたり、お土産にラベンダーオイルを買う。

自宅に罪滅ぼしのお土産としてメロンを送る（笑）

メロンのお店が併設されてた。

お店の人が革パンを見て、「バイクで来たの？ひとり？」とびっくりしていた。

富良野から南下して、東に向かう。

14:30

道の駅南ふらので休憩

霧が出て視界が悪い。

しかも、寒い！

冬用グローブが必須だった・・・

R38狩勝峠は霧で前がよく見えず、車は飛ばして怖かった。。。

17:30

北帯広トイピルカYH到着！

ペアレントさんに、バイク置き場までの急なダートの坂を下るように言われ、

「無理です～！！(ToT)」

と、半泣きで訴えたら、しぶしぶ迂回路を教えてくれた（ホッ）

キレイで温かみのある素敵なユース♪ソロツの女子ライダーさんも数人いた。

夜は温泉に送迎してもらったりして、のんびり過ごせました(^\_^♪

このYHは2泊で～す

本日の出費 23,557円

(温泉600円・ジュース150円・ソフトクリーム250円・オイル1837円・メロン4580円・2700円  
ガソリン1080円／(104円／リッター)・ライター105円・おやつ280円・250円・コンビニ565円  
YH10080円・ビール230円・洗濯400円・温泉450円)

昼も夜も温泉に入っていますね・・・

明日は、帯広競馬場で行われるアートイベントに行ってきます♪

---

オノ・ヨーコさんのメッセージは「夢をもとー！！」だった。  
素敵な人だなあ・・・



## 北海道ソロツーリング【4日目・北帯広トイピルカYH2泊目】(2002.8.4)

---

2002年8月4日(晴れ)

10:00

帯広競馬場で行われているアートイベント「デメーテル展」に行く。

オノ・ヨーコさんがSKYTVというインスタレーションを行っているという。  
オノ・ヨーコさんを尊敬する私はここに来るのも今回の目的の一つだった。

入場料1800円を払い、イベントのシール台紙をもらう。  
広い会場内のあちこちで行われているアートイベントを見て、  
シールを集め、数字の通りに貼ると、オノ・ヨーコさんのメッセージが  
現れるという。

オノ・ヨーコさんの作品を生で見れて感動し、世界に浸る。

オノ・ヨーコさんのメッセージは「夢をもとー！！」だった。  
素敵な人だなあ・・・

14:00

帯広といえば豚丼！

・・・という事で、美味しい豚丼のお店を教えてもらって、行ってみる。  
いっぴんという豚丼のお店に入る。  
炭火焼の豚丼・・・  
美味しすぎ〜！！かなり感動した(笑)

16:30

R241を北上し、ナイタイ高原牧場に行ってみるが、霧で上まで行けなかった。  
北海道って霧がすごいなあ。十勝平野を望む眺めを期待していたけど残念。  
なにげに霧って体が濡れてしまうから気をつけなきゃ。

17:50

YHに戻る。  
連泊だと大きな荷物を置いて走れるので便利で楽。

洗濯もできるので助かる～

夜は、国際ホテルの温泉に送迎してもらってのんびりできた～

本日の出費 4609円

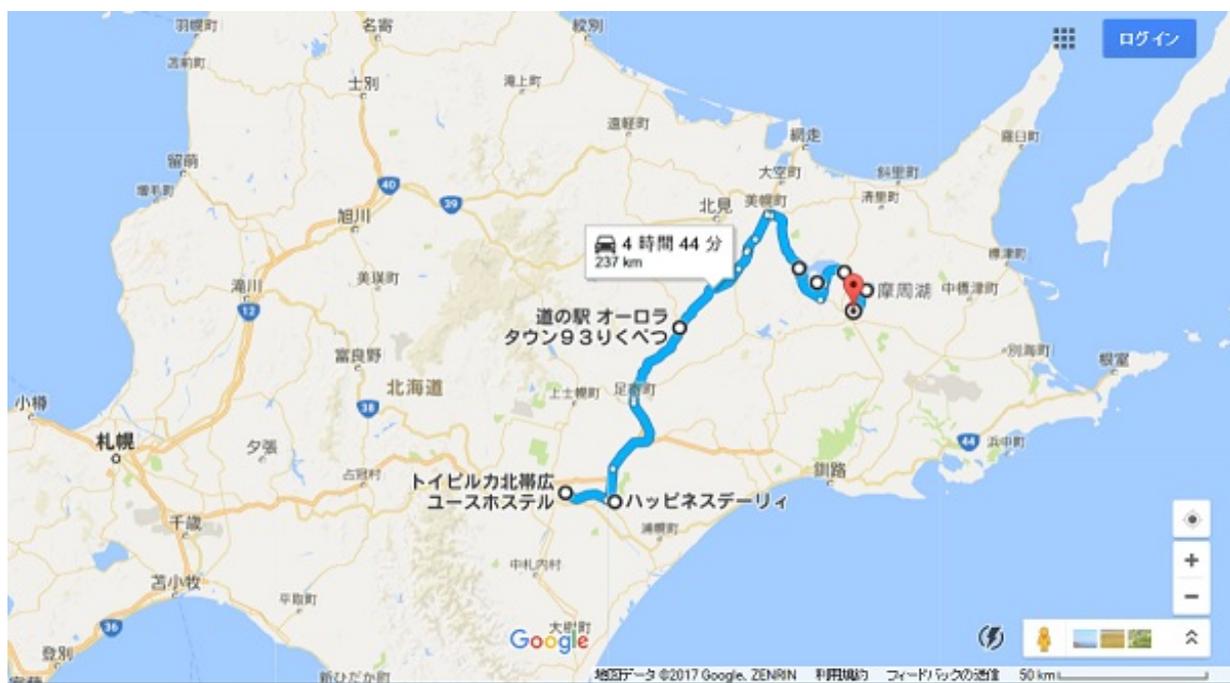
(デメーテル入場料1800円・台紙300円・バッグ350円・ガソリン569円・豚丼840円  
・コンビニ250円・温泉500円)

この日は、ここでしか見れないアートイベントに行けて幸せでした！

明日は、美幌峠をって、摩周湖YHまで行きま～す♪

この道はふるさと銀河線というローカル線と川と併走する道で、  
途中電車と併走したりして楽しかった(^-^)-★

摩周湖を見たら婚期がどうかというジンクスがあるそうですが、  
摩周湖はバッチリ見えた(笑)



## 北海道ソロツーリング【5日目・帯広～北見～美幌峠】(2002.8.5)

---

2002年8月5日（晴れのち雨）

9：30

北帯広トイピルカYHを後にして、ハピネスデイリーというアイスクリーム屋さんへ行きました(^-^)

R241を北上し、三国峠に行くつもりが・・・  
道を間違えて、R242足寄～陸別町の方へ行ってしまいました。

気づいたのが道の駅オーロラタウン93りくべつでした(^\_^;)遅っ！

この道はふるさと銀河線というローカル線と川と併走する道で、途中電車と併走したりして楽しかった(^-^)-★

12：00陸別駅

お昼にカレーを食べました

R39を右折し北見～美幌峠へ。

14：00美幌峠

霧がすごくて視界が悪い峠は怖かった～(;\_;)

しかも、途中で気づいたのですが、バッグのひもが片方外れてブラブラしたまま走ってた！  
タイヤに巻き込んでいたら・・・と思うと  
恐ろしくてゾッとした～！

## 北海道ソロツーリング【5日目・美幌峠～摩周湖】(2002.8.5)

---

恐怖の美幌峠の続きです。(^-^)

峠を下っていくにつれ、霧は晴れて来ました。

そして、屈斜路湖が姿を現しました。

おお～(^o^)/これが見たかった～！

日本百名道ですからねー。

写真なくてすみません・・・

データの入ってた昔のパソコンは壊れてしまいました。(泣)

屈斜路湖周辺には良質の温泉があって、川湯温泉という鄙びた温泉にはいることにした。

この温泉が、素晴らしい～！

感動しました。

気持ちよかったあ～

さてさて、次の目的地の摩周湖へ...

摩周湖を見たら婚期がどうかというジンクスがあるそうですが、摩周湖はバッチリ見えた(笑)

一人でバイクで来ていたお兄さんと、お互いに写真を撮りっこ。

## 北海道ソロツーリング【5日目・摩周湖～摩周湖YH】(2002.8.5)

---

摩周湖はすごく綺麗で感動した～(^o^)

でも、前日のナイタイ高原の近くのコンビニで、明日は摩周湖に行くと地元の高校生と話した時に「摩周湖？知らないなあ」と言われ、ビックリした(笑)  
北海道の人でしょ～キミ(^\_^;) )

摩周湖YHは、広々とした敷地で、食堂が別棟になっていた。

ここの食事がむちゃくちゃ美味しい～！

ツーリングの後は何食べても美味しいけど、格別に美味しかったあ～(^o^)  
摩周湖YHには二泊しました。

ここで同室になった帯広で小学校の先生をしてるKちゃんと、友人のYちゃん。

歳も近くて、仕事や恋バナで盛り上がる(笑)

翌日早朝の硫黄山の散策ツアーに参加するらしい。  
一緒だあ～(\*^\_^\*)

車で来ているから乗せてってくれるコトに。  
ありがたいなあ

こういう偶然の出会いって素晴らしい♪

明日は阿寒湖に行くぞ～♪

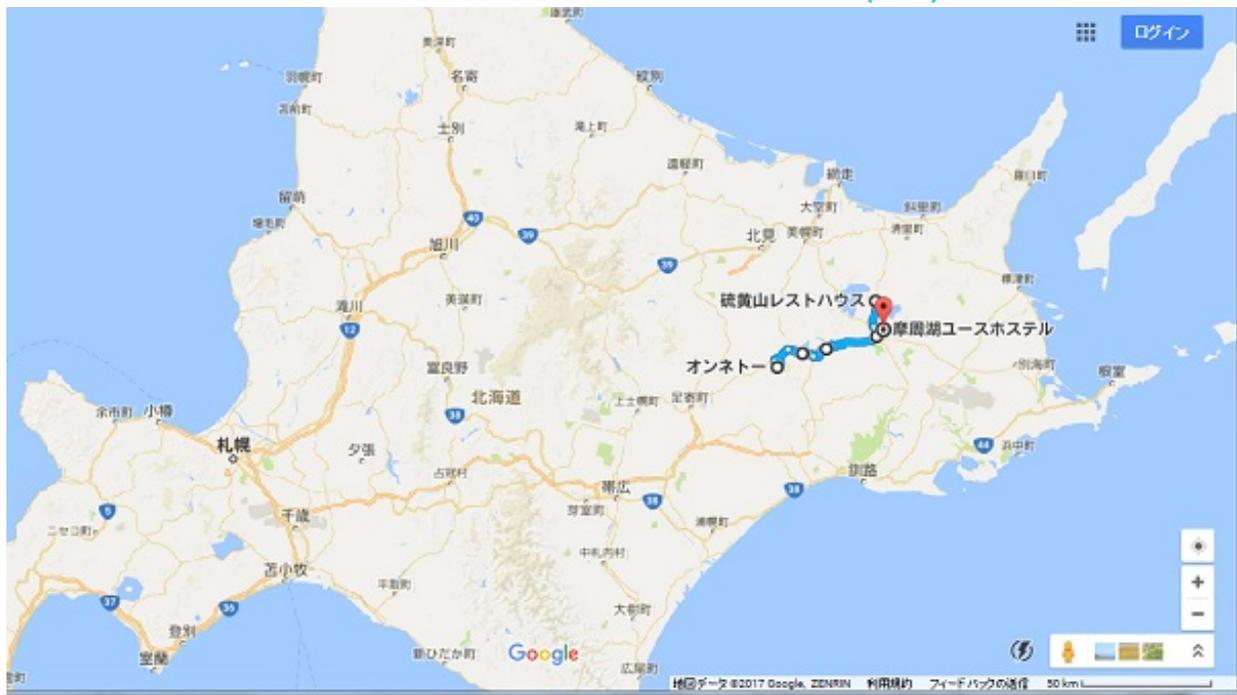
本日の支出4286円

(アイス262円・コーヒー120円・カレー900円・タバコ250円・ガソリン724円(92円/リッター)・食事夕+朝1680円・ビール350円)

オンネトーは静かな湖で数人の人が見にきていた。静かだなあ

静けさを満喫して来た道に戻り、道の駅摩周湖でソフトクリームを食べて休憩♪

連泊はやっぱりのんびりできていい～(^o^)



## 北海道ソロツーリング【6日目・摩周湖YH二泊目。阿寒湖へ】(2002.8.6)

---

2002年8月6日(晴れ)

朝の5:45

Kちゃんの車に乗せてもらい、硫黄山散策に参加する(^-^)

オンナ同士おしゃべりが弾んで楽しい～♪

硫黄山は荒涼とした景色が印象的だった。

(ユースホテルボランティアの無料ツアーです)

Kちゃんと連絡先を交換しあい、摩周湖YHを出発する。

連泊なので少ない荷物で～♪

9:00 摩周湖

朝の澄み切った摩周湖が美しい～(^o^)

また摩周湖を見てしまった・・・

摩周湖は霧が多く、晴れた摩周湖を見たら婚期が3年遅れる？と言われているらしい。

ま、いっか(笑)

R241を西へ向かうと阿寒湖だ。

結構グネグネした山道を進む。

観光バスなんかもいるぞ～。

10:30

双湖台という展望台で休憩♪湖の眺めがいい。

雄阿寒岳を右手に走ると阿寒湖があった。

マリモで有名な阿寒湖。

阿寒湖畔の阿寒湖ビューホテルの温泉に入る。

ガラガラ～

こんなにすいてて大丈夫か？

温泉を出て少し進むと、アイヌコタンというアイヌの民芸品店が軒を連ねている所があって、お土産を買った(\*^\_^\*)

木彫品など手作りの味わいが素敵♪

アイヌコタンを後にして、もう少し西へ向かう。  
オンネトーという湖に行きたかった。

途中、道の真ん中にキタキツネがいた。  
道端にバイクを止めて写真を撮った(\*^\_^\*)

可愛いけど伝染病があったりするから気をつけなきゃ(^\_^;)

オンネトーは静かな湖で数人の人が見にきていた。静かだなあ

静けさを満喫して来た道に戻り、道の駅摩周湖でソフトクリームを食べて休憩♪

連泊はやっぴりのんびりできていい～(^o^)

荷造りしなくていいからね♪

本日の支出111113円

(ガソリン933円・お土産6900円・温泉615円・お昼735円・ソフトクリーム250円・夕飯+朝食1680円)

明日は開陽台、霧多布湿原に行きま～す♪

---

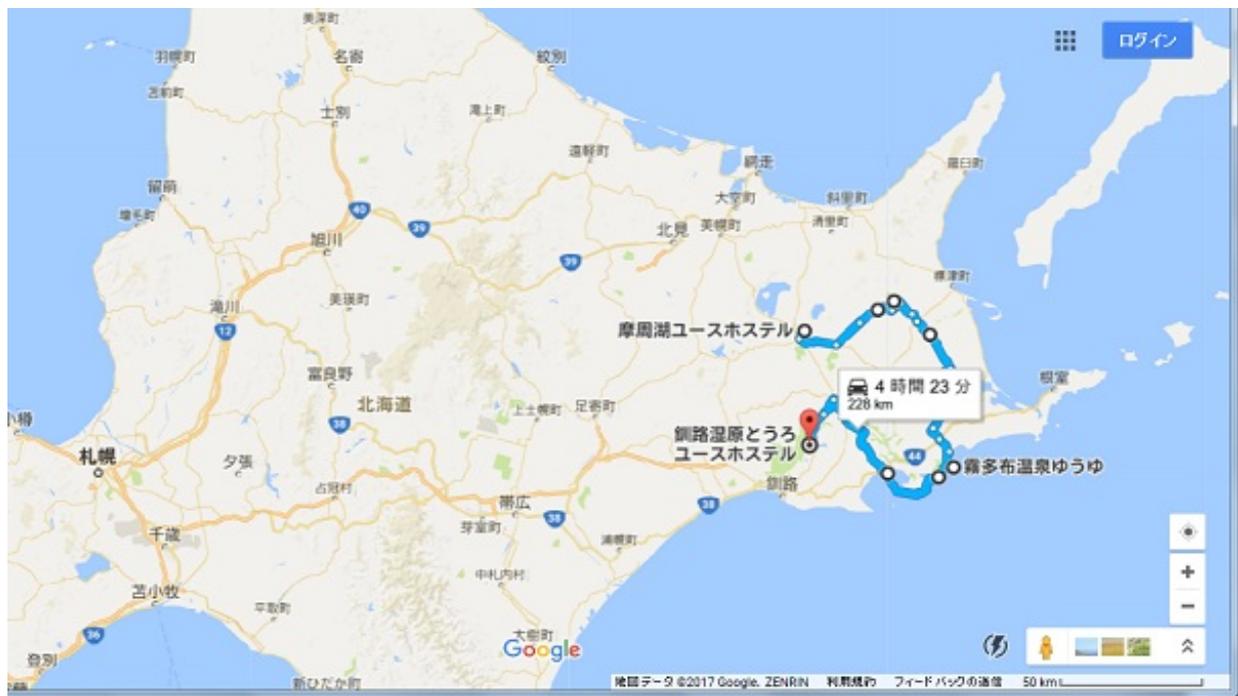
緑の湿原の中に川が大きく蛇行して・・・

ここはアマゾンか？(笑)

展望台にも駐車場にも誰も観光客がいなくて雄大な景色を私一人占め。

人間はなんてちっぽけなんだ。  
大自然のほんの一部なんだなあ～。

北海道来て良かった(;\_;) )



## 北海道ソロツアーリング【7日目・摩周湖YH～開陽台～霧多布湿原】(2002.8.7)

---

2002年8月7日(晴れ)

R150を開陽台方面へ走る。途中、牧舎というお店でチーズケーキとカフェオレのブレイクタイム♪

10:30開陽台展望台革パンで階段を登っていくと、大パノラマが～!

これが見たかった～(;\_;)

感激♪

どこまでも続く直線の道を走り、北海道を満喫～

牛の匂いにも慣れてきたぞ(笑)

牧場には牧草をまあるくしたばっかんロールというデッカいのがゴロゴロしていて北海道ならではの景色がいい～(^o^)

12:00

別海町から根室市を抜けて霧多布を目指す。

この道が最高～!

R44→R123で海に出た

山の中ばかり走ってたから、海が見える道に感激～♪(^o^)

海あり山あり牧草地ありの北海道はいいな♪

14:30

霧多布温泉「ゆうゆ」で温泉に入る

綺麗な温泉施設だった

海を眺めながら入る温泉は最高～!

霧多布温泉から厚岸方面に少し行くと、琵琶瀬展望台があった。

何気なく寄ったこの展望台が・・・すごかった！

霧多布湿原を一望する展望台。

湿原というものを生まれて初めて見た私

緑の湿原の中に川が大きく蛇行して・・・

ここはアマゾンか？(笑)

展望台にも駐車場にも誰も観光客がいなくて雄大な景色を私一人占め。

人間はなんてちっぽけなんだ。

大自然のほんの一部なんだなあ～。

北海道来て良かった(；\_；)

## 北海道ソロツーリング【7日目・霧多布湿原～釧路湿原とうろYH】(2002.8.7)

---

続きです(^^)

霧多布湿原の琵琶瀬展望台のパーキングにあったお店では、牡蠣やシマエビを売っていて食べられる。

牡蠣120円 シマエビ300円

何気なく食べてみたこの牡蠣とシマエビがむちゃくちゃうま〜い！

泣きそう(笑)

思わず実家に再び罪滅ぼしのお土産を送る(笑)

絶景の琵琶瀬展望台には感激しっぱなしだった。

北海道ツーリングの中でも忘れられない場所(^o^)だなあ♪

道の駅厚岸で休憩し、目的地、釧路湿原とうろYHへ行くため、また山の中へと・・・

うっそうとした森の中をひた走る。

こんな道はオンナー人ではちょっと心細い。

山の中は、エゾシカが飛び出してきたらとドキドキしながらの走行。

(ツーリングマップルにもエゾシカ飛び出し注意と書いてある道)

もし飛び出してきたら、シカと心中かなあ・・・怖いし嫌だ〜

ようやく森を抜けて、上尾幌でやっと信号があった。

いつまでも変わらない信号をいつまでも待っていたら、ガソリンスタンドの人がボタンを押してくれた

押しボタン式だったのかあ〜(^^;)気がつかなかった・・・(笑)

夕方、釧路湿原とうろユースに到着。

とうろ駅近くのYHだった。

色違いの黒ダブルで来ているメンズがいて、おっ！同じバイクだ〜♪と思う。

明日は天気崩れそう・・・さてどうしましょ

雨ならバイクを置いて、電車の旅もありだよね〜(^o^)駅近いし！

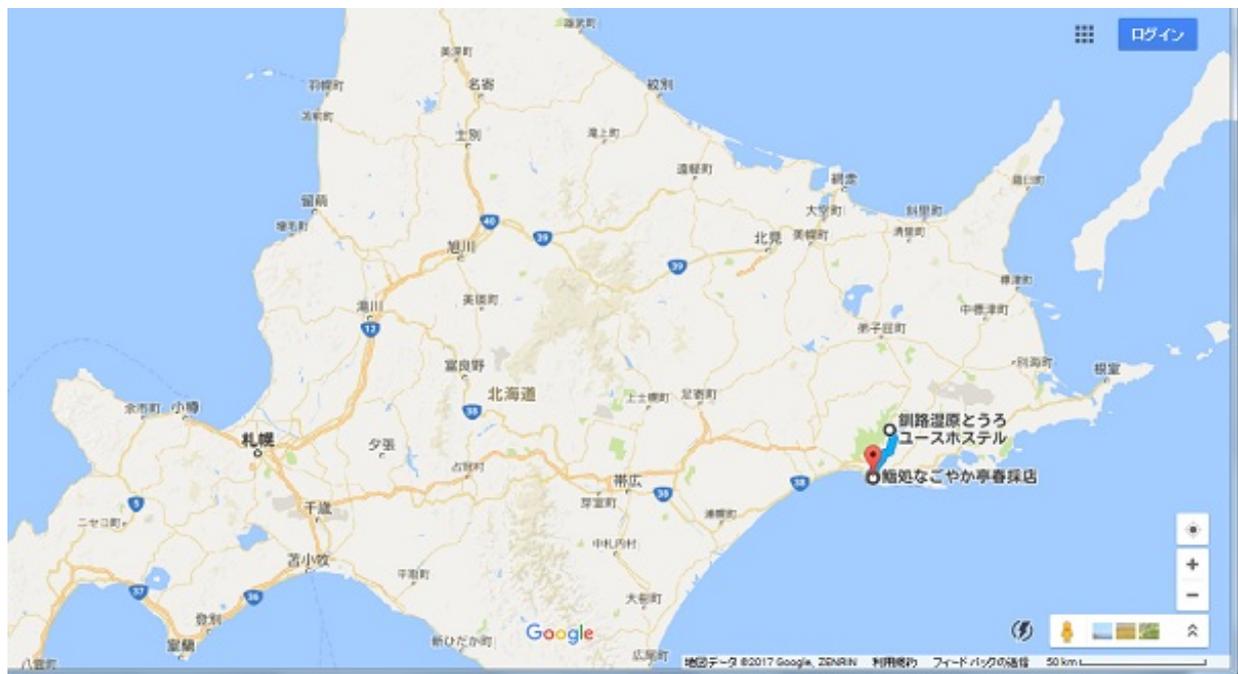
ペアレントさんに相談してみよっと♪

本日の支出15804円

(ケーキ・カフェオレ550円・ガソリン702円・弁当546円・温泉500円・タバコ250円・牡蠣120円・シマエビ300円・お土産3800円・ガソリン636円)

---

ペアレントさんが、エゾシカが道路に飛び出して来てフロントガラスに  
突っ込んできたという人の話をしてくれた・・・怖～！！  
鹿よけバンパーのある車って、本当にこういうところで必要なんですね。。。  
リアルに動物が飛び出してくる所みたいです。



2002年8月8日(雨)

この旅初めての雨の日・・・

バイクにはとても乗る気になりません(>\_<)

前日夜、バイクじゃなくても楽しいこと、ありませんか～！？

と、ユースのペアレントさんに相談すると、

早朝に山の中を歩きながらガイドツアーをして下さるといふ。

行く行く～(^。^)！！

私と、もう1人、一人旅できていた女の子と一緒に小雨の中カッパを着て

朝5：50からペアレントさんと山に入った。

蚊がいっぱいいるらしいのでカッパを着ていたほうが良いらしい。

色々な山野草を説明しながら歩いてくれる。

トリカブトなど、毒のある花などもあって、とても興味深かった。

車で送迎してくれながら、エゾシカが道路に飛び出して来てフロントガラスに

突っ込んできた人の話をしてくれた・・・怖～！！

鹿よけバンパーのある車って、本当にこういうところで必要なんですね。。。

リアルに動物が飛び出してくる所みたいです。

9：00からは、釧路湿原をカヌーで下るツアーに参加。

ジャングルクルーズリアル版でした。

カワセミなどの鳥を見たり、

流れが急に速くなったり、緩やかになったりとドキドキしました。

晴れてたら、体験できていたかどうか・・・

雨に感謝ですね(^^♪

その後、電車で細岡駅から塘路駅へ戻り、

着替えて電車の旅にでかけました(^\_^\*)

ちゃんと、そのための服や靴も持ってきてますからね～(^O^)

釧路湿原にはノロッコ号というトロッコ列車が走っていて、  
雄大な景色を眺めながら釧路までの旅を楽しみました。

釧路の目的は、釧路市立博物館と、六花亭です♪  
駅からバスで15分ほどの所に春採湖という湖があり、その湖畔に博物館がありました。  
博物館では、釧路の自然や歴史などを知ることができます。  
その土地のことを知って走るとまた楽しいのです^^♪

六花亭は、お菓子が大好きなので、カフェがあるらしかったので  
行ってみました。

ケーキなどもあってとても低価格でおいしい♪  
高台の景色のいいカフェでした。

湖でぶらぶらして鴨などを見たり、  
回転寿司やさんでお寿司を食べたりして  
YHに帰りました(^.^)

北海道のイクラやうにのお寿司は美味しかった～  
たまにはこういう旅もいいね♪

本日の支出 8770円

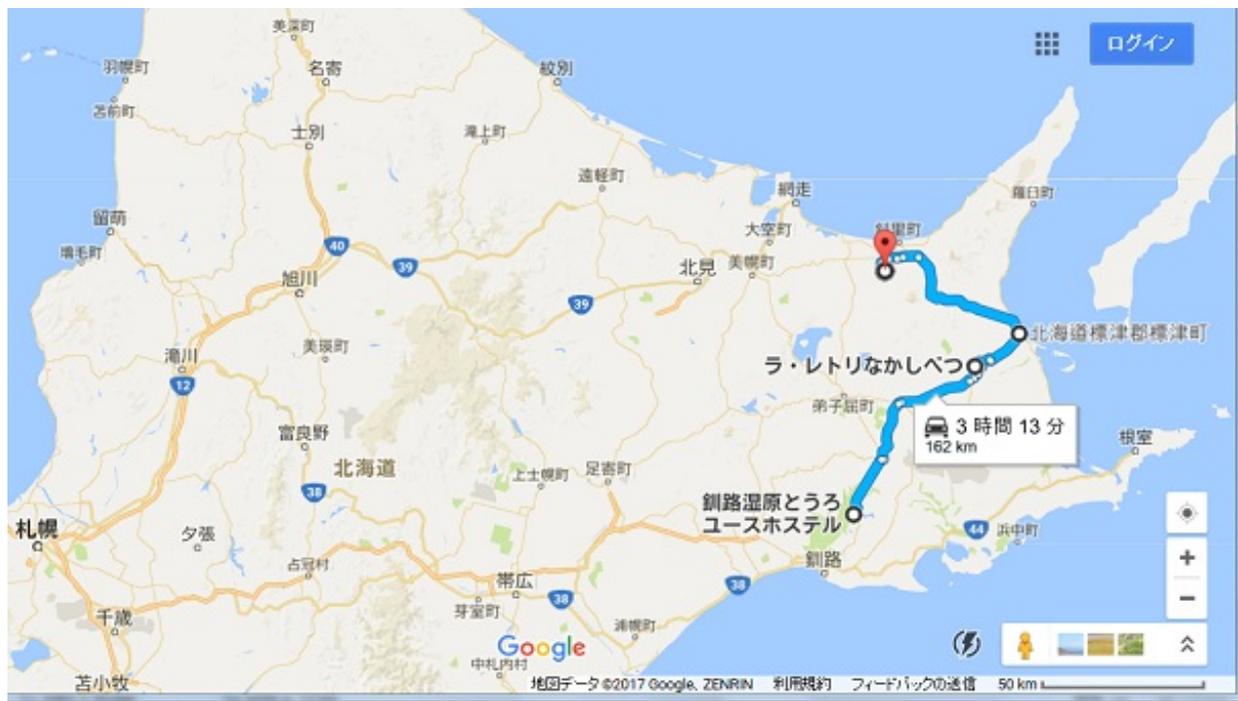
(ガイドツアー700円・カヌー4000円・電車賃 細岡～塘路220円 塘路～釧路570円 バス250円・210円

博物館360円・なごやか亭お寿司1197円・六花亭283円・いももち300円・お茶150円)

---

雨で塘路ユースに2泊したけど、また雨・・・  
バイクに乗るにはとてもモチベーションが下がるけど、行くしかない

今日は、北に向かって、清里イーハトーヴYHへ



## 北海道ソロツーリング【9日目・釧路湿原とうろYH～清里イーハトーヴYH】(2002.8.9)

---

2002年8月9日(雨のち曇り)

早朝6:33に、ノロッコ号に乗って、釧路湿原駅の細岡展望台へ行く。  
釧路湿原はでっか〜い！！雨がポツポツ降っている。  
展望台にいたご夫婦にお願いして写真を撮ってもらった。

朝食までにユースに戻ってきた。

雨で塘路ユースに2泊したけど、また雨・・・  
バイクに乗るにはとてもモチベーションが下がるけど、行くしかない

今日は、北に向かって、清里イーハトーヴYHへ

当初の計画は、知床半島を走りたかった。  
でも雨じゃなあ〜  
雨の峠は死ぬほど嫌だあ〜（笑）

途中まで計画通り知床半島を目指し、中標津のラ・レトリというお店でお昼。  
標津辺りでもやっぱり天気は回復せず。  
仕方ない。またリベンジしよう・・・。

知床半島を迂回して、清里ユースに向かった。  
もう少しで到着する辺りでユースに電話をかけ、もうすぐ着きますと連絡。  
地図を確認していたら、通りすがりの人に話しかけられた。  
ライダーさん、せっかく来たなら、この近くに魚が川を登っている所があるからいってごらん。  
という。

???せっかくだからちょっと行ってみようか・・・  
教わった通りに行くと、農道のような道になった。  
大丈夫か〜？私。

確かに、教えてもらった所に滝があり、魚がぴょんぴょんはねてた。（笑）  
でもちょっとオンナ1人でいくところじゃないかも・・・

YHに到着すると、遅いので心配されてた！すいません・・・。

清里イーハトーヴユースはとっても素敵な大きくてキレイなユースだった。  
この辺は、冬に気球に乗れるらしい。素敵～♪  
寒そうだけど～。

夜はユースの人が温泉へ送迎してくれて、お寿司屋さんでちょっとリッチに夕ご飯。  
カウンターで板前さんとお話しして、色々と情報を教えてもらったり(\*^\_^\*)  
旅先での現地の人との会話って楽しいですね。

本日の支出 10354円

(ノロッコ号220円×2・お昼1000円・ガソリン757円・378円(103円/リッター)・コンビニ1431円

YH3900円・夕食1700円・温泉250円・ジュース120円)

明日も雨っぽい～！！(泣)  
でもサロマ湖までいくぞ～

---

お天気が良かったなら素通りしてしまったかもしれない博物館♪  
さあ行くぞ～

この「北方民族博物館」がとても素晴らしかった！



2002年8月10日(雨)

朝からどしゃ降り・・・(泣)最悪だ～

今日の最終目的地はサロマ湖ユース。サロマ湖畔にある。  
お天気が良かったら、知床半島リベンジもできそうだったけど、  
この天気では～～～(ToT)

しかし、なんとしても今日はサロマ湖に行かねばならない。  
こんな時は、博物館などの見学に限る～(\*^\_^\*)

ちょうど、網走湖の辺りには、北方民族博物館や、網走監獄博物館がある。

どちらも気になる博物館だった。  
お天気が良かったなら素通りしてしまったかもしれない博物館♪  
さあ行くぞ～

この「北方民族博物館」がとても素晴らしかった！

<http://hoppohm.org/index2.htm>

本でしか見た事がなかったネイティブアメリカン（インディアンと言われていた人々）や、  
イヌイト（エスキモーと言われていた人々）、アイヌの人々の  
貴重な衣類や、手作りの装飾品、暮らしの様子、生活の様子など、とても詳しく展示されている。  
。

なんて素晴らしい博物館なんだ～！！

北方民族博物館、惚れてしまった。世界的に珍しい博物館だそうです。

イヌイトやネイティブアメリカンの人々、アイヌの人々の事をととても深く知ることができた。  
そして、貴重な手工芸品などの実物を見る事ができて、大興奮！  
寒い土地で暮らすって本当に大変な事や、迫害の歴史、伝統的な文様、刺繍など  
貴重な資料や素晴らしいものがいっぱい、感激の連続だった。しかもすいていた。

じっくり2時間も見学していた私。

こんな北海道の旅もいいな～

続いて、相変わらずどしゃ降りの中、網走監獄博物館へ。

<http://www.kangoku.jp/>

実際に使われていた赤レンガの建物が移築されて博物館になっていて、監獄の中へ入る不思議な感覚。。。。

北海道の開拓史や、受刑者の生活などを知ることができた。

観光名所なのか、とても賑わっている。

お昼に監獄ラーメンを食べ、あつたまり、サロマ湖を目指す。

サロマ湖ユースは少し古い感じの建物で、二段ベッドの並んでいる部屋だった。

夕飯は、サロマ湖の名物ホタテ尽くしコースの食事(^^♪

今日は、雨で大変だったけど、いっぱい素敵な物を見る事ができて良かったな～

この頃は、自分の友達がサロマ湖でホタテ漁師になるとは思ってなかった！

本日の支出 9150円

(北方民族博物館600円・網走監獄博物館1050円・ラーメン550円・タバコ250円・ジュース120円  
ビール280円・Y H6300円)

翌日道の駅サロマ湖で、ダブル乗りのメンズ2人と出会います。

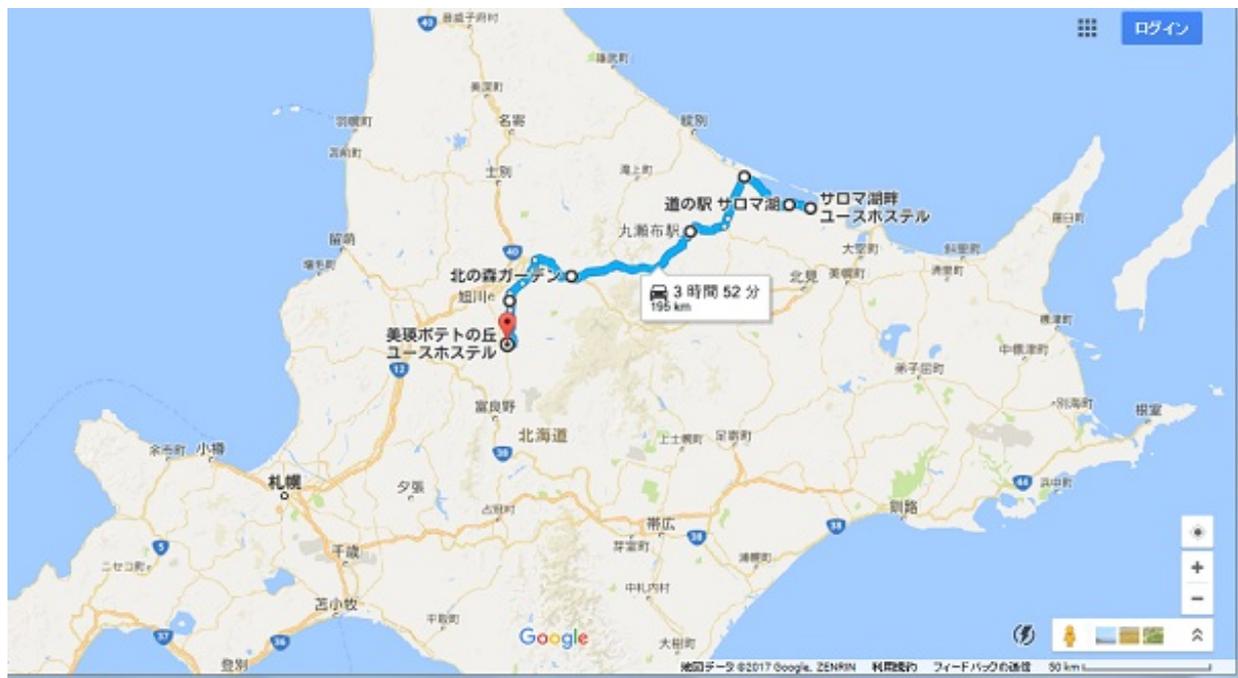
---

すぐ近くの道の駅サロマ湖に立ち寄ってみた。

・・・と、二台のダブル（だけ）が停まっている。黄色っぽいのとオレンジっぽい。

思わず隣に停めた(笑)

すると、二人のメンズが現れた。



## 北海道ソロツーリング【11日目・サロマ湖YH～美瑛ポテトの丘YH】(2002.8.11)

---

2002年8月11日(曇り雨のち晴れ)

サロマ湖ユースを出発する朝のこと。

夕食で同席になり、おしゃべりをしたおじさまが見送ってくれた。

「バイクに乗る時は顔が変わるねえ」

だって！(^o^)

真剣な顔になりますからね・・・取り回しは特にマジ顔です。

9:00

すぐ近くの道の駅サロマ湖に立ち寄ってみた。

・・・と、二台のダブル（だけ）が停まっている。黄色っぽいのとオレンジっぽいの。

思わず隣に停めた(笑)

すると、二人のメンズが現れた。

w650オーナーズクラブ北海道支部のKさんたちだった。

こんにちは～(^o^)

初対面なのに同じバイクなだけで親近感♪

ダブル三台が揃って記念撮影会開始～(笑)

ついでに、R238の別れ道まで一緒に走って下さるという。

ほんの短い距離だったけど、北の大地をドコドコ走る三台のダブル。

カッコ良かったあ～

北海道の北側は静かなひっそりとした雰囲気、天気も悪くて少し寂しかったけど、ダブル同士の出会いが嬉しかった～(^^)

R242→R333と内陸に向かう。丸瀬布あたりからピーカンのお天気になる。ありがたい！

R39を旭川方面へ進み、北の森ガーデンという所で休憩。

バイク置き場で隣になったタンデムツーリングのカップルと言葉を交わす。

気をつけてね♪と優しい眼差しで声をかけてくれた。(^o^)ありがとう～

旭川を抜けて美瑛へ。

美瑛は丘の風景が美しい所で、撮影スポットやポテトチップスで有名？みたい。

17:00

美瑛ポテトの丘YHに到着。北海道ツアー最後の宿泊地だ。

ここで驚きの再会があったのだった(^^)

続きです。

美瑛ポテトの丘YHのバイク置き場にダブルを停めて、雨でドロドロになった相棒を軽く洗車してあげていたら、一台のバイクが到着し、隣に停まった。

小豆色のZZR1100。

こないだのGWに能登の能登漁り火YHで一緒だったバイクと同じだなあ～(^o^)

・・・と、ライダーさんがヘルメットを外すと、見覚えのあるスキンヘッド。

「あれ～？能登で・・・！？一緒でしたよね～？」

まさに、能登漁り火ユースで同じ日に宿泊していたライダーさんだった！(^o^)

能登の時は、夜に宿泊者みんなでイカ釣り漁船のライトアップイベントを見に行ったのだ。

懐かしい～

スキンヘッドの優しそうなSさんとは、能登で話す事はなかったが、知り合いと同じバイクだったのと、翌朝の早朝に出発して行ったのを記憶していた。

こんな広い日本（北海道）で、なんて奇遇な～(\*^\_^\*)

こんなこともあるんですねえ～と、かなり感動～！

Sさんは北海道に上陸してすぐにパンクしてしまい、大変だったとか。

思わぬ再会に話が弾む。

そのまま夕食などもご一緒して、お互いの北海道ツーリングの事や情報交換をしあったのだった(^ ^)

本日の支出8420円

(コーヒー200円・ジュース120円・ガソリン924円・801円・(106円／リッター) ラーメン735円・ユース5040円・ビール300円×2)

旅先での出会って本当に面白い♪(^ ^)

これも、ユースならではの楽しさですね。

ユースは何歳でも宿泊できるので、また機会があれば泊まって旅をしたいな♪

---

どしゃ降りの中、ライダーさんたちと一列にきちんと並んで乗船を待っていた。

車の中から憐れみの視線を感じる(笑)

車はいいよね～。濡れないから。

でも、車じゃ体感できない匂いや風や風景がバイクにはある～(^o^)



## 北海道ソロツーリング【12日目・美瑛ポテトの丘YH～苫小牧港】(2002.8.12)

---

2002年8月12日(曇りのち雨)

北海道ツーリングラストの日。

奇跡的に再会したZZRのSさんとお互いの無事を祈って別れる。

昔のZZRって、レトロで可愛い顔をしている♪

9:00から美瑛の丘を巡った。

途中でポツポツと雨が降り出す。

また雨ですかあ～(T\_T)

雨の北海道はキツイ。

北海道の車はかなりスピードを出す人が多いので、雨だと制動距離が伸びて怖いのだ。

特にダブルは後ろドラムブレーキだしね・・・

ロックしないようにエンブレを併用しながら慎重にブレーキをじわっと握る。

苫小牧港に向かうため、美瑛から南下して富良野方面へ。

初日に通った富良野の道を走って、R237の金山峠を抜け、道の駅自然体感しむかっぷで休憩。

塩ラーメンを食べてあったまり、出発する。

雨の中走って体が冷えていたので助かる～。

再びカッパを着て南下する。

雨でなければ素晴らしい道なんだろうなあ～

山あり川ありの大自然を駆け抜ける。

南端に突き当たって西へと進むと、車線も増え、車が多くなってくる。

このあたりで雨が強くなりどしゃ降りに。

ヒエ～っ！前が見えない～

道路が真っ白に見えるくらいの超どしゃ降り！

マジでキツかったー(T\_T)

無事に苫小牧港に到着し、乗船手続きをする。

どしゃ降りの中、ライダーさんたちと一列にきちんと並んで乗船を待っていた。

車の中から憐れみの視線を感じる(笑)

車はいいよね～。濡れないから。

でも、車じゃ体感できない匂いや風や風景がバイクにはある～(^o^)

無事乗船し、ソッコーお風呂に入って暖まる。

行きの緊張感とは違う安堵感と、達成感に満たされながら、地図を眺めて夜が更けていった。

(\*^\_^\*)

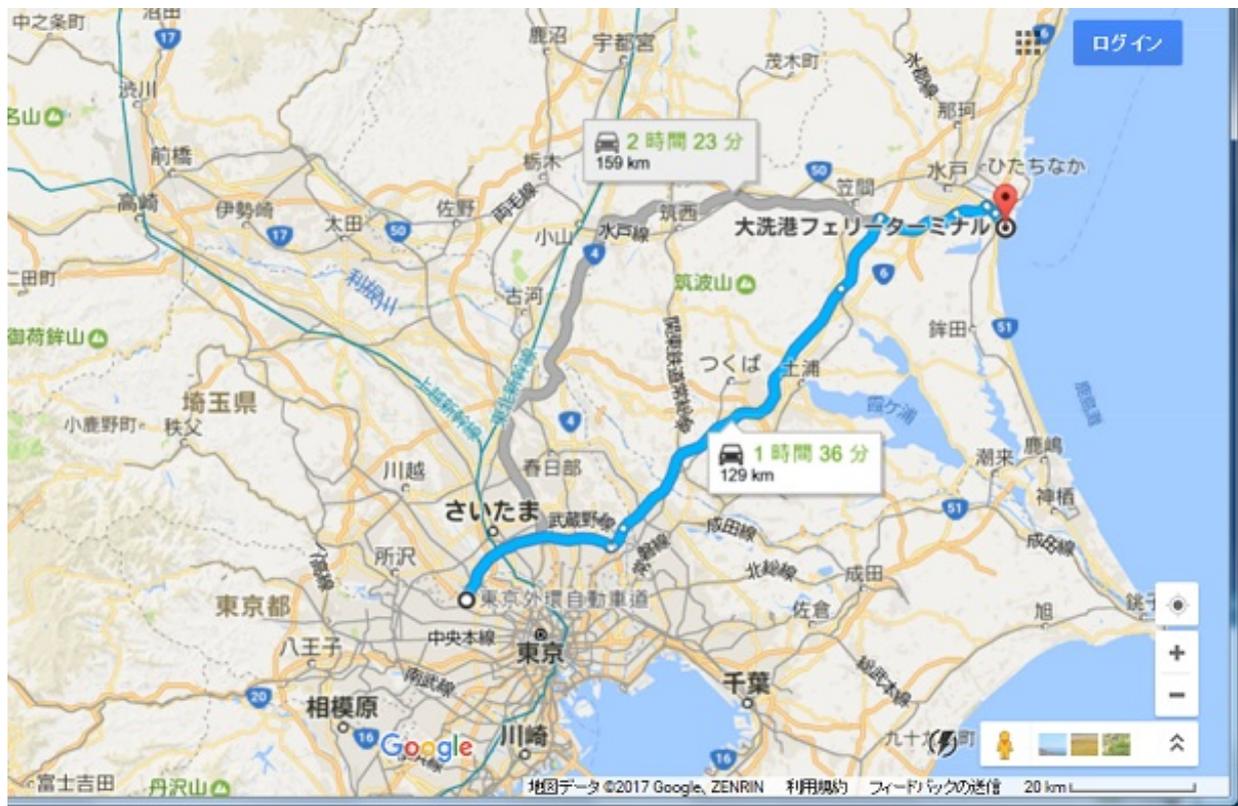
本日の支出5036円

(ラーメン700円・ガソリン686円・(99円／リッター) お土産600円×5・コンビニ500円)

---

私はもうメソメソしていた私じゃない。

一人でダブルちゃんと長い旅をして私は自分に自信がつき、  
自分の中で何かが変わった気がしていた。



## 北海道ソロツーリング【帰宅編】(2002.8.13)

---

2002年8月13日(晴れ)

お昼頃、大洗港に到着。

高速に乗ると、あづ〜い！

北海道は涼しかったのに、こっちはなんて暑いんだ〜！

北海道では一度も着なかったメッシュジャケットを着て高速を走った。

夕方、無事家に帰り着き、やっと緊張がほぐれる。

ただいま〜(^o^)

楽しかったよ〜

お店のツーリング(笑)

この12日間、たった一人で北海道を走っていたとは知らない母。

日程表通りの場所でお土産も送ったので、気づいてなさそう(^^;)

嘘ついてごめんなさい。

でもでも、すごく楽しかった！

怖い思いもしたけど。

ダブルちゃんとも毎日のように走って仲良くなれたし。

私はもうメソメソしていた私じゃない。

一人でダブルちゃんと長い旅をして私は自分に自信がつき、自分の中で何かが変わった気がしていた。

ありがとう。これからもよろしく。

旅先での支出109459円

+フェリー一代36000円+高速代約5000円

合計150459円の旅でした

## 【オンナ1人ダブルツーIn北海道を終えて・・・】(2013.10.21)

---

気がつけば、あれから〇〇年が経っていました。

あの時ツーリングをしながら思った事や、感動したことをこんなにも鮮明に記憶していたとは。

もちろん、毎日付けていたメモがなければ、こんなにはっきり詳しく思い出せなかったでしょう。

勢いに任せて書いたので、書きそびれてしまった【出来事】がいくつかありました。

### 【その1】初日に走っていてバッタの大群に巻き込まれた事件

道を走ってたら、右からバッタの大群が左に向かって飛んでて、道にもいっぱいいて、シールドにも体にもたくさんぶつかってきた！

上陸して一時間後くらいの出来事でかなりビビりました。

これ、ジェッペルだったら泣いてたな・・・

### 【その2】鳩がぶつかった事件

帯広で豚丼を食べて帰る途中に、二車線の道路左側を走ってたら、鳩がバサバサと飛んできて、バイクの左側フロントフォークに体当たりしてきた！

そのまましばらく走って、バイクを確認したら、鳩がぶつかった所が灰色（ハト色）になってた！(>\_<)

ハトはどうなったのか定かではない・・・

### 【中年女性ライダー二人組の言葉】

母親くらいの女性二人組のライダーさんがツーリングをしていて、レバーを自分で替えているのをすごいなあ～と見ていた時の言葉

「若い時は助けてくれる人がいるけど、歳とったらオバサンは誰も助けてくれる人いないから自分でやるのよ～ガハハハ」

そ～ゆうもんなのか？

と一瞬信じてしまった

こんな風にオンナ同士の北海道ツーリングも素敵だな～と思った当時の私でした。( ^o^ )

12年後に自分がオンナ2人ダブルツアーするとは思わなかったなあ♪

第4章 2004年4月 南紀・伊勢ツーリング  
2005年 夫婦ツーリング

明日、起きたら那智勝浦についているなんて、夢みたい。  
一体どんな所なんだろう。どんな感動が待っているのかな？



## 南紀・伊勢ツーリング1日目（自宅ー川崎港）(2004.4.28)

---

南紀・伊勢ツーリング

2004年4月28・29・30 5月1・2・3

2004年のゴールデンウィーク（以下GW）に、だんなさんの実家にバイクで行くことになった。

だんなさんは5月2～5までがお休みらしい。

私はというと、28からGWに突入することがわかった。

せっかくの三重までわざわざ行くのに、なんだかもったいない……

そこでひらめいた！

「一足お先に南紀入りして、ロンリーツーリングを楽しんじゃおう！」

ということで、私は28日の夕方から出発し、5月1日に三重の実家近くのコンビニで落ち合うことになった。

モチロンだんなさんは、面白くない。

プランを話すと「ふーん」と興味なさそうにパイと向こうを向いてしまった。

そんなだんなさんを横目に、どこをめぐるか、どのユースに泊まるか、フェリーは何時に出るのか、などをうきうきと調べる非情な妻である……（スマン、夫）

だって、ほら、オンナはいつ乗れなくなるかわからないんだから。ね？

北海道に行って以来、フェリーの便利さ（楽さ）を知ってしまった私は、早速インターネットで川崎港ー那智勝浦のフェリーの二等寝台を予約したのだった。

二等寝台というのは、最も安い雑魚寝の一つ上のランクに当たる。

寝台列車のように二段ベッドがカーテンで仕切られていて、一応プライバシーは守れる。

女性が着替えたりするのに、結構便利なのだ。

その上のランクはあまりバイク乗りには関係なさそうなお値段だし。

4月28日出発当日

夕方6：00頃に川崎港を出航するフェリーに合わせて3時頃家を出る。

だんなさんはちょっと寂しそう（スマン、夫）

自宅から川崎港までは多分渋滞していたとしても2時間半はかからない。  
川崎港が近づくと、バイクが増えてきた。みんな同じフェリーかな？

港の駐車場に入ると誘導されて指定されたところへ駐車する。



みんなわくわくしているんだろうな～。と他人とそのバイクを眺めてみる。

チケット売り場へ行き、お金を支払い、しばし待機。

呼ばれるまで、地図などを見て過ごす。

那智勝浦だけではなく、他の場所へ向かう人も大勢待機していて、座る場所もないほどだ。  
ようやく呼ばれ、ミラーに「那智勝浦行き」の札をぶら下げて乗船だ。

ちょっと興奮気味でぶおお～～ん！と吹かしている人もいっぱいいる。

誘導に従って船にバイクごと乗り込んでいく。

いよいよ出発だ。

誘導された場所にバイクを止めると、ロープでしっかり固定してくれた。  
必要な荷物と貴重品を持って船室へと向かう。

ベッドは2階だった。

とりあえず荷物を置いて、すぐにお風呂に向かう。

フェリーのお風呂は乗ってすぐが一番空いているのだ。（たぶん）

まだ外はぼんやりと明るく、お風呂の丸い窓から海が見えていた。

湯船に浸かっていると、港の景色が動き出し、いよいよ出航したようだ。

明日、起きたら那智勝浦についているなんて、夢みたい。

一体どんな所なんだろう。どんな感動が待っているのかな？

お風呂から出ると、持ってきたカップめんとおにぎり・ビールをもってロビーに行き、

地図を見ながら夕食タイムにした。

和歌山で2泊してその後だんなさんと合流する予定なんて、すばらしすぎる。  
二度美味しいとはこのことかしら。

明日の朝は早いので、寝坊しないように気をつけなければ。

宮崎行きフェリーなのでそのまま寝過ごしたら宮崎まで行ってしまう。

どきどきしながらほろ酔い気分で眠りに就いた。

「癒し」という言葉を思い浮かべた。



相変わらず腕の腫れはひいてくれない・・・  
ミツバチの毒って結構威力あるのね。

野生の熊が人を襲うのもこういう風に  
きつと事故のようなものなんだろうなあ。

4月29日 紀伊半島上陸！

朝起きて甲板に出ると、紺碧の海が広がっていた。



初めての和歌山に期待が高まる。

着岸間近になると、入り組んだ海岸線の景色が朝の澄んだ空気の中でとても美しい。

上陸すると、まず港に一番近い観光スポット「那智の滝」をめざす。

同じフェリーだったとおぼしきBMWのおじ様が私を追い抜いて行く。

おじ様も那智の滝をめざしているようだった。

那智の滝までは港から20分くらいだったように思う。

思ったよりも急なヘアピンカーブなどもあり、ちょっと寝起きにツライ（笑）

普段は寝起きにヘアピンカーブなんて絶対走らないもんね。

いくつかのカーブを曲がってすぐのところが滝入り口になっていた。

バイクを止め、坂になっているのでギアを入れて滝へ向かう。

バイクは5台ほど停まっていた。（みんな同じフェリーだと思われる）

みんなソロで来ているようだった。

ものすごく背の高い杉に囲まれた、苔むした石段を進んでいく。



早朝のひんやりとした空気と、人気のなさが気持ちいい。  
「癒し」という言葉を思い浮かべた。



那智の滝は想像したよりも大きく、迫力満点だった。  
携帯の画面に入りきらないほどだ。

マイナスイオンを胸いっぱい吸い込んで、那智の滝を後にする。

朝6：00頃に那智の滝を観光しているってなんだか不思議だなあ。

もときたヘアピンカーブを下り、紀伊半島のはじっこの道（R42）をひたすら走るルートをとる。

今日は海沿いの道を走り、海を満喫する予定なのだ。

下調べによれば、和歌山の内陸の国道は酷道といわれるほど狭く荒れているところもあるとか。しばらく行くと、日が昇って暖かくなってきた。

紀伊半島最南端の串本町の手前に橋杭岩という名所があったので立ち寄る。



奇岩といわれる不思議な形の岩が海に並んでいた。





朝7:00で他に観光している人は誰もいなかった。そりゃそうだよね。  
橋杭岩を後にしてR41を左に折れて大島を目指す。  
海の上を走る気分になれるという橋を、W650で走りたい。  
早朝の島に車はなく、私だけの島みたいに貸切だった。



島の端っこにある檜野崎灯台に登ってみる。日本最古の石造灯台らしい。  
駐車場から結構歩くのだが、灯台の上から見る風景は絶景だった。  
海の色が、ちがう。



その後、紀伊半島の端っこの道をひたすら流す。

しかし、思ったよりも複雑に入り組んだ道で、くねくねしている。

その割に車は60キロくらいで走っているので、のんびり走ろうと思っていたのだがそうもいかず、必死（笑）

どうやらこの道は、和歌山の主要な道だったらしい。東京で言う環八といったところか？

地元の人々は毎日走っているのですものね。参りました。

途中の道の駅できんかんジュースを飲んでしばし休憩し、そこではご飯にありつけなかったので次の道の駅を目指した。

海沿いの道の駅「志原海岸海来館」に着くと、海岸にやしの木があってトロピカルな感じ。



ドゥカティの3人組のおじ様たちが駐車していた横にバイクを停めた。

挨拶をすると、にこやかに笑顔で答えてくれた。

3人ともつなぎを着て、休日のツーリングを満喫しているようだった。

少しお話してみると、地元の人たちで、これから美味しいカツオを食べに行く途中だとか。そういう地元の過ごし方ってうらやましい。

きっとこの人たちは海沿いの道を駆け抜けちゃうんだろうな。

W650を見て、「このバイクがよほど好きなんだねえ」と目を細めていた。

2階の食堂に入り、海の見える席に座って刺身定食を注文する。

これからさばくので、少し時間がかかるけどいいですか？と聞かれて嬉しくなる。



さばきたてのお刺身は新鮮でぷりぷりして美味しかった。

お腹も満たされ、次は温泉を目指そう。

この後、ハプニングが起こることなど知る由もなかった・・・

<つづく>

<和歌山上陸初日・昼食を食べてその続き>

お腹も満たされ、今回の目的の一つ、白浜温泉崎の湯にむかう。

ひたすら海岸沿いを走ってればついてしまうので楽チンだ。

と、途中で名所らしきものがあり、立ち寄ってみる。

三段壁？よくわからないけど、行ってみるか。

駐車場にバイクを止め、トイレに入ったそのときだった。

「ちっくううううー！！」

左の肘の辺りが異常な痛み。

驚いてウェアを脱ぐと、ミツバチがぽろりと落ちてきた。

蜂に刺されたのだ。

いつの間にウェアの中に入っていたのだろう？それにしても痛すぎる。

ミツバチに刺されるなんて、小学生の時以来だ。

近くの売店のおばちゃんに、蜂に刺されたので薬局はないかと尋ねると、

薬局はこの辺にはないので、その辺に生えているアロエでも塗ったらどうか？

との返事だった。まじめにアロエを探したが、見つからなかった（笑）

しょうがないのでとりあえず後で薬局に寄ることにして、三段壁を見に行く。





火曜サスペンス劇場のラストシーンに使われそうな、断崖絶壁だった。

蜂に刺された腕はじんじん痛むが、絶景に感激する。

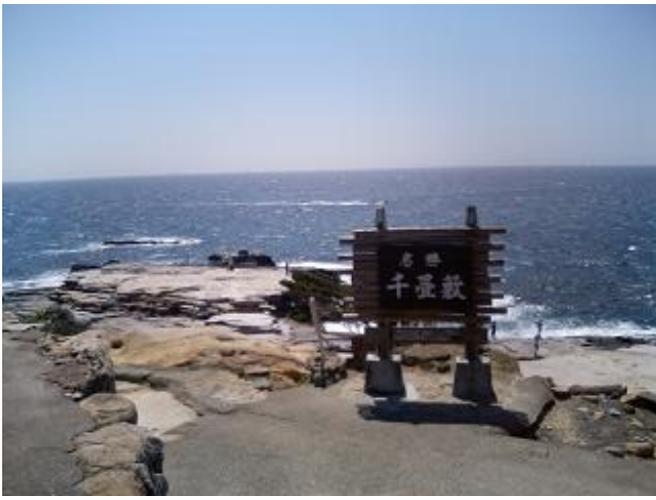
自殺を防ぐために崖の上には「一寸待て 死んで花見が咲くものか」という看板がぽつんと立っていた。

結構にぎわっていて、自殺する雰囲気ではなかったが。

三段壁に感動し、温泉へ向かう。と、またまた名所らしきものが。

千畳敷？なんだかわからないけど、見てみよう。せっかくだし。

駐車場にバイクを停めると、海に侵食された岩が不思議な景色を創り出していた。



長瀬みたいだけど、水平線がまあるくて地球を感じた。遮るものが何もなく、すごい風だ。そろそろ奇岩系には飽きてきたし、一人で奇岩めぐりするのも何なので、温泉をめざす。崎の湯は道路の左側に入って急なUターンをしたところにあった。革パンを脱ぎ、お風呂に続く扉をガラリと開けると、海が見えた。手前と奥の二つの湯船があり、奥の方が低くなっていて海と同じ高さになっている。海に近い方がぬるいようだ。海水が入ってくるのかな？海沿いの温泉ということで期待していたのだが、蜂に刺されてそれどころではなくなってしまった。温泉に入り温まると、痛みが増してくるのだ。

ぬるいほうに痛む腕を上げながら怪しく入っていると、地元の女性に話しかけられた。「お一人ですかぁ？東京から？どうしてこんな何も無いところにわざわざ来たの？私だったらこないわぁ。アハハ。東京は楽しいところがいっぱいあるじゃない！！」かなり陽気な人だった。地元の人にはこの自然のすばらしさって当たり前のことなんだろうな……。地元でこんな風に休日をごせるなんて、そっちの方がよっぽど羨ましいと思い、そう言うと、笑って手を振っていた。温泉を後にして、円月島を左手に見ながら海岸沿いを走る。絶景だなあ……



絵になるなあ

しかし、心の中では「薬局はまだか～」 腕が腫れてきたっぼい。  
途中、やっと見つけた薬局にて薬を買って塗ったが、熱を持って腫れていた。  
今日の宿泊先は湯浅町にある有田オレンジＹＨだ。  
湯浅町に入るとミカンの甘酸っぱい香りが広がった。  
ＹＨは、海沿いのわかりにくいところであって、さらにこんな細い路地に入るの？  
という坂道をバイクで入っていったところにいきなりあった。  
普通のお宅のような感じ。  
部屋に案内されると、誰もいなかった。  
今日は私一人でこの部屋を使っていいらしい。



嬉しいような、寂しいような。

お客さんは私のほかに若者とおじ様の2人の男性ライダーだけだった。

若者は外へ夕食を食べに行ったので、おじ様ライダーとご飯を食べながらお話をする。こんなに人のいないユースは初めてだった。ここではみかん狩りなどもできるそうだ。一人でひろびろと部屋を占領し、テレビを見て眠りについた。

翌朝、龍神スカイラインを目指して出発した。いよいよ内陸に入っていく。

時折後ろから車が近づいてくるので、先に行ってもらい、

のんびりと山の緑を楽しむ。

こんな風に、誰もいない絶景の中をのんびり走っている時、

w650に乗っていて幸せだなあと思う。



気がつくと、街はお坊さんだらけだった。

コンビニでもお坊さんが買い物してたり・・・

## 南紀・伊勢ツーリング3日目（有田オレンジYHー高野山青巖寺YH）(2004.4.30)

---

4月30日

みかんの香りあふれる湯浅町に別れを告げ、いよいよ今日はこのツーリングのもう一つの目的、龍神スカイラインをめざす。

龍神スカイラインは、私の愛読書「日本百名道」にも載っている。

現在は無料化されたので、ただで絶景が楽しめるらしい。なんてすばらしいんでしょう。

まずはR424で紀伊半島の中心部へと向かう。

和歌山は、地名に山がつくだけあって、とっても山深いところだ。

時折後ろから車が近づいてくるので、先に行ってもらい、のんびりと山の緑を楽しむ。

こんな風に、誰もいない絶景の中をのんびり走っている時、w650に乗っていて幸せだなあと思う。

途中、美しいエメラルドグリーンの川沿いに、道の駅があったので、休憩する。

売店でヒノキのエッセンシャルオイルをお土産にする。かさばらないのが一番。

川べりに階段で下りられるようになっていた。



音のない世界。

こんなにキレイな景色を一人で見ているのはもったいないなあ

相変わらず腕の腫れはひいてくれない・・・ミツバチの毒って結構威力あるのね。



腫れているのわかる？

きっとあのミツバチも驚いたことだろう。なんともかわいそうなことをしたなあ。

野生の熊が人を襲うのもこういう風にきっと事故のようなものなんだろうなあ。

すっかり水に癒され、胸いっぱい爽やかな空気を吸い込んで、再び出発した。

R371 龍神街道に入る。龍神スカイラインも楽しみだが、実はその手前にある龍神温泉に立ち寄るつもりなのだ。

日本三大美人の湯、と聞いては、入らない訳にはいかないだろう。

つつる美人になっちゃうもんね～

龍神温泉は、少し細い道を入れていったところにあった。

入り口にバイクが4台ほど停めてあったので並べて停める。

いつもの温泉セット（タオル・シャンプー・リンス・メイク落とし・化粧品）はすぐに取り出せるところに

入っている。準備はばっちりだ。

ツーリングに行くようになってから、様々な温泉に行くようになり、

だんだん温泉の質の違いや、本物の温泉かどうかなどもわかるようになってきたように思う。

龍神温泉は、入ると本当に肌がすべすべつるん。こりゃ美人になれそう。

内湯だけだが、ガラス越しに川を見下ろすロケーションは気持ちがよかった。

・・・しかし左腕は相変わらずじんじんしているので上げたまま。←結構アヤシイ。

また温泉で温まって、痛くなってきた。（泣） ミツバチくんよ～うらむぜ。

ほかほか美人になって、いよいよ龍神スカイラインをめざす。

スカイライン内は43Kmガソリンスタンドがないとのことだったので、手前で給油をする。緑豊かな山深いスカイラインは、平日ということもあり、貸切だった。

おかげであせることなく、のんびりとW650を走らせることができ、ホッとひと安心。名所らしきごまさんスカイタワーが見えてきた。ここでお昼としよう。



山が折り重なるように見える。



ごまさんスカイタワーからのながめ

本当に和歌山って山深いねえ。

うどん定食のようなものを食べ、下りに向かう。

誰もいないのをいいことに、ひたすらコーナリングの練習をしていた。

しかし、後ろに重い荷物を積んでいるだけでバイクのバランスが崩れ、楽しく曲がれない。バイクに荷物を積むのはやっぱり邪道なのかなあ。

他の車がないのがせめてもの救いだった。

走っても走っても、まだまだ道は続く。龍神スカイラインは結構長かった。

ようやく下界に下りてきたと思ったら、そこはまだ山の上だった。

そこは高野山。標高600Mに開かれた町だ。

にわか観光地らしくなってくる。

<つづく>

<龍神スカイラインを降りてからの続き>

今日は高野山YH（青巖寺）に宿泊予定だが、すぐ着いてしまいそうなので、ひとまず観光をする。

全然事前学習してこなかったが、なんとなく人が多い方へ行ってみる。



奥の院？なんだかお墓がいっぱい並んでいる。石畳を歩いていき、途中のあずまやに立ち寄ると、弘法大師についてのビデオが流れていた。ちょっと異様な世界。

弘法大師を祀っているところらしい。四国お遍路の格好をした人が般若心経を唱えたりしている。

また、知らない日本を発見してしまった・・・

腕の腫れがひどくなったので、再び薬局により、消毒液などを買込む。

高野山青巖寺YHは、繁華街から少し入った坂の途中にいきなりあった。

入り口には「青巖寺」という看板がある。ここはお寺？

カラカラと扉を開けて中に入ると、ぴかぴかに磨き上げられた床がお寺っぽい。

中庭なども風情があり、廊下を歩いて一番奥の部屋に案内されると、そこは広々とした和室だった。

今日はこの部屋を北海道からきた女性と二人で使って良いらしい。

火鉢にガラスを乗せてテーブルにしたり、椿がさりげなく活けてあったり、とてもセンスがいい。

こんな素敵なユースがあったとは。ちょっと驚く。外国の人でも喜びそう。

食事は、お寺らしく、精進料理だった。どれも美味しく、感激。

ツーリングの後は何でも美味しいんだけど、そういうことではなくて、美味だった。

食後は、他のお客さんとコーヒーなど飲みつつ話せる部屋があり、  
周辺のガイドブックなど見ながら、話をする。

バイクで来ている人、飛行機で来た人、色々だが、  
みんなたいてい1人で来ていた。（おば様2人連れを除く）

1人の人が、四国でバイクお遍路をしてきたという。  
四国遍路に興味津々だった私は、身を乗り出して話を聞いていた。  
今は、バイクで八十八カ所巡りをする人もいるのだ。  
（バスやタクシーもいるけどね。）

手段はともかく、達成することが大切で意味があるんだろうな。  
彼は「四国遍路のしおり」のような、かなりレアな小冊子を持っていた。  
そこにはお遍路の作法や、般若心経などが書かれている。  
それぞれのお寺に行く毎に書いてもらったという納経帳を見せてもらう。  
豪華な刺繍の施された納経帳には、墨で書かれた字の上に朱印が押されていた。  
彼いわく、弘法大師が開いた聖地、高野山に来るのは憧れだったという。  
また知らない日本を発見してしまった・・・

何も考えずにただ高野山に来てしまった私だったが、  
色々な人の話を聞いているうちに、面白くなってきた。  
結構盛り上がったので、みんなでお酒を買い出しに行く。  
夜の高野山は、静かだった。

それぞれのお寺から漏れる灯りやたいまつが怪しげで、厳かな感じがした。

時折、暗闇から若いお坊さんが自転車を立ち乗り（2人乗り）して走り去っていく。  
闇の中からいきなりお坊さんが現れたのには一同びびった（笑）

気がつくのと、街はお坊さんだらけだった。コンビニでもお坊さんが買い物してたり・・・

せっかくなので、夜の寺なんかも見てみる。  
1人じゃ絶対こないけど、他の人もいるから大丈夫。  
夜のお寺はライトアップされ、朱色に塗られたお堂はすごく迫力あった。  
タイムスリップしたような、不思議な気持ちだ。  
1人になるのが怖くて他の人とはぐれないようにびくびくしていた（笑）

翌朝、早起きして奥の院で座禅を組むという人もいたが、やめておいた。  
チェックアウトしてから、みんなで金剛峰寺に行くことにする。  
金剛峰寺にはとても立派な石庭があった。



突き当たりまで行くと、お茶とお菓子を出してくれて、  
大広間で休めるようになっていた。  
大勢の人が休んでいる。

金剛峰寺は昔、青巖寺という名前だったそう。  
改名するときに、私たちが宿泊したお寺に名前を譲ったそう。  
そういえば青巖寺という看板が掲げてあったなあ。

みんなと別れ、高野山を後にする。  
いよいよ今日は、三重でだんなさんと合流だ。  
これから奈良を越え、三重に向かう。  
<つづく>

---

長いトンネルを抜けると、三重県に入った。

そこから先は、もう、w 6 5 0の貸切道路。  
誰もいないし、道は広いし、山は緑で空は青い。  
本当に気持ちのいいワインディングなのだ。



## 南紀・伊勢ツーリング4日目（高野山ー三重）(2004.5.1)

---

<5月1日高野山から三重へのつづき>

R371を通ろうと思っていたが、通行止めになっていたため、R370を利用する。

高野山から下界に降りていく道R370は、とってもクネクネしていて、私のw650で走っていると、とってもストレスがたまる。

なんだかすいすいと曲がれないのだ。

バイクも重たい感じがする。

相変わらず、運転がヘタだなあ・・・

・・・これだけ乗っていてこんなに乗りにくさを感じてしまうなんて、やっぱりこのバイクは私には向いていないのだろうか。

ツーリング先では主に山道や峠を走るんだから、もっと山道を走りやすいバイクに乗り換えるべきなんだろうか。。

ZRXみたいな、ツーリング向けの・・・でもw650以外のバイクなんて。などと心の中でつぶやきながら峠道を下っていった。

峠を下りきると、大通りにぶつかる。ああ。ついに下界に降りてきてしまった。ここからは車も多いし、つまらない道がつづくんだろうなあ。

大通りは車がいっぱい。川を挟んで反対側の道に入ってみる。

民家の中を通り抜ける道。こういうのどかな道をのんびり走るのっていいな。

途中、吉野あたりで川沿いのレストランに入り、昼食をとる。

家族連れや熟年夫婦で賑わう落ち着いた雰囲気のお店だ。

大きな窓の向こうには吉野川が流れている。

一人で来ている人はいないけど、気にしない、気にしない。

食事を終えて外に出る時、老夫婦から声をかけられた。

「いま、素敵な趣味ねって話していたんですよ」

見るからにバイクな格好で、一人で食事をとり、地図を読んでいる姿を見て、そう話していたそうだ。

夫婦の食事の話題に上っていたのかと思うと少し照れた。

バイクに戻ると、地元の人っぽいおじ様が話しかけてきた。  
どっからきたんかい。今日はどこまで行くの。  
三重まで行くというと、驚いていた。

気をつけてな～  
何気ない会話でも、心がなごむ。

しばらく行くと、どうやら道を間違えてしまったことに気づく。  
Uターンしてもと来た道に戻り、伊勢街道に入る。  
伊勢ってつくだけでなんだかほっとする。  
長いトンネルを抜けると、三重県に入った。

そこから先は、もう、w 6 5 0の貸切道路。  
誰もいないし、道は広いし、山は緑で空は青い。  
本当に気持ちのいいワインディングなのだ。  
ここはまた走りたいくらい気持ちよかった。

伊勢自動車道をくぐると、一気に交通量が増えてくる。  
いよいよ町に入った。  
三重の道は何気ない道でもとても雰囲気がある。  
待ち合わせのファミリーマートでダンナさんと合流。  
だんなさんの実家から1 k mくらいのところにある。

きっと二人一緒に東京から来たと思うに違いない。  
今夜はお土産話がいっぱいできるなあ

長い一日だった

---

しばらく登りのクネクネ道を進むと、いきなり英虞湾の絶景が広がる。

「ほえ〜！」

思わず景色に見とれてしまった。

牡蠣や真珠の養殖の網や小さな島々が創り出す風景が美しい。



だんなさんの実家にお正月ぶりにお邪魔する。

初めてバイクで来たので、ご両親はちょっとびっくりしていたけど  
とっても暖かく迎えてくれた。

だんなさんはバイクで実家に帰るのは二回目だったらしい。

これが、だんなさんがバイクに乗らない人だったら・・・  
この状況はきっとあり得ないんだろうな。

嫁がバイクに乗ってだんなさんの実家に行くなんて。

しかも、帰ってきたと思ったら、二人してツーリングに出かけちゃうなんて。  
ある意味、バイク乗りと結婚して良かった～。としみじみ思った（笑）

5月2日

今日のツーリングは、だんなさんと伊勢志摩スカイラインとパールロードを走り、  
三重の南端、御座白浜にある民宿「潮路荘」に立ち寄って帰ってくるルートだ。

民宿「潮路荘」は、縁あって、12月（2004年12月）に行う私たちの結婚式の後、  
私たちを含めて親戚一同がお世話になる予定なのだ。

海の幸がぷりぷりのお宿だそうな。

渚100選にも選ばれた白い砂浜が広がる美しい海岸にあるらしい。

実家を出て伊勢神宮方面に向かう。途中川を越えたり、すでに景色がいい（笑）

家を出たらすぐ、ツーリングっていう感じだ。さすが三重！

今日は伊勢神宮はパスして伊勢志摩スカイラインに入る。

この道も「日本百名道」の一つなので楽しみだった。

人はまばらで、空いている。さすが三重！

しばらく登りのクネクネ道を進むと、いきなり英虞湾の絶景が広がる。

「ほえ～！」

思わず景色に見とれてしまった。

牡蠣や真珠の養殖の網や小さな島々が創り出す風景が美しい。

本当にこの人（うちの夫）素晴らしいところで育ったんだね。

私の生まれ育った環境と何と違うことか。海・山・赤福（？）・・・うらやましいなあ。

こんな海や山に近くて、とれたての魚や野菜を食べて育てたら、東京のスーパーの刺身を食べる気にならないのも仕方がないと思える。それくらい三重の食べ物は何もかもがおいしいのだ。

頂上のドライブインで、ひと休み。

肌寒いので伊勢うどんを食べて暖まる。

伊勢うどんは、太めの腰がないうどん、甘めのたれがかかっている。

だんなさんと出会ってから食べるようになったのだが、

これが結構うまいのだ。

熱々に卵とたれをかけて混ぜた温たまうどんは、結構はまる。

ポイントはあの、腰のなさかな？

ちょっと天気がよろしくなく、霞んだ感じだったが、それでも大勢の人が絶景を楽しみに来ていた。



ちょっと観光気分夫婦で記念撮影を試みる。

バイクの人たちも大勢来ていて、さすが百名道って感じ。

下りは山の中を走り抜ける感じで、あっという間に鳥羽に出た。

鳥羽からはパールロードという道を走る。これもまた百名道の一つなのだ。

三重ってスゴイね。

しかも、パールロードは元々有料道路だったそうだが、現在は一部を除き無料化されている。さすが三重！（そればかり）

パールロードは一度車で連れてきてもらった事があり、

その時はだんなさんと2人して車の中で「うお～バイクで走りてえ～」

と唸っていたのだった（笑）

実際にバイクで走ってみると、やっぱり楽しい。

橋を渡る時などは左右をキョロキョロしてしまうくらいの絶景。

的矢大橋を渡り、スペイン村なども（行ったことはないが）通過して、

左側一面に海を見下ろしながら走る。

この辺りはかなり絶景で、先日雑誌アウトライダーでもロケに使われていた。

ちょっと天気が怪しくなってきたのと、車が結構とぼしているのが気になったが

御座白浜に到着。着いた頃には、雨がしとしと降り出した。

潮路荘のおかみさんと簡単に挨拶を済ませ、雨が本降りにならないうちにと、

せっかくの白浜も見ずにあわてて帰路につく。

帰り道、伊勢神宮に抜ける道はなぜだか大渋滞。

一車線しかなくて、なんとも困る。

一年前のGWの奥多摩の渋滞を思い出し、Uターンして別のルートで帰ろうと提案する。

一本道をかなり進んできてしまったため、決断が必要だったが、

結局その意見が採用され、ちょっと遠回りだがガラガラにすいている道を通って実家に戻った。

雨の山道はやっぱり腰が引けてしまい、怖くてうまく走れない。

明日は東京に帰るので天気が回復するといいのだが・・・

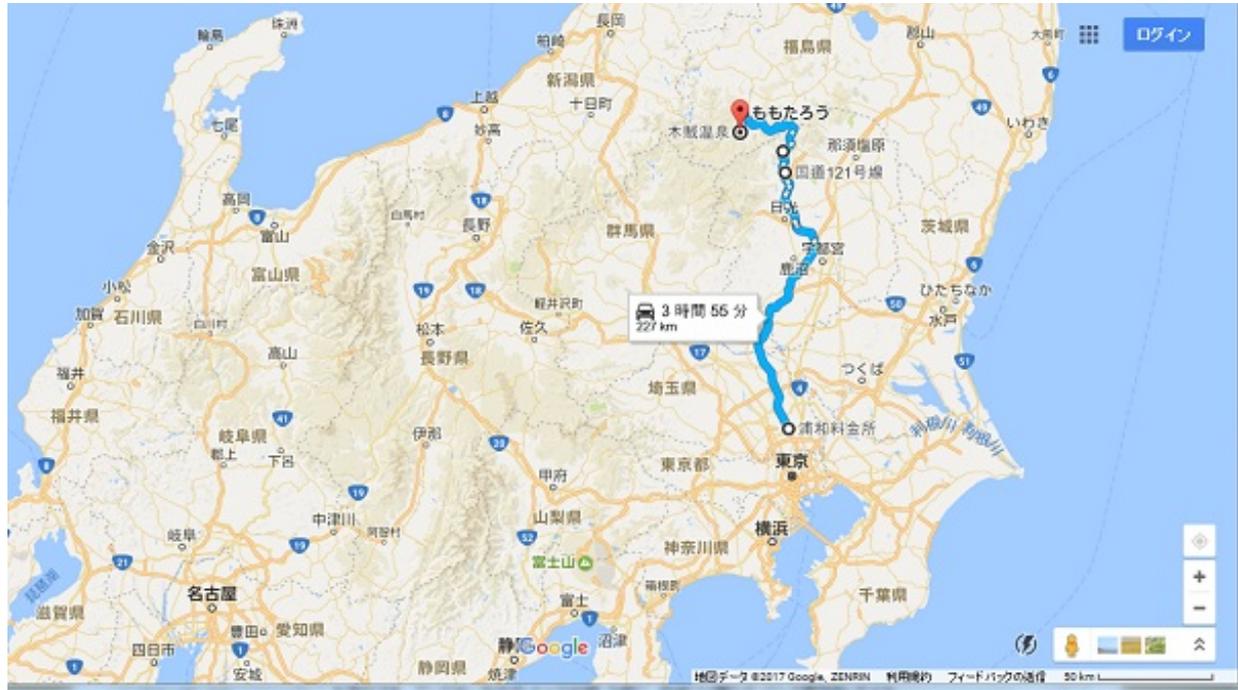
伊勢湾フェリーと東名高速を利用して、東京へ帰宅。

南紀伊勢ツーリングはこれにておしまい。



最終日のレポートはありません・・・(^\_^)

実際観光スポットらしきものはなーんもないのだが、  
こういうところの風景がまたたまらない。



昨年のGWは私が一足先に出てロンリーツーを楽しんだために、だんなさんがすねってしまったので、

今年のGWは2人揃って奥会津へ行くことに。

1泊だけだったのだが、久しぶりの夫婦お泊まりツー。

ちょっと長いですがお許し下さい。

朝起きてGWの高速道路の映像をテレビで見たらスゴイことになっていた。

しかし、東北自動車道なら平気だろうと甘く見ていたら、大大渋滞にはまる。

東北自動車道の浦和料金所を入った瞬間、私たちは延々と続く車の列に巻き込まれたのだった。

お宿が決まっていなかったなので、SAで休憩した時に、めぼしい宿にダメモトで電話をしてみた。

「[温泉民宿ももたろう](#)」1人1泊2食付き7000円ナリ。

おかみさんが快くオッケーしてくれた。イエイ！目指すは奥会津！

宿・メシ・温泉が一発で確保できた私たちは幸運に感謝しつつSAを後にした。

那須と日光の渋滞を避けるため、マイナーそうな矢板ICで降りる。

やや観光客で混み合う鬼怒川温泉を抜けてから蕎麦屋で昼食にした。

期待していなかったが意外とうまい。

再びR121会津西街道を北へ向かう。

湯煙の立ちのぼる川治温泉を抜け、五十里（いかり）ダムに立ち寄る。

トンネル抜けてすぐ右に駐車場入り口があってビビる。

ダムの上では大きな鯉のぼりが気持ちよさそうに空を泳いでいた。



気持ちよさそ～

さらにクネクネした道を北上すると、ぐっと涼しくなる。

辺りの木々は枯れていて、春のケハイすらない感じ。

なんだか季節を逆行しているみたい。

途中、滝があったので休憩してみる。



↑アウトライダーを意識してみました・・・。

ショップのツーリングで湯野上温泉に行ったとき食べた大辛大根蕎麦のお店を通過して、道の駅田島でちょこっと休憩。

山王トンネルを抜け、（寒い！）分岐を左R352へ。

R352へ入ると、ぐんぐん山道を登り、標高が上がっていく。

気温は20℃で快適。

山の斜面をふと見ると、残雪がところどころに。

のんびり走っていると、黒いw650のおじさまがいい音をさせて私たちを抜かしていった。

思っていたよりまだ冬っぽくて驚いたが、そういえばこの辺にはスキー場があるんだった。それは寒いわけだ。

R352はほとんど車が走っていないので貸切のようだった。

実際観光スポットらしきものはな一もないのだが、こういうところの風景がまたたまらない。



↑春を発見。桜の木の下で。

唯一の？観光スポット「前沢曲家集落」に立ち寄る。

車乗り入れ禁止なので、入り口の駐車場にバイクを停める。

集落へ入ると、かやぶき屋根の家が立ち並び、水芭蕉が咲いていた。

ひっそりとして観光客はほとんどいない。

そろそろ16時近いせいか、お腹がすいてきた。

温泉は明日にして民宿へと向かおう。

民宿は道路沿いの果樹園の中にあった。観光農園を併設しているらしい。

おかみさんが「お疲れになったでしょう、すぐにお風呂へどうぞ」と、言ってくれた。



↑ 民宿のワンちゃん名前は「わんぞう」 でもメスなんだって・・・。

お風呂の入り口に、先ほど抜かされた黒w650がSRと停まっていた。

あら、一緒のお宿だったのね。色違いのwでちょっと嬉しい。

お父さんと息子でツーリングを楽しんでいるようだった。

そんなツーリングも素敵だなあ。

でも、お母さんはどうしているのかしら？

将来、息子とツーリングなんて素敵だなあ。などと妄想を膨らませる（笑）

夕ご飯は、突然の宿泊にもかかわらず、とってもボリュームたっぷりの心がこもったお料理で美味しかった。種類がいっぱいで、食べきれないほど。

お米もぴかぴかで、さすが米どころ。地元のお酒も少しいただいて、私たちは幸せをかみしめていた。

翌日、木賊（とくさ）温泉に立ち寄り、私たちは奥会津を後にした。

また、紅葉のきれいな季節に行きたいなあ～ ももたろう。



↑ 木賊（とくさ）温泉の岩風呂。こっちは混浴。男女別の内湯も少し離れたところにある。

昨日は4時起きだったのだけど、今の4時ってまだ暗くてびっくりした。  
空にはオリオン座がきらめいて（笑）もう秋なんだね。



## 秩父へなちょこツーリング！(2005.9.5)

---

昨日はバイクショップのツーリングに参加して、秩父方面に行って来た。



昨日は4時起きだったのだけど、今の4時ってまだ暗くてびっくりした。

空にはオリオン座がきらめいて（笑）もう秋なんだね。

支度をしているとだんだん空が白んできて、家を出る頃には明るくなっていた。

明け方はフルメッシュのジャケットに半袖Tシャツだと寒いくらいに涼しくて、昼間の灼熱地獄が嘘のよう。

w 6 5 0 以外はどれもスポーツタイプのすんばらしく速いバイクだけど、私のペースにあわせてゆっくり走ってくれた。感謝。

お天気が崩れそうだったので、あまり遠出せずに早めに帰ってくる予定で出発！

5：00集合、5：30出発の予定だったが、1人遅れて到着したので6時半に出発した。

遅れた人には缶コーヒーとアイスをごちそうしてもらいました(^^)vごちそうさま

R 2 9 9 を秩父へ向かう道は何度も走っているけど、適度にうねうねしていて、楽しい。

オレンジ色のコスモスや、さるすべりのピンクの花が咲いていてきれい。

でもなぜだか前の乗れてる感じが、戻ってこない。

あれ？

あれれ？

お尻の場所が悪いのかしら？とちょっと後ろにずれてみたり。

でもやっぱり前みたいにすい〜っと曲がらない。

オーイあの時の感覚やーい戻ってきておくれー

もしや・・・最近の体重増加がライディングに影響したのか？

たしかにこの頃無限に食べてたな私。ああ。反省。やっぱりダイエットしなくっちゃ。

などとダイエットを決意しながら秩父神社を通り過ぎ、突き当たりを右へ。

R 4 4 → R 1 3 は車の少ない山道だ。

あたりはどんどん山深くなっていく。R 4 6 2 の十石峠街道に入ると、神流湖（かなこ）が見えてくる。エメラルドグリーンで島が浮かんでる。こんな湖があったなんて知らなかったなあ。

しかし、先頭の店長さんについていくのが必死で、あまり風景を堪能できない（泣）

初心者の悲しいところ。途中、栗が落ちてきて、腕に当たる。

後で見たら赤くなっていた。もし半そでだったり、ジュッペルで顔に当たってたら怖い。

神流湖をすぎて少し先のドライブイン万葉（まんば）の里で休憩を取った。

ほへ～

どうして今日、私、前みたいに曲がれないのかしら？とスナオに質問してみる。

「空気圧が足りないんじゃない??」

そうかもしれない。この間ショップで見てもらったけど、前日はサボって確認していない。帰ったらお店でチェックしてもらおう。

空気圧は本当に大切に、足りない走り方に大きく影響するんだそうだ。

必ず毎回チェックすると、店長さんは話していた。今後気をつけます。。反省。

万葉の里にはドゥカティの集団と、Zの集団が休憩をしていた。

ライダーの年齢層高いなあ～。どちらもとってもお金がかかるバイクなんだそうだ。

バイクって贅沢な趣味なんだなあ。とあらためて実感する。

万葉の里をもときた道へ少し戻り、本日の目的、お蕎麦のお店を目指すことに。

R 7 1 を右折し、土坂峠を走る。

ここは以前5月に通ったとき、枝垂桜が見事で感動したところだ。

川沿いに枝垂桜が連なり、風に桜の花びらが舞って、本当にきれいなのだ。

つきあたりを右に曲がると広々とした気持ちのいい道が開ける。

立ち寄り湯のある両神温泉薬師の湯を横目に、少し行くと本日のお蕎麦屋さん 「そば福」 に到着。



一番乗りです

11:30 開店なのだが、11:00 に到着してしまったので、少し時間をつぶす。

山に囲まれた静かな気持ちのいいところ。

駐車場が砂利なので、手前の駐車場にしておいたほうがよかったかも。

店内は座敷で、4人がけのテーブルが4つだけ。

私たちは一番乗りだったが、開店と同時に続々とお客さんが来て満席になった。



くるみざる700円

私はくるみざる700円を頼む。他のひとは天ざるや、とろろざるなど。



つやつや。

そばが透き通っているのだが、そば殻がつぶつぶと入っていて歯ごたえのある変わったおそば。ざるのおつゆはかつおの香りがとてもいい上品な味だった。

くるみのたれは甘すぎず、さっぱりとしてとってもおいしかった。



天ざる・・・おいしそう。

そば福を後にして、帰路につく。

R140を秩父へ向かい、もと来たR299を通り、途中でR53山伏峠経由で名栗を通る。なんだか乗れてない私は峠もうまく曲がれず、へぼへぼの走りで何とか通り抜けたのだった。15時には解散となったのだが、その後、ショップで色々ともてもらう。

空気圧は0.5くらい抜けていたそう。入れてもらって乗ってみると全然感じが違って、プリッとした感じ。

これか・・・と空気圧の大事さをかみしめた。

そうこうしていたら、天気予報どおり土砂降りになった。

しばらく様子を見て、小降りになったときにショップを後にする。

しかし、いつも通る道がなんか混んでいると思ったら、なんと大雨で冠水していたのだ。

冠水の直前まで行ってしばし悩む。このままつっきれるかしら。

対向のカブのひとがつきってくる。泥水は30~40cmくらいたまっていそう。

悩んでいるうちに、水がざぶーんと来て、足首まで水に浸かった。

やっぱり、引き返そう。

重いw650を水溜りの中で押してUターン。もうざぶざぶ水に入っちゃっている。

何とか抜け出して、帰路に着いた。家についてから、靴下が全然濡れていないことに感動。やっぱり[このブーツ](#)すばらしい～！

本日の走行距離245km（リザーブに入らず）

お小遣い ガソリン3.7ℓで475円（126円/ℓ）朝満タンにするため給油

サンドイッチ250円・缶コーヒー120円・おそば700円・黒酢ジュース100円

## 第5章 2006年－2008年 長男誕生

～オンナ2人ダブルツーリング in 軽井沢～

ママはバイクを降りない！？

---

久しぶりのw650に戸惑いつつ出発した。  
どうやら運転の仕方は体が覚えているみたい。

クラッチをつなぐ感覚がしばらく戻らず、こわごわつなぐ。

## お礼参りツーリング(^^)v(2006.8.20)

---

今日、約一年ぶりにバイクに乗った！！出産後初♪

昨夜は暑くて寝苦しい夜で、2時に寝たのに、4時ごろ目が覚めてしまった。

ムスコにおっぱいを添い寝で飲ませながら、だんなさんの寝顔と見比べているうちに、「これからバイクに乗って神社に行こうかな？」と思い立つ・・・

なぜ神社なのか？というと・・・

先日、ムスコの「お食い初め」という儀式を家で行った時のこと。

この儀式は子供が一生食べ物に困らないように、また、丈夫な歯がはえるように食事のお膳の前で食べさせるまねをし、お箸の先で歯固めの石を触って子供の歯ぐきにあてるというもの。

この、歯固めの石とお箸は、先日前お宮参りに行った神社でいただいたものだった。



石が入っていた袋には、儀式が済んだらお返し下さいと書いてある。

だんなさんが

「ちょうどいいから、バイクで返しにいつてきたら？」「お守りも返し忘れていたしそれいいね」

と話していたのだった。

さて、思い立ったら準備開始！

寝ている二人を起こさぬようにそーっとクールマックスのCWXと靴下をはき、少しだけメイクして革パンをはく。はけた！

(体重が妊娠前に戻ったので、やっとはけるようになった！うれしい～)

ウエストバックをクローゼットから引っ張り出し、一応保険証を入れてだんなさんに置手紙「神社に行ってくるのでムスコが起きたらたのみます」

さて、行こうかというところでムスコが「うーん」と動き出した！

泣き出したら大変なので、革パンをギシギシ言わせながら添い寝しておっぱいをあげた（笑）  
おっぱいを飲んで再び寝た息子を起こさぬようにそーっと家を出る・・・  
「成功！」ここまでで結構疲れた・・・

さて、先日洗車しておいたバイクを引っ張り出し、空気圧のチェックをする。  
前1.60後ろ1.90と結構抜けている。（前2.00後ろ2.25が適正）

久しぶりのw650に戸惑いつつ出発した。  
どうやら運転の仕方は体が覚えているみたい。  
クラッチをつなぐ感覚がしばらく戻らず、こわごわつなぐ。  
スピード感覚も忘れていたので、いったい今何キロで走っているのか  
メーターを見ながら50～60キロで走る。

後続の車にあおられてないだろうか？ミラーを時々チェックする

7時前なので道はすいていて、快適だった。  
しばらく走って、バイクと一体となる感覚を取り戻してきたころに神社に到着。



当たり前だが社務所は閉まっていた。9:30かららしい。  
当然お守り返却ボックスもさげられていて、返すことができなかった・・・

私ってバカ？（笑）

お参りを済ませて、仕方なく境内をぶらつくと、歯固め石返却所という場所を発見！



無事に石を返却し、帰路についたのであった。

帰り道、途中でおっばいが張ってくる。(シュワシュワという感覚)  
ふと、運転に夢中で忘れていた息子を思う。おとなしく寝ているだろうか？

給油をしようと思ったが、どのスタンドもまだ開いていなかった。

1リットル143円という価格に時の流れを感じる。

家に着き、そーっとシャワーを浴びて寝室に戻ると息子がむにゃむにゃとうごめきだした。  
すかさず添い寝でおっばいをあげることにする。

6時から8時のたった2時間の間でしたが復帰第一号のツーリングでした♪  
今夜、オイル交換に行こうっと。

セルフのスタンドで給油していると、  
今日これから一日を自分のために使っていいんだなぁと実感する。

こうしていると子供を産んだなんて嘘みたいだ。（ウソじゃないけど。）



## オンナ2人、w650ツーリング In 軽井沢 (2006.11.7)

---

昨日は、オンナ2人、w650で軽井沢へ行ってきました。

以下レポートです♪ (かなり長いです)

数日前、夫は一人でツーリングに行くことを心配していた。

産後初で一年以上ぶりという事もあった。

一人より、二人のほうが楽しいし、  
なにより女同士なら気がねもいらぬ。  
ということで、w650仲間の姉さんを誘ってみることにした。

姉さんの返事はOK!

たまたまお休みで、予定を入れていなかったそうだが  
2人で行くことになり、ツーリングが現実味を帯びてきた (笑)

姉さんとは、バイクに乗って以来の付き合いで、  
時期は違うが、エストレア→w650というステップアップをした同士。

私がバイクに乗り始めたころ、私はエストレア、姉さんはw650で  
2人でのツーリングは5年前、山梨の明野村へひまわりを見に行った以来。

行き先を姉さんにお任せしていたところ、  
「軽井沢の星野温泉と、フレンチレストランに行こう♪」  
なんだか、とっても素敵な予感♪

行き帰りを高速利用することになり、集合は7時になった。(遅い?)

こうしてオンナ2人w650ツーリングが実現することになった。

～当日朝～

5時半に起きて息子に寝ながらおっぱいをあげた。（添い乳という）

いつも夜中に3時間おきくらいに息子が泣くので、いつもどおりの風景。

いわゆる完全母乳という生活をしているので、  
いつもコンスタントにおっぱいをあげる生活だ。

今日は初めての長いお出かけ。

～本日のウェア～

いつもはTシャツのところを今日はフレンチレストランに行くので、  
キャミソールxカーディガンに変更。

その上にバイク用のあったかウェアを着る。

ポリプロピレン素材でとてもあったかい長袖と、ゴアウインドストッパー。

下は・・

CWXタイツの上にあったか素材の足首までのタイツ、冬用のクールマックスハイソックス。

そして久しぶりに革パンに足を通す。

少々きつい気もするが、久しぶりなので革が堅いのだろう（ということにする）

夫に「いってくるね」と声をかけるが、寝ていた。

W650の埃を落とし、空気圧をチェックする。

2ヶ月ぶりでチョークを引いてやっとエンジンがかかる。

クラッチのつながかたが下手でおっかなびっくり発進した。

一年以上ぶりに集合場所へ向かうのがなんだか変な感じ。

なんだかこんなに私のダブル、うるさかったかしら？

そういえば、エンジンオイル、久しく換えてない・・・

セルフのスタンドで給油していると、

今日これから一日を自分のために使っていいんだなぁと実感する。

こうしていると子供を産んだなんて嘘みたいだ。（ウソじゃないけど。）



↑ 2台のw650

7時半、集合場所を出発する。

姉さんが調べてきてくれた裏道を使い、ICへと向かう。  
ぎこちなかった運転も、だんだん思い出してきて慣れてきた。  
高速道路は意外にすいていて、流れていた。

一時間ほど走ると体が冷えてきて、鼻がたれ、手もかじかんでくる。  
この寒い感覚、久しぶりだわ（笑）

途中、上里SAで休憩。あったかい玄米茶がおいしい～（しかも無料）

休憩後、ジャケットに冬用インナーを装着。インナーグローブも。  
インナーなかったら凍えてたな・・・

碓氷軽井沢ICを目指す。  
関越から上信越道に入り、横川あたりになると一段と空気が冷たくなり、  
山々の木々も色づいてくる。

高速を降りてゆるやかな峠道を走る。  
久々のコーナリングは固まりまくりのへっぴり腰。  
前はどうしていたっけ？  
右コーナーがめっちゃぎこちなかった（笑）

秋に軽井沢に来るのは初めてだけど紅葉が美しくて素敵。  
でもやっぱり寒いなあ。気温9℃。

目的の星野温泉は中軽井沢にあり、10時過ぎには到着。  
10時からなのだが、駐車場にはかなりの車が停まっていた。  
バイクも5台ほど先客があった。人気の温泉なのかな？

とてもきれいな施設で、温泉も広く、内湯と露天があり、  
紅葉を楽しみながらぬるめのお湯にのんびりとつかることができた。  
お湯は柔らかい感じでお肌がすべすべになりそう。  
入浴は¥1200と、チトお高めだが、ゆったりしていて快適♪

ここで体を洗いつつ、乳搾りタイム。ホッと一息つく。  
朝あげてから5時間以上経過していたのでかなりパンパンになっていた・・・

入浴後身支度をして、バイクに戻ると、先客のおじ様方が戻ってきて  
「かっこいいね」と声をかけられた。  
でしょう？w650でオンナ2人なんて渋すぎるよ～！（笑）  
にっこり微笑み、軽井沢のフレンチレストランを目指す。

12:00に姉さんが予約をしておいてくれたのだ。素敵～♪  
少々遅刻して、到着したお店はかわいらしい感じのお店。



↑食前にピンク色のいい香りのハーブティーが。



そしてお料理はこんな感じ



↑鴨胸肉のローストが、非常にジューシーで美味。地物のきのこのこのソースで。



↑虹のスフレがかわいすぎて、食べるのがもったいなかった・・・

半年の子育てお疲れってということで、自分にご褒美。(写真とりすぎ?)  
こんな素敵なお店でランチできるなんて、オンナ同士のツーリングって素敵♪  
ゆっくり食事して気がつくとも14時を回っていた

軽井沢のメインストリートの方は竹下通りのような混みようなのでパスして  
そのまま帰路につくことにする。

ICまでのクネクネはやっぱりこわごわ。腰ひけてる(笑)  
こんなんじゃショップのツーリングなんてとても行けない・・・

でも姉さんがゆっくり走ってくれているのもあるけど、  
w650同士のツーリングってなんだか快適～！  
やっぱり同じバイク同士ってこんなに相性がいいんだな～と感心する。  
そういえばw650だけのツーリングって初めてだ。  
高速も、つらさが同じだから、快適な速度が同じで嬉しい♪

高速に乗ると、渋滞10kmとの表示。あちゃ～

しばらくいくとも14kmになって、さらに行くと、30kmになってる！！  
さすがに行楽日和だし・・・仕方がない。

姉さんが先導してくれてすり抜けつつ進む。

途中、16時頃、おっぱいがチクチクしてくる。  
そういえば10時過ぎに温泉で搾って以来そのままだ。  
美味しいものいっぱい食べたし、  
きつとどンドン製造されているに違いない・・・

などと考えていると、そのうち胸から下がひんやりしてくる。  
どうやらおっぱいが服を濡らしている模様。  
いつもなら息子君が一生懸命飲んでくれる分が溢れてる！

サービスエリアのお手洗いであわてて服を脱ぎ、  
しばし乳搾りタイム。（寒い・・・）

キャミソールとカーディガンは綿素材だったので  
びしょびしょになっていたが、  
バイク用の冬用ポリプロピレンTシャツを着ていたおかげで  
びしょびしょになるのは避けられた。  
こういう時、専用のウェアはありがたい！！

無事高速を出ると夜空に花火が上がっていた。キレイ！

姉さんの自宅近くのコンビニで一息ついていると、  
おじ様が声をかけてきた。

「このバイク色違い？赤と青で2人もかっこいいね。」

気がつくとも私も姉さんもそれぞれのバイクの色のジャケットを着ていた。  
確かに私たちって、かっこいいかも～！！（自画自賛）

次回はもう少し近場でまた温泉にいこうと約束し、姉さんと別れる。

一日、一緒に走ってくれた姉さんに感謝。

家に着いたのは20時前。  
帰ると息子とだんなさんは普通ににこにことくつろいでいた。  
特に問題なく、1時間おきにミルクを飲んで、3回昼寝もして  
いい子にしていたそうなの。

一日、面倒を見てくれただんなさんに感謝。

一日、いい子にして粉ミルクを飲んでくれた息子にも感謝。

本当にありがとう。楽しかったです

早速パンパンのおっぱいを飲ませると、楽になった。

が、数分後、息子はおっぱいを吐いてしまった。

やっぱりまずかったのかしら？

3時間以上たつとまずくなると本に書いてあった。

息子よ、スマン。母ちゃんを許してね。とてもいい一日だったよ。

こうして、また母ちゃんモードに戻ったのだった（笑）

本日の走行距離 330km

---

オンナがバイクに乗り続けるということは  
並み大抵のことではないということを実感。

## ママはバイクを降りない(2006.11.10)

---

ママはバイクを降りない 善田紫紺著 潮出版社

図書館にて、検索していて、ふと見つけた本。

件名のところに「オートバイ」といれて検索したら出てきた。

なにやらタイトルからすると、私と同じ境遇？と、早速予約をいれてみることに。

読んでみると、もともとツーリングライターをしていた女性が2児の母となり

育児とバイクとの両立の難しさ、世間の理解のなさを実感し、

育児ノイローゼになりかかった時にバイクに乗ることで自分を取り戻し、

ついには母親ライダーサークル「まますくらぶ」を立ち上げ、その代表者になるというもの。

レディースバイクという雑誌がもともとのきっかけだったらしい。

その人数は数百人に及んだそうだ。

読んでいて、本当に世の母親たちが気の毒になってきた・・・

特に、専業主婦として家庭に入っている人は外に出にくくなってしまふのかなあ〜と。

そして、オンナがバイクに乗り続けるということは並み大抵のことではないという

ことを実感。(バイクだけに限らないが・・・)

先日、とある育児支援サイトの掲示板にママさんライダーはいませんか？と

書き込みをしてみると、同じ境遇の人が4~5人、書き込みをしてくれた。

みな7年ぶりに乗ったとか、ずっと乗ってないとか、いつかは復帰したい、

というような気持ちを持っており、お互いにいつかは、ということをお互いに励ましあったのだった。

この本は1995年のもので、もうだいぶ経っていて、状況も変わっているかもしれないけど

やっぱり結婚・妊娠・出産を機に乗れなくなって、でも、「乗りたいな〜」と思っている人は

たくさんいるんだと思う。

話の中で印象的だった場面は、ママさんライダー（この言い方はあまり好きではないんだ

けど・・・）

数人でツーリングをすることになり、集合してみると、みな革ツナギで、ビシっときめていた

こと。

想像したらすご〜くカッコイイ！！

筆者が育児に煮詰まり、夜子供を寝かしつけてから9時ごろに1時間程度のツーリングを楽しみ、缶コーヒーを飲んで帰ってくるという場面もかなり共感できた。今度やってみようかな？

バイクに乗るということは、日常から非日常の世界に行くということだという。そしてその非日常の世界で充実した時間を過ごすことによって、より愛情を持って子育てをすることができる・・・というようなくだりもあった。

読み終わって、思ったことは・・・

母ちゃんは、バイクを降りない！！

---

くねくね道を走るのは本当に久しぶりだったが、  
意外にもブランクがいい結果となり、以前の変な癖はリセットされ、  
苦手の右コーナーも前より怖くなく、  
後輪に乗れている感じをつかむことができた。  
速くは走れないけど、楽しい～！！

## 満開の芝桜ツーリング(2007.5.3)

---

4月30日、産後初めてバイクショップのツーリングに参加してきました。

行き先は秩父の羊山公園です。

以下にレポートします（少々長いです・・・）

---

前回の11月「[オンナ2人w650ツーリング](#)」では途中で乳搾りタイムをとったり、漏れてきてしまったりと大変だったが、ようやく気にしなくても大丈夫になったので産後初めてバイクショップのツーリングに参加させてもらうことに。

もうじき一歳で離乳もだいぶすすみ、この四月に仕事復帰して以来、母乳をあげる回数も少なくなってきた。

仕事復帰して数日は胸が張って仕方なかったが、しばらくすると体も慣れてきて、日中は製造を休止しているらしい(笑)。

母乳をメインであげていた期間に比べると体も楽になり、少し自由になったような気がする・・・

団体で行動するマスツーリングでは、ほかの人に迷惑をかける恐れがあったので、産後いままで参加できずにいたが、約1年経ってようやく復帰することができた。やれやれ。

妊娠してから、約1年8ヶ月ぶりの参加だった。

前日のこと

28日にツーリングに出かけていただんなさんがダブルを磨いてくれていたのだが、戻るなり「ダブル壊れたかもしれへん」

え～・・・！？

ギアチェンジができなくて、クラッチの様子が変わったという。

バイク屋さんに電話したりしてなんとかつながるようになったが、どうやらクラッチワイヤーがのびていたらしい。

なんとか大丈夫だということでほっとした～。あぁびっくりした！

当日

集合時間は5時半だったが夜中の1時半に目が覚めてしまい、あれこれ家事をしたりしていたら眠れず、そのまま出発。

明け方、息子が少しぐずっていたが、耳を澄ませていたらそのまま眠りについてホッとする。

数日前から熱があり、測ってみるとまだ微熱があるようで心配だったがだんなさんに任せ、五時過ぎに家を出た。

クラッチも無事につながり、ギアチェンジがやや固い感じだったが集合場所で店長さんがちょこちょこっと魔法の手で触ると、スムーズになった！（さすが～！！）

久しぶりのツーリングではあったのだが、なんだかとてもリラックスしていた。

気を使っていたが、3番手を走ることになる。

くねくね道を走るのは本当に久しぶりだったのだが、意外にもブランクがいい結果となり、以前の変な癖はリセットされ、苦手の右コーナーも前より怖くなく、後輪に乗れている感じをつかむことができた。速くは走れないけど、楽しい～！！

秩父へ向かう道は、早く出たおかげでとても空いていて、8時にはあしがくぼの道の駅に到着。さすがに朝は冷え込む。が、日中は暑くなりそう～。

本日のウェアは、

下→革パンの下にcwxと、ゴールドウインのポリプロピレンタイツ（薄手）、あったかソックス、上→綿のTシャツ（K a w a s a k i の）と、ゴールドウィンポリプロピレンシャツ（厚手）、ゴールドウィンウィンドストッパー、ジャケット

しばし休憩し、暖かいコーヒーで一息ついてから目的地に向かった。

道の駅からわりとすぐに有料駐車場があった。

大人数のバイクは扱いが決まっていなかったようであわてている様子。（11人だったので）しばらくして8番の駐車場へ案内された。

上着を脱ぎ、駐車場から少し（10分くらい）歩く。

結構急な斜面を降りたりするので、高齢の両親とは難しいかなぁ？などと思いつつ歩く。

と、一面にピンク色の丘が広がっていた。



羊山公園の芝桜は初めてだったので、感動する・・・きれい。

一人300円の入場料を払って中へ入る。  
天気も良くて、最高の花見（バイク）日和だなあ～  
芝桜のにおいは、ちょっと微妙だった（笑）



しかし、まだ8時半だというのに、かなりの人出。  
これからどんどん増えるかと思うと、恐ろしくなる・・・。

丘を登りきると出口になっていて、広場に屋台村のようなスペースが！  
フリータイムとなり、思い思いのものを食べる・食べる・・・  
団子がおいしかった！くるみ・さくら・ずんだの団子がお気に入り。



おうちに団子と田楽味噌などおみやげを買う。

このほか、焼きトン、きゅうりなどほかの人の食べているのをつまみ食い。  
だんだん暑くなってきて、お手洗いでタイツを脱ぐ。

その後、武甲温泉の裏手にある蕎麦屋さんへ向かう。

武甲温泉のあたりで鯉のぼり祭り？のようなのをされていて、たくさんの鯉のぼりが泳いでいた。

この時期はいろんなところで鯉のぼりの雄姿を見ることができが、  
今まで見た中で感動したのは、志賀坂峠の先を左に行った辺りで見た鯉のぼり。  
川沿いを走っていると左側に見えてくるのだが、山の上のほうから河原に向かって  
鯉のぼりがずらっと並び、すごくいい！！

また、志賀坂峠のちょうど桜の散る中を駆け抜けられて最高だった。  
あそこはぜひまた行きたいなあと思う。本当に素敵なのだ。

お蕎麦屋さんは11時半からだったので、50分ほど時間をつぶす。  
開店と同時に満席となったのにはおどろいた。人気の店なのかな？  
くるみ汁の天ざるを注文する。



1年8ヶ月ぶりに食べるおいしいお蕎麦。

・・・うーん長かった。

蕎麦が、ではなくて、妊娠してからここまでの間が。

これからもまたこういう時間が持てると思うととても幸せな気分になったが、その時間もそう長くはないであろうと想像するととても貴重な時間に思える。

ほかの人には当たり前のような時間なんだろうけど。

産んで、育てて、何もなかったかのように今ここにいるけど、少なくとも2人は子供がほしいので、再び我慢の日々が来るのは間違いないのだ。

だんなさんは複数の子供を引き受けて送り出してくれるのだろうか。  
一瞬さびしいような気分になってしまったが、お蕎麦がおいしくて、すぐ忘れる（笑）  
くるみ汁って、とっても好き。

蕎麦湯を入れて飲み干した。

お店を出ると、行列していてびっくり。

食後は渋滞の反対車線を横目に、帰路についたのだった。

帰宅すると息子が大喜びで（目にいっぱい涙をためて）迎えてくれた。

熱が高くなり、だんなさんが座薬をいれてくれていた。

1日面倒を見てくれてありがとう。

ものすごくリフレッシュできました。

ごめんね。かあちゃんは楽しんできたよ。いい子にしてくれてありがとう。

これでまたお仕事も、育児もがんばれるよー！がんばるよ！

がんばるので、またツーリングに行かせてね（笑）、

二人でツーリングに行くのが久しぶり過ぎて、

なんだか不思議な感覚。



## 2年ぶりの夫婦ツーリング(2007.6.24)

---

6月上旬のある平日、偶然休みが重なり、夫と2年ぶりのツーリングに出かけることになった。行き先は、雑誌「アウトライダー」に載っていた「関東の穴場ルート」秩父。

以前から夫はこの特集記事を読んで、密かにツーリング計画を立てていたらしく、私が休みを取れそうだと話したら、「それなら一緒にどう？」ということになり、本当は夫が一人で行く予定だったツーリングに、飛び入り参加させてもらうことにした。

夫が計画を立てているっほいので、ルートや行き先は全くお任せ状態で当日を迎える。

<当日>

息子を預けて、8時半頃、バイク置き場に向かう。

二人でツーリングに行くのが久しぶり過ぎて、なんだか不思議な感覚。空気圧をチェックして、出発。

ルートはお任せなので、夫の後をくっついて行けば良い。と思ったら、途中、道を間違えてUターン（笑）岩蔵街道に入りたかった模様。夫は先日、ツーリングで同じルートを通ったらしい。

初めて通る道は、いつも新鮮だ。岩蔵温泉というのも気になっていて、一度このあたりに来てみたかったのだ。車はほとんどなく、のどかな風景が広がっている。電車やバスで来るにはちょっと大変だが、バイクならあっという間だ。ここに住んだら、通勤は大変だろうなあ。などと考えながら走り抜ける。

いくつかの分岐を過ぎると見覚えのある道になり、山伏峠に入った。

峠は嫌い（笑）

夫は、先日ブレーキをブレンボというのに換えて、さらにリアサスをオーバーホールし、絶好調な様子。峠をゆっくりと流して楽しんでいる。そうか。ここに来たかったのか・・・

私もせっかくなので相変わらず苦手な右コーナーを研究しつつ、走る。  
左コーナーの場合は右の路肩へスーッと寄って行きながら重心を左側に  
移動し、ブレーキをパッと離してスーッと曲がることのできるのに、  
なぜだか右だとできない・・・。  
体が歪んでいるせいなのだろうか。  
何度試しても、うまく曲がることのできないまま、峠を抜けた

少しして、道の駅あしがくぼに着いた。バイクは3台ほど停まっていた。  
久しぶりのバイクの調子を話しながらちょこっと道の駅をのぞいていたら  
小腹もすいてきた。一つ目の目的地、蕎麦屋「やなぎや」に向かおう。

(続く)

## 2年ぶりの夫婦ツーリング 2(2007.7.1)

---

道の駅あしがくぼを後にしたのは11時ごろだった。

西武線の踏切を越えて秩父神社を過ぎ、突き当たりの信号を右折すると武甲酒造が見えてくる。秩父の銘酒の老舗で、何度か立ち寄ったことがあるが、横目で見ながら今日は通り過ぎる。

(最近うまいお酒飲んでいないなあ・・)

しばらく行くと、左手にやなぎやが見えてきた。

夫は初めてなので気づかない様子。合図をしてバイクを停める。

駐車場は三カ所あり、私たちはやなぎやを左折してすぐ右手にバイクを置いた。

ここのクルマ汁の蕎麦は絶品です(800円くらい)

食べていると、テレビから天気予報が聞こえてきた

「雷雨の予報が出ています」

ら・・らいう？

私たち夫婦はあまりに久しぶり過ぎて、ツーリングの大原則「どんなに晴れていても合羽は持っていく」を忘れていたのだった。

これはなんとしても降られる前に帰らなければヒサンだ・・

蕎麦の次なる目的地、長瀬のかき氷屋さんへ向かうことにした。(食べてばかり?)

予習している夫が先導してくれて、長瀬方面へと向かう。

こうして夫の背中を見ながらバイクを走らせるのもいいなあ～。

一体次はいつになることだろう・・

なんて思いつつ、のんびりと走っているうちに、阿佐美冷蔵という自然氷の氷屋さんへ到着。

カキ氷をととても楽しみにしていた夫だったが、お店についてその雰囲気よさにびっくり。

お店、というか、お庭?で氷をいただくようになっていて、

古い民家の軒先で涼みながらの～んびり、という感じ。

古民家に住みたい願望のある私たち(笑)にはとってもお気に入りの場所となった。

氷は色々あって迷ってしまったが、糖蜜とこだわりメロンを頼むことに。

運ばれてきた氷のてんこ盛りにびっくりしながら代金を払う。(一つ600円くらいだった

かな?)



天然の氷がスーッと口の中でとけていく。

こだわりメロン、、とってもおいしい！

今度はこだわりイチゴを食べたい！

というか、全部制覇したい・・・ (笑)

抹茶小豆とか、コーヒーとか、いろいろあって、他の人の食べているのを見ると、どれもおいしそう～

メッシュジャケットでも暑いくらいの陽気だったせいもあり、さくさくと氷の音が気持ちいい。

木陰に涼しい風が通り抜け、身も心もお腹も癒された・・・

こんな素敵なお店に連れてきてくれるなんて、ウチの旦那様、なかなかやるじゃない・・・。

。

てんこ盛りの氷でクールダウンした後は、

次の目的地、温泉に向かおう。

続く

## 2年ぶりの夫婦ツーリング3(2007.7.4)

---

氷を山盛り食べて冷えきった体を温めるべく、目的の温泉「新木鉱泉」へ。

ところが道を間違えてまたまたUターン。さらに間違えて有料道路に入りかけ、ヒヤヒヤのUターン(笑)

新木鉱泉に向かう道は、裏道のようなマイナーな道で、埼玉県とは思えないような景色。途中で小さな段々畑があり驚く。牧場の看板もあり、ポピーが満開と書いてある。

気になってちょっと寄りたいなあと思ったが夫は完全無視・・・後で聞いたら先日のツーリングで行ったんだとか。どおりで興味ないわけだ。と納得・・・(笑)

新木鉱泉の看板が見えてきたが、いまいち曲がる場所がわからず、またまたUターン(笑)

細い道を少し入ると駐車場があり、さらにその奥にひっそりとした佇まいの温泉宿があった。よくある日帰り入浴施設とは全く別物の本物の温泉宿だ。

平日ということもあり、人の気配がないのが嬉しい。

中へ入ると私たちはその素敵な温泉宿をいっぺんに気に入ってしまった。

とても清潔でセンス良く、純和風の素敵な雰囲気なのだ。

料金(一人900円くらい?)を払い、夫と分かれて女湯へgo!  
先客は数名いたが、もう出るところらしい。(ラッキー♪)貸し切りの温泉での～んびり・・・平日サイコーだなあ。

温泉は、さほど大きくなく、こじんまりとした感じで落ち着く。外には丸い露天のお風呂が二つある。一つは子供用?ミニサイズだった。

お湯の温度はちょうどよく、いつまでも入れそう。  
鉱泉は、すこしぬるっとしていて、肌がすべすべしてくる。  
気持ちい～い!

今頃息子くんは遊んでいるかなあ。

息子にはスマンが、たまにはこんな息抜きも必要だあ～。

親の心理は子供に影響しちゃうからね。・・・と、正当化しつつ、お湯を楽しむ。  
温泉から出て、夫と「今度は泊まりで来たいね。」などと話していると、雷が鳴り出した！

ヒィ～！

雨に打たれ走る自分たちを想像して恐ろしくなり、急いで帰ることにした。

少し走ると、シールドに雨粒がポツポツ当たりはじめ、いよいよやばい感じ。

・・・にもかかわらず、夫が「山伏峠」を通って帰ろうと言うので、却下する(笑)  
やっぱりこの人、「天然」？

雨の峠道走るなんて、絶対イヤだ～

ただでさえ下手なのに、グリップ感のない恐怖で腰が引けまくってしまうに違いない・・・

結局、渋る夫を抑えてR299で帰ることにした。

渋滞がイヤで渋っていた夫だったが、道は流れていて、  
むしろ右コーナーでペースが落ちる私が渋滞の元？という感じだった。

幸い雨に降られず、無事帰宅することができた。

よかった～～

合羽はどんな時も必ず持って行こうと誓ったのだった(笑)

帰宅し、一息ついてから息子を迎えに行く。

また、たまにはこうして夫婦の時間を持ちたいなあ。

と、笑顔でしがみついてくる息子を見つめながら思ったのだった。

いい一日でした。

ありがとうございました。

結論

やっぱりバイク夫婦は、バイクツーリングをしないとダメですね。

頑張っって出かける時間をつくり、楽しい時間を共有して子育てに励みましょう(笑)

次回はいつになることやら・・・

次は志賀草津道路に行きたいデス！



---

ベテランの友達が先頭で、  
二番手に三回目のツーリングという友達、  
そして私。  
今日が三回目という彼女の後ろ姿を眺めながら走る。

なかなか上手に走ってるなあ。  
私はいまだにうまくならないが・・・

## ちょこっと奥多摩ツーリング(2007.8.8)

---

先日奥多摩に行ってきました。

暑かった～！

そして雷雨が凄かったあ・・・

朝10時に友達とバイクレンタルのお店で待ち合わせなので、余裕をみて9時頃にダンナさんと息子に見送られて出発。すでに汗だく！

久しぶりでボケてた私はあごひもを留め忘れてしばし走り、信号待ちであわててひもをし、メッシュジャケットの肘パッドが入っていないことに気づく。

洗濯したときに出して、入れ忘れてた・・・

気を取り直して、目的地に向かおう。

レンタルバイクのお店は10時かららしい。遅くない？

ツーリングに行くにはちと辛い。夏は特に早朝が涼しいのに～

思ったより道が空いていて早く着いたので近くのコンビニで休憩。コンビニのおじさん（店長さん？）もバイク乗りらしく、ご親切に外で地べたに座って休んでいる私に椅子を出してくれた。

ライダーに優しいコンビニだ～（笑）

友達と合流し、手続きを済ませていざ出発～

別のコンビニでベテランライダーの友達（♂）と合流し、奥多摩方面へ向かう。

ツーリングは人数がある程度いた方が楽しいよね！

途中、福生駅近くで七夕まつりの準備が始まっていた。屋台がたくさん出て七夕飾りがキレイ。

午後から通行止めの看板を横目に通過する。

青梅のくねくね道に入ったが、暑い～。

途中のコンビニで一休み。

もう少しいけば涼しいはず・・・

と淡い期待をして進む。



アイスでクールダウンしたら、白丸駅近くのカフェレストラン「アースガーデン」をめざす。

ベテランの友達が先頭で、二番手に三回目のツーリングという友達、そして私。  
今日が三回目という彼女の後ろ姿を眺めながら走る。

なかなか上手に走ってるなあ。  
私はいまだにうまくならないが・・・

いくつか点在する気になるお店を通過し、12時40分頃目的地に到着。

お店は橋を渡ったところにひっそりと・・・

と思いきや、満席でしばし待つことに。

おしゃべりに花が咲き、

忘れられてない？

と思ったころに席があいてようやく食事にありつく。

本わさびを自分ですりおろして食べる蕎麦を食べることに。



わさびがあまり効いていない気がして大量に入れていたら

「入れすぎ！」

とつっこまれる

友達にオムライスをおすそ分けしてもらったりしながら、のんびりくつろぎ（あの猛暑に戻りたくない～）

気づくとなんだか雲行きが怪しいような・・・

これは小河内ダムまでいってる場合じゃないかも！とあわてて来た道を引き返し始めたたん、

ゴロゴロ～～

ビカビカビカッ

トン♪

テンテンテン♪

# ザー！

スゴい勢いで降ってきた！

びしょぬれになりかけてトンネルに救われるがすぐに出口になり、またびしょぬれに（笑）

シャッターがおりている軒先にてあわてて合羽を着込み、シートバッグにレインカバーを掛ける。

雨は弱まりそうにない。

仕方なく先へ進むが雨の激しさに腰が引けている私（笑）

初心者マークの彼女はマンホールをよけながら走っている。  
見ていてコワイ（笑）

やっと青梅まで来たら雨が止む。

もおー。

ま、雨効果で少しだけ涼しくなったので良しとしよう・・・

夕焼け空をバックにしばし走って、帰路についた。

それにしても、8月に都内でツーリングって、とってもヘビー！

案の定、うれしいことに体重が減っていました。

ダイエットしたい人にはおすすりめですよ（笑）

本日の走行距離 110キロ

## 秩父ツーリング♪(2007.8.30)

---

先日の日曜は秩父ツーリングでした。

五時集合五時半出発。

四時半に出るつもりが、息子が泣き出してしまい、おっぱいを飲ませていたら遅刻しそうに・・・。

あああせった。

ナンとか間に合って出発♪

朝五時だけに、涼しくて気持ちがいい～。

R463と新しく道がつながったR299で秩父を目指した。

新しい道は気持ちのよい道だ。

それにしても、バイクに乗って涼しくて気持ちいいなんていつぶりだろう！

七時半頃道の駅あしがくぼに着き、珈琲（Hot!）で一服。



一時間ほど走って神流湖を過ぎ、道の駅万葉の里で再び休憩。

ソフトクリーム250円がおいしい～！

朝採り野菜なども安い！みょうが一袋（20個くらい）やズッキーニが100円とか、シシトウに・・・行く方は保冷バッグをお忘れなく（笑）

少し引き返して土坂峠に入り、ガラガラのワインディングを堪能し、両神村を抜けて下に降りて

くるとやっぱり・・・暑っづ～い（笑）



道の駅でもついつい主婦の目線（笑）

しかし・・・なんだかお腹の調子が悪いみたい。

後ろを走っていたM君に、

「後ろから見てると体が傾いてて、直したくなる！」  
と言われる。

もともと体が歪んでいる私。自覚はしていたのだがやっぱりショック！

無意識に体が左に傾いて左肩が下がってしまうのだ。

証明写真を撮るといつも肩が下がっている。

そう言うと

「どおりで。右に曲がりにくいわけだね。傾いてるんだから。」

と・・・

当たり前の指摘に愕然としたのだった。

そうか。

左に傾いてるから体が逃げちゃうんだ。

万葉の里を後にして土坂峠で秩父へと戻るルートを走る。

9時過ぎで道は空いていてほとんど貸切状態。

傾いている自分を後ろから見られていると意識してしまっただけで体が固くなってしまふ。

どうやったらうまく右コーナーを曲がれるんだろう。

右肩を下げてみたり、いろいろ試しながら走る。

しっかりとニーグリップをして、目線を遠くにやり、曲がり始めのポイントを自分の中で決めてやると、怖くなく曲がることができるようだ。

つつい前の店長さんの鮮やかなコーナリングに見とれてなかなか目線を遠くに見渡すことが難しい（笑）

そうこうして秩父に下りてくると、

暑い！

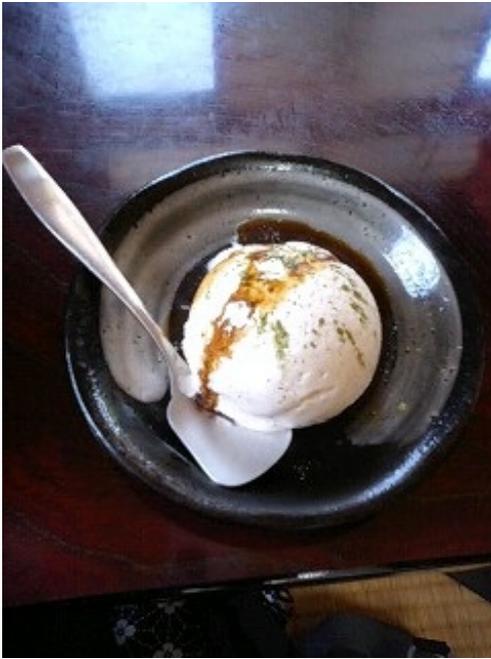
暑さに耐えながら、ようやくおそば屋さん檜に到着～。



天せいろうどんをいただく。

うどんがもちりとコシがありくるみ汁と絡まって美味しい～。

食後に前回食べ損ねたそばアイスを食べる。ウマー！



と、やっぱりお腹の調子が・・・。

冷たいもの食べ過ぎかしら。

今度は両親を連れてこよう！と考えながらそば屋を後にした。

帰り道、山伏峠をいつもより楽しく走れてびっくり。

ニーグリップと傾きを意識したおかげかな？

三時半頃、解散。

お疲れ様でした～

今日はジュースをおごってもらってばかりで得しちゃいました。

自分がおごる場合も多々・・・じゃんけん弱いので（笑）

本日の走行距離238キロ。ガソリン10リットル。燃費23.8キロ/lでした。

乗るたび、楽しくなってくる！バイクって面白い～。

---

山全体が色づいている。

あまりのきれいに、感動。

泣きそうになる。

## おっぱい卒業・・・きのこツアーリング(2007.10.30)

---

10月28日(日) ショップのツアーリングに参加してきました。

野沢温泉で、きのこ狩りです♪



なめこ

前日

台風が・・・！

すごい雨と風。明日は本当に行くんだろうか。。と心配しながらも用意をする

当日

晴れた！

二度寝してしまい、5時15分に目覚める。

あわてて用意して、5時35分に家を出た。

前後のタイヤに空気を入れて、出発！

途中、セルフのスタンドで給油して満タンにする。

1リットル139円。た、高い～  
でも仕方ない。

6時半出発。

久しぶりに会う人や初めての方もいて  
13人のツーリング。

バイクはw400、ZZR1200、ZRX-II、Z750Sなど。  
Kawasaki以外のバイクも。

ウェアは念のため冬支度で、さらにウィンドストッパーなどを持っていった。  
でも、結構寒い。

w650はスクリーンがないから、モロに風が当たっちゃう。  
ジェッペルの人、寒そう～。  
私はフルフェイス&ネックウォーマーでぬくぬく。

関越自動車道で湯沢を目指す。  
途中、関越トンネルの手前で休憩。



紅葉が、きれいだ～

しかし、寒い。  
インナーグローブを買おうと。などと考えながら走る。

高速道路に朝日を浴びて映った自分の影に見とれたりしながら（笑）  
12時ごろロッジに着いて、お昼ごはん。  
きのこ鍋や天ぷらなどきのこ尽くしのランチを堪能。



ぐつぐつ

なめこのしゃぶしゃぶ、うまい～！  
日本酒飲みたくなります。

食後にきのこ狩り。  
ワゴンに乗り込み、近くの山へ入っていく。

ひんやりした空気の山道をバイクのブーツで歩いていく。  
空気が、おいしい～。  
癒される～

かごを二つ渡されて、最初にぬるぬる系という法則を教わり、  
各自きのこ狩り開始～ ！  
夢中でみんな無言になる（笑）

スーパーで売ってる大ききの4倍くらいのしいたけとか、  
直径10センチ以上のなめことか、とにかくスゴイ！

時々、毒キノコもあるので、教わりながらさまざまなきのこを採る。  
手が、ぬるぬるだ～

5年連続で利用しているということで  
今回のスペシャルプレゼント、

一人ひとつずつ、直径30センチくらいの舞茸（地面に生えてる！）を採る！



すごすぎ！！でかすぎ。

あまりの大きさに、バッグに入りきらず、宅急便で送るひとも。。  
知ってたらもっと大きいバッグで来たのにね。

ロッジに戻り、気がつくのだんなさんからメールが来ていた。

1歳5ヶ月の息子が40度の熱を出したらしい。

なんか、私がツーリングに行くときにいつも熱出さない？

気のせいかなあ・・・

中耳炎からきた熱なので、とりあえず様子見てもらうことにする。

ロッジを後にして、紅葉のきれいな峠道をバイクで登っていく。

左カーブで目の前に紅葉が迫ってくる～

見とれてる場合じゃないけど、見とれちゃう。



山全体が色づいている。

あまりのきれいさに、感動。

泣きそうになる。



途中、写真撮影をして、上のほうまで行ってみる。

日が暮れ始めて、西日があたり、黄色の黄葉に光が透けて、金色に輝いてる。

まぶしいくらいに輝いて、キラキラ、夢のよう。

そして上のほうはもう葉っぱはありませんでした。

それにしても、やっぱり上のほうは寒い！

時々落ち葉が濡れて路面にはりついていたりと、

ちょっとヒヤッとする。

これから落葉すると、どこもこんな風なのかな？ちょっと怖い。

持ってきたあったかタイツとウィンドストッパーを着込み、帰路についた。

念のため持ってきていたけど、なかったらかなりつらかったかも・・・

日が暮れてしまい、真っ暗な山道を走る。

初めて夜の峠道を走った。

怖い！！

カーブの先が見えないので、ビビリながら走る。

ようやく高速に乗り、ほっとした。

が、やっぱり行楽シーズン。渋滞してる。  
とろとろと動いている渋滞だったので、まだ良かった。

なんとか、22時半、無事に帰宅。  
帰ると息子が嬉しそうに駆け寄ってきた。

ただいま～  
と抱きしめる。

土曜日からおっぱいをあげるのをやめていた。  
いわゆる断乳、卒乳。  
私の体調が悪くて、薬を飲むため、お医者さんから5日間おっぱいをあげないように言われ、  
この機会におっぱいを卒業しようと、土曜日に最後のパイパイだよ、と言い聞かせていたのだ。

息子はこれまではすぐに「パイパイ」といってすがりついてきたのだが、  
どうやら我慢して、「パイパイ」と言わないようにしているようだ。  
何も言わず、ただおっぱいをまさぐり、触っていた。  
こんな小さいのに、なんてケナゲなんだろう・・・  
とても愛しくなった。

お留守番をしてくれた、だんなさん、ありがとう。  
今日一日、走りを堪能しました。  
楽しかったです。

本日の走行距離540キロ。  
ももの付け根が筋肉痛になりました。しかも翌日。(笑)

## おいしいお魚つーりんぐ！！(2007.12.6)

---

日曜日に、沼津までお魚を食べにツアーリングに行ってきました♪

気がつけば、もう水曜日。

毎日が怒涛のように過ぎていきます。

子育て日記も、9月から書いていない。

息子も一歳半。いたずら盛りで、毎日あれこれとやってくれます。

仕事と育児と遊び。

遊びがないと、仕事も育児もがんばれない。

ということで、いってまいりました（笑）

前々日

夜、空気圧をチェック。

抜けていたので空気を入れる。

前日

だんなさんが、三崎のマグロを食べに友達とツアーリングに行った。

私は子守りをして過ごす。

当日

子供と添い寝してそのまま眠ってしまったらしく、

目覚ましをかけ忘れていた・・・

しかし、5時15分に子供の泣き声で目を覚まし、大慌てで準備。

よりによって、何も準備していない・・・

結局15分予定より遅れてなんとか5時45分に家を出た。

息子よ、ありがとう！

今日ばかりは感謝（笑）

待ち合わせ場所へ行く途中給油する。

ガソリンが150円以上に値上がりしていて、おどろく。  
何もかもが値上がりしているこの頃。お給料も上がらないかな？

集合場所には9台のバイク。  
皆様よろしくお願ひします。

朝は冷え込み、オーバーパンツをはいて防寒する。  
走り出すと、街路樹の紅葉がとってもきれい。  
とくに町田や相模原のあたり、イチヨウ並木の黄色が鮮やか！  
道はすいていて、スイスイと進む。

鎌倉街道、246、小田原厚木道路と進み、海が見えてくる。  
サーファーがいっぱい波を待っていた。  
この人たちも、好きねえ。（私たちがだが・・・）

子育てしながらも、ツーリングって続けられるんだなあと  
ぼんやりと考えながら走る。

今日は夫が子供をみているので感謝。  
一緒に走れたらいいけど、しばらくは難しいだろう。  
でもやっぱり一緒にいいよね。

気がつくと高速を降りて、湯河原の温泉街に入っていた。  
ちょうど10時ごろで、チェックアウトの時間らしく旅館から人が次々と出てくる。

紅葉が見ごろで、ものすごく綺麗だった。  
くねくね道を走って大観山で休憩。  
富士山の絶景スポットらしいが・・・  
ガスっていて、何にも見えない。

息子くらいの男の子がいて、つい目が行ってしまう。  
かわいいなあ。でも、親は大変だろうなあ。

大観山のライダーたち、平均年齢高っ！！  
年々ライダーが高齢化しているような。  
気のせいかKawasaki車多し。  
やっぱりライダーズジャケットってカッコイイ。

とっても欲しくなった。

再びくねくね道を降りて、沼津港に向かう。

今日は、右コーナーがいつもよりいい感じで曲がれている。  
ちょっといつもより乗り方を工夫してみたのだ。

おととい、バイクを止めた状態でまたがってみて、  
右コーナーの真似をしてみた。

左コーナーはいい感じで曲がれるのに、どうしてだろう？

すると、左手が無意識にべったりと小指まで使ってグリップをにぎりしめていることに気づく。  
そういえば右手は親指と人差し指で軽く持っているだけなのに、  
左手はミョーに力が入っている。

なので、左手を極力添える程度にして、また、体重移動の際に、リアブレーキで  
きっかけ作りをするようにしてみた。

いつもより、いい感じ♪こわくなく、曲がれている。

そんなこんなで楽しく走り、沼津港に12時ごろ到着。

人気のお店なので、すごく混んでいて、いつも待たされる。  
少し待つだけで入ることができた。

5・4に別れて、座って作戦会議（笑）

一人で丼ものは頼んじゃだめらしい。

みんなで分け合って食べられるものを。

ということで、



ぶりカマ



マグロステーキ



金目煮付け



刺身盛り合わせ

ぶり大根(写真なし)



カサゴ唐揚げ

を注文しました。

マグロステーキが、マグロステーキが・・・・！！！！！！！！

もう、

すごかった！

うますぎ！

なんなんだ？これは。

ぶりカマも、かなりヤバイ。

ジュースイ！！

刺身盛り合わせも、ウマイ。

活き桜海老もついている。うー  
うなる。

あれこれ食べて、おなかいっぱい、割り勘で一人  
1535円！！

ありえないです。

お土産に、干物を購入。  
今夜はこれです。

市場をぷらぷらして、帰路につく。  
帰りは沼津ICから東京へバビューン！  
高速も渋滞もさほどなく、スイスイと快適でした。

18時ごろ、地元に戻り、解散！  
楽しかった～

その後、しばしおしゃべりをして、帰宅し、  
鰯の干物のうまさに、だんなさんと二人でうーむ。と唸る。  
息子も一枚ぺろり。  
沼津、おそろべし。

本日の走行距離 313キロ

高速代3250円  
お昼代1535円  
お土産代1500円  
ガソリン代2000円  
お疲れ様でした。

今日も、楽しかったです。だんなさん、どうもありがとう!!

---

大観山は**3**回目だったけど、初めて富士山とご対面できた。

こんにちは。

## 真鶴★走り納めツーリング (2007.12.27)

---

年が明けて、一層寒さが厳しくなってきましたね。

東京は、朝の気温が0度近くなり、日陰に駐車している車は凍っています。

これではさすがに、早朝はバイクで走れませんね・・・。

秩父・奥多摩などの山のほうはきっと凍っていることでしょう・・・

しばらくこの寒さは続きそうなので、当分の間は、昼間限定ライダーかな？

昼間も走るかどうかはさておき・・・（笑）

ところで先日12月27日に、以前にツーリングがボツになってしまった先輩方と、

走り納めツーリングにいつてきました。。（私が言いだしっぺですが・・・）

以下レポートです。



前日。

参加者4名のうち、一人がインフルエンザでお休み・・・ということで、  
9時半に小田原厚木道路の平塚SAに集合！となりました。

大観山あたりまで行ってその様子でどのあたりまで行けるか考えよう！とのこと。  
大観山って、夏に行っても涼しい所だし、大丈夫かな？と少し不安でしたが、  
まあ、前日は雪も降っていないし行ってみようということになりました。

当日。

急遽だんなさんも参加したい！ということになり、  
少々遅れることをメールで連絡して子供を預けてから一緒に家を出ました。

予定よりも、家を出るのがだいぶ遅くなってしまいました・・・  
東京ICから東名にのり、一気に・・・と考えていたのですが、甘かった！  
東京ICまでが大渋滞で、全然着かない！  
気持ちは焦るばかり。

平日の朝の環八って、ものすごい渋滞しているんですね。  
アセアセしながらやっとのことで東京IC到着。  
すでに約束の時間を過ぎている！（大汗！）

しかも、途中で給油するつもりが、渋滞に巻き込まれてしまったために  
できなくて、満タンじゃない！

・・・いやはや、最悪です。

厚木料金所を出ると、右側が小田原厚木道路への道。  
知らなくて、料金所の一番左側から出てしまった。  
（いつも一番左で通過するため）

車の列をすり抜けながら小田原厚木道路へ入って、途中の海老名SAで給油。  
ここで初めて先輩方と連絡が取れる。

もう一人の方も、先ほど集合場所に着き朝食をとっているので大丈夫だよ、との  
暖かいお言葉。。。

ひじょうにあわてていた気持ちがやっとはぐれる。

到着すると、すでに先輩方は長時間待つて下さっていたが  
笑顔で迎えてくれた。  
少し休憩して、出発する。

小田原西で高速を降り、箱根ターンパイクを登っていく。  
料金所を過ぎると、誰もいなくて、貸切状態だった！  
ぐんぐん、くねくね道を登っていく。

本当に誰もいなくて、貸切で、アウトライダーの世界だ。

だんなさんを含むオトコ三人衆は、あっという間に消えていった。（笑）  
大丈夫か？

元気なオトコの子たちは置いといて、一人、のんびりと登っていく。  
時折、路面がキラキラとしているのに気づく。

「これって凍結？」  
ちょっとビクビクしながらキラキラの上を通らないように走る。  
路肩には少しだけ雪があった。

大観山につくと、先輩がバイクの調子を見ている。  
勢いあまって転倒？と思いきや、ウインカーのタマ切れらしい。  
私の持っていた車載工具のドライバーで何とかネジを回せた。  
（車載工具初使用！）

富士山が、でっか！



大観山は3回目だったけど、初めて富士山とご対面できた。  
こんにちは。

さて、どうしましょ。  
センパイお勧めの真鶴へ、おいしいお魚を食べに行くことに決定！  
そうと決まれば、出発！

再びくねくね道を降りていく。  
オトコの子たちは、張り切ってバビューン。  
私はとことことこ・・・  
少々お待たせして、合流。

湯河原の温泉街（こないだのツーリングで通ったルートの逆ルート！）

を抜けて、海に出たら左折して真鶴半島を目指す。

目印の真鶴駅を右に曲がって、魚座というお店に入る。  
観光客向けっぽく、水槽にいろいろな魚が泳いでいる。  
ウミガメ発見！



魚座丼を食べてみた。



うん、おいしい。

でもちょっと、お高いかな？

地元の人が来る感じのお店ではなかったのがちょっと残念でしたが、  
駐車場でアジの干物をゲットする。

「これは冷凍じゃないから。」とおばさん。

ひょっとして冷凍じゃないアジの干物って食べたことないかも。

とおもう。

食後に、真鶴半島の先っちょに、いい感じの森があるらしいので行ってみる。

マイナスイオン～！

巨木が倒れている。切り株が面白い。



癒されたところで、帰路に着く。

再び小田原西から高速に乗り、大磯PAで15:30に解散。

と、大磯PAでショップのツーリング知人にバッタリ。

ご近所さんなので、一緒に帰ることに。

東京ICに16:30に着き、18時には帰宅できるかと思っていたら、

思いのほか環八が大渋滞で、18:45到着

センパイ方にご迷惑をおかけしてしまいましたが、

楽しい走り納めとなりました。

ありがとうございました！

帰宅してすぐ着替え、だんなさんはお迎え、私は夕食の準備。

もちろんアジの干物（笑）

なかなか忙しい一日でした。走り初めはいつかな？

本日の走行距離、約300キロ

---

新しいハンドルは、どうかというと・・・もう、最高！！  
言葉で表現するなら

「運命の人に出会ってしまった」

## ハンドル交換&越生のにしんそばツアー♪(2008.2.27)

---

25日(月)に、おいしいにしんそばを食べに、ひとり埼玉の越生までプチツアーしてきました。ハンドル交換をしてひさびさのソロツアーです。以下少々長いですが、レポートです。



<2月中旬のこと>

バイクショップにて

「なんだかうまく曲がれない&乗れてないのですが・・・」  
と相談したところ、タイヤがすり減っていることが判明！！

タイヤのブロックの高さがよく使うところと使わないところで段差ができていました。

「これじゃあ曲がれないよ！」と社長さん。

ナルホド・・・

車検だったのでついでにタイヤを交換してもらいました。

「タイヤを替えたら曲がれるかもしれないよ。  
それでもだめならハンドルを替えてみようか。」  
ということでした。

タイヤ交換したw650に乗ってみたけど、やっぱりハンドルが低いほうがいいような気がする。

ということで、ハンドル交換をおねがいすることにしました。

<2月24日>

日曜日、ショップの社長から「ハンドルが入荷しているよ～」と連絡が。  
夕方に連絡してみると、1時間くらいで作業できちゃうので今から来ていいとのこと。  
わーい。

遅いお昼寝中の息子をだんなさんに任せていそいそとバイクショップへ（笑）

お店に着くと、すぐに作業に取りかかって下さり、あっという間に新しいハンドルにチェンジ！  
またがってみるが、それだけではイマイチわからない（汗）

明日は休みなので、ツーリングに行きたいというと、越生にあるおいしいお蕎麦のお店を  
教えてくれました。

久しぶりのソロツーと新しいハンドルのツーリングにうきうき♪

<2月25日(月)>

8時前に息子を預け、洗濯干し、たたみ、珈琲で一服。

おそば屋さんへのルートは、前日に教わったけど、出発前に一応ネットで復習を。  
Mapfanはルート検索もできて便利なので愛用してます。

ふむふむ。

いつものコースで宮沢湖まで行き、その先をひたすらまっすぐまっすぐ。  
越生駅よりももっと先、田中の交差点の先の五明の交差点を右折して、右側らしい。  
越生の梅林はまだ三部咲きの様子。今日はパスかな？

9時以降に出発しないと渋滞に巻き込まれるよ、とアドバイスをいただき、  
のんびりと朝10時半出発！！

今日は天気も良く、ぽかぽかと暖かい。  
（と、いっても、腰と足の裏にはホッカイロが・・・）

もう春はそこまで来ているような感じでした。  
日が昇ってからはこんなに暖かいんだ！と驚き。

道は思っていたよりも流れていて、あっという間に宮沢湖通過。  
（と、いっても、出発してから1時間以上は経っていたけど。）

1 2時半頃、目的地、「与作」に到着！



お客さんは二組、おじさん（おじいさん？）が一人で切り盛りしているらしい。  
靴を脱いで座敷に座り、にしんそばを注文。

おじさんがお客さんと会話しているのが聞こえてくる・・・  
ウチの味噌はこだわりの国産青大豆で作ってササニシキの麴を使っているから  
おいしいよ、と。

おいしいそー！

にしんそばは、冷たいおそばの上に、ニシンの煮付けとワサビがのっけていて、  
お蕎麦は太くてざらりとした食感。  
おいしい♪来たかいたあったなあ～



にしんそば1000円

夢中で食べていると、おじさんに「バイクで来たの？」と話しかけられ、話しているうちに、おじさんのバイク関係の知り合いの話になり、Mさんて知っている？という。

「知っていますよ！私と同じw650乗りです。」

何度か一緒に走ったことがあるMさんという人がここの常連だというのでおどろいた。

しかも、Mさんがお父さんを連れてきたら、偶然にもおじさんと古いお友達だったことが判明しておじさんがおどろいたという話をしてくれました。

偶然であるんだよ。というおじさんに、私も本当に偶然ですね〜と、うなづく。

あんまりおいしかったのと、少しだんなさんに後ろめたいので、（笑）

お土産にお蕎麦とにしん、刺身こんにゃく、味噌を購入。

今日の夕飯はにしんそば（笑）何も作らなくて済むぞ！！イエイ

お店を出てバイクに乗ろうとしていると、おじさんが見送ってくれた。

「砂利だから気をつけてな。」と親切に見送られ、お店を後にする。

なんだか心が温かくなった。

R30飯能寄居線は、巾着田の方へ曲がってR299に入るルートは時々利用していたが、日高陸橋より北へ行ったのは初めてだった。

ダンプが多かった。でもまあまあの流れ。

途中少しだけくねくねとして、景観は良くないけど、思っていたよりも楽しめた。  
梅の季節なんかじゃ、一車線だし、混雑するんだらうな〜。ああ怖い。  
帰り道、走っていると、ふわっとヒノキの香りがして癒された。

新しいハンドルは、どうかというと・・・もう、最高！！  
言葉で表現するなら

「運命の人に出会ってしまった」

なんというか、とってもちょうどいい高さで、角度も良く、腕の開きも無理がなく、  
前より少しだけ前傾する感じで、ニーグリップのしやすさが全然違う。  
私はw650とこの7年間、いったい何をしていたのか？という感じ。

ほかのバイクに乗り換えようか、本気で考えたこともあるくらい、  
なんだか乗りこなせていなかった。  
でも、このハンドルなら、乗りこなせるかもしれない！！わーい



走ってて、とっても楽しい！

さすが、社長さん。  
チョイスがすばらしいです。感激。  
ポッシュのハンドルです。  
7000円足らずのハンドルで、こんなにも変わるのですね。驚きです。

帰り道、ライコランドに寄り道して、あれこれ見て結局なにも買わず、  
コンビニで地酒を買って帰宅。  
おいしい蕎麦に、こんにゃく、地酒とくれば、きっとだんなさんは喜ぶだらうなあ。



私ってなんていい妻なんでしょう（笑）とニヤケながら帰路につく。

今日はほんとに楽しかった♪  
夜はプチ宴会かな？

本日の走行距離 100キロ

本日の出費

にしんそば 1000円  
お土産そば 1000円（2人前）  
ニシン 600円  
こんにゃく 300円  
みそ 200円  
地酒 1035円

<後日談>

久しぶりにツーリングの楽しさ、初対面の人と話す旅の楽しさを思い出してしまいました。  
ツーリングって、本当に楽しいですね。  
こうしてツーリングができる幸せをかみしめながら走ってました。  
お蕎麦は好評でしたよ♪

---

久しぶりに乗ったバイクは、とても快適だった。

「ママはバイクを降りない」の本にあるように、

本当に、非日常の世界に連れて行ってくれる。

図書館への道を走りながら、自分がママでなく、奥さんでもなく、  
なんでもない、ただ一人の女だということを久しぶりに実感できた。

## 久々にチョイ乗り♪ (2008.6.22)

---



いよいよ梅雨の時期になりましたね。

大変ご無沙汰しております・・・

更新をサボっていたのではなく、2月以来、乗っていませんでした。

最大の理由は夫の仕事が始まったことです。（いままで社会人→学生していました）

ようやく、我が家の生活が落ち着くかと思いきや、夫の休みが日曜+平日のため、色々なことがこれまでどおりにできなくなりました。

先週は、ちょっと時間があつたので、「ちょっと図書館に」ということで

久しぶりにバイクのカバーをはずすと・・・

うげ！

すごい砂まみれ。

しかも、タイヤの溝にいろいろな種類の住人たちが・・・

しばらく放置していた事をw650に詫びながら汚れを落とします。

空気圧を計っていると、そこに夫&息子登場！

息子は二歳になり、最近では「バイク」といいながら右手でアクセルをブンブーンと捻る真似をするまでになった・・・

久しぶりに見るバイクにこわごわ。

ママのバイクだよ、というと、気のせいか、尊敬のまなざしに（笑）

すぐに目を輝かせて父ちゃんと一緒にバイクにまたがり、  
ご満悦の様子。

降ろすと泣いた（笑）

じゃあね、と発進すると大泣き。

久しぶりに乗ったバイクは、とても快適だった。

「ママはバイクを降りない」の本にあるように、本当に、非日常の世界に連れて行ってくれる。  
図書館への道を走りながら、自分がママでなく、奥さんでもなく、なんでもない、  
ただ一人の女だということを久しぶりに実感できた。

あまりに気持ちよかったので、ぐるりと近所を走り、さらにバイク用品ショップと  
バイクショップへ顔を出す。

途中、カフェベーカーリーでパンを買うと、珈琲が無料でサービスされていたので  
お土産を買いつつ休憩する。

こうして、ぼんやりとただ一人の時間を持つっていうことが、大切だなあ  
としみじみ思った。

その日は結局8時ごろ帰宅。

久しぶりのおしゃべりに花が咲いちゃいました。

ああ、バイクって楽しい。

帰宅すると、息子は、ママ～と甘えてきて、

「ママ、バイク、ぶんぶ～ん、えーん、もっと乗りたいーって、ばいばい～、ってした！」  
と、本日の出来事を必死に解説していた（笑）

---

タイヤに空気を入れていると、だんなさんと息子が登場！  
息子はタイヤの空気を入れたがり、  
「やりたい～」といいながらも、「・・・おとなになったら？」  
と言って（笑）、キャップを閉めてくれた。

## 名栗プチツーリング♪(2008.9.16)

---

9月14日（日）、久しぶりにプチツーリングをしてきました。  
ルートは、裏道経由で成木街道～名栗～山伏峠です。  
特になんの目的地もなく走りに行ったのですが、  
おいしいお蕎麦と素敵なカフェを発見することができました♪



以下レポートです

3ヶ月ぶりのダブル。  
はたして動くかしら？

前々からだんなさんに「この日はバイクに乗らせて！」と  
カレンダーに書き込んでいた日がやってきた。

バイクに乗るのには夏は暑すぎて、ようやくシーズン到来！という感じ。  
ああ本当にいい季節がやってきたなあ。

前回は、6月に近所でちょこっと乗っただけで、しばらくご無沙汰しておりました。  
バイクに乗るには、気候や天気、それに体調がかなり大切。  
特にオンナは体調的なタイミングが難しい。

カバーをはずすと、やっぱり虫さんのお家になっており・・・  
シートはカビ？のような模様が・・・

タイヤに空気を入れていると、だんなさんと息子が登場！  
息子はタイヤの空気を入れたがり、  
「やりたい～」といいながらも、「・・・おとなになったら？」  
と言って（笑）、キャップを閉めてくれた。



例のように乗りたがって泣いている息子を後にして出発！

すでに10時過ぎ。ツーリングというには遅すぎの時間である。  
先日夫が名栗～山伏峠経由で秩父方面に行ったので、その地図を参考に  
そっち方面へ行ってみることに。

西武遊園地の近くを通過する際、道に迷って、うっかり二輪通行禁止を見逃す・・・。  
遊園地の周辺は意外とくねくねしていて新鮮だった。

途中、右折する交差点を左折してしまい、Uターン。  
だんなさんの地図とは違うルートでR179へ出て、青梅方面を目指す。

なんだかガソリンが心配だったのでスタンドに入った。  
セルフのスタンドで、161円/ℓだった。  
大騒ぎしていたころよりは、少し下がったのかな？  
おつりを別の場所でもらうシステムだが、それもセルフだった。  
メットのままだとそのほうがありがたい。

隣のコンビニ駐車場で休憩していると、ハーレー乗りの女の子に声をかけられた。  
「一人でツーリングしているんですか？」（キラキラ）←若さがまぶしい音

昨年免許をとって乗り始めた彼女は、  
仲間たちとこれからツーリングに行くところだったが、  
友人のバイクトラブルでボツになってしまったそうなの。  
さっき来ていたのは引き上げのトラックだったのね。お気の毒。。

一人で走れるようになるのを夢見ているらしい彼女は、  
キラキラした瞳でいろいろと質問をしては、うなずいていた。  
・・・かわいい。

コンビニを後にして、名栗をめざす。

R179は新青梅街道の裏道的な感じ。空いていて、お茶畑などもあり、走っていて楽しい。

ただ、1車線なので、右折の車がいるとたちまち渋滞する。

すいすいと流れ、夫の地図どおり、GSを目印に岩倉街道を右折。

圏央道をくぐって、左折、さらにすぐ右折だったのだが、左折のまま直進してしまい、

そのまま東青梅駅前まで右折し、成木街道に入った。

急に山っぽくなり、あたりは緑に覆われる。

車もバイクも少なく、快適だなと思っていると、白バイ登場。

対向車線で見張りを開始するところだった。

・・・とおもっていると、先のほうでバイクの男性が止められている姿が。

もともと飛ばすたちではないので（技術もない）

いつもどおり、のんびりと走る。

ジャケットの前を開けて走っていたら、何かがぶつかった。

コン！

きっと虫さんだろう。

しばらくして、道端でちょっと休憩。



木の切り株があったので座ったとたん、ジャケットから蜂の羽音が！

ブブブブ！

以前の悪夢が蘇り、あわててジャケットから蜂を脱出させる。

（↑ジャケットに入り込んだ蜂に刺された）

ジャケットの前はきちんと閉めましょう（笑）

よく考えてみたら、ハンドル交換して初の峠道でした。

走り初めはへボへボな走りだったけど、

だんだん下半身とバイクが一体化してきて肩の力が抜けてきたような。

おなかがすいたのと、トイレに行きたかったので、  
通りすがりのお蕎麦屋さんに入ってみる。



お客さんは誰もいない。川の見える席に座った。  
期待できないかな?と思ったけど、とっても美味しかった!



ざる蕎麦600円 (半分食べかけ)

その後、山伏峠のほうへ行ってみる。  
空いていて、練習には最適だった。  
R299に出たくなかったので、Uターン。

先ほど気になっていたお店の看板で左折し、山道をくねくねと登る。  
すぐにお店があった。

陶芸などのギャラリーを併設したカフェだった。



陶芸好きの私にぴったり♪

入ってみると、そこにはヤバイほど素敵なお皿がいっぱいあって、しかも安い。

何だこの店は！

すごいぞ。

感激しつつ、ちょっとうろうろする。



川のせせらぎに癒される。



カフェで珈琲を飲んで、このお洒落な空間にひたる。

天然木の耳付きテーブル、センスのいい器、

スタンドグラス、川のせせらぎ・・・

珈琲も注文してからミルで挽いてくれるのでおいしかった。  
そして珈琲カップもちろん素敵なやきもの。

ちょうど欲しいと思っていた形のお皿があり、お店の人に言うと、  
いろいろと近い形のものを出して見せてくれた。

金山焼きといって、青森の陶芸家が焼いたものなのだそうだ。



釉薬を使わず、登り窯で焼き締めた器は、それぞれ火のあたり具合や  
灰のかかり方で模様がすべて異なる。

カレーに、パスタに、活躍しそうなお皿♪1枚3150円。

うきうきしてお店を後にする。  
さあ、帰るか。

帰りは岩倉街道から帰ってみる。  
R179は反対の下り車線が大、大、大渋滞！  
一車線で恐ろしいな・・・

4時過ぎに帰宅。  
子供の大好きなテレビ番組の時間に間に合った。  
(一緒に見たがる)

今日は、とっても楽しかった！

本日の走行距離 120キロ  
ガソリン代 1175円 (7.3リットル)  
缶コーヒー 130円  
お蕎麦 600円  
珈琲 380円  
お皿 6300円

## 第6章 2009年－2012年 長女誕生～引っ越し

---

11月に妊娠判明以来、乗っていなかったのですが、違和感はなく、「んもう、待ってたよ～！」という感じですねんなりと走れました。空気が抜けていたけど。

## 無事帰ったトモダチ&産後初w650(2009.8.10)

---

トモダチが無事に北海道ツーから戻りました♪

すっかりたくましくなって、目がキラキラとしていました。

とっても寒かったそうで、色々なアイテムが活躍してくれたようです。

良かった～！

お土産にタラバガニと花咲ガニをいただきました。

おいしかったです

昨日は産後二週間ちょっとでしたが、夕方、やっと黄疸の引いた娘におっぱいをあげてから、w650をちょこっとお手入れしてほんの少～しだけ近所を走らせてきました。

旦那さんが停める際にセンタースタンドにしてくれていたの少し緊張しました

(戻すときに倒す可能性があるので・・・)

せっかくなのでチェーンのお掃除&オイルをさしてエンジンスタート。

11月に妊娠判明以来、乗っていなかったのですが、違和感はなく、

「んもう、待ってたよ～！」という感じですねんなりと走れました。

空気が抜けていたけど。

今回は二人目の出産ということもあり、上手に産めたようで、

傷や縫うこともなかったため体の回復も早く、母乳も順調で、

一人目のときとは全然違います。

余裕がありますね・・・

今は、1～3時間おき位に泣いたらおっぱいをあげる任務があるので(笑)

遠出はできないのですが、少しずつ時間をつくって乗ってあげようっと。。

---

いざ出発という時に旦那さんの**ZZR**のエンジンがかからず...  
残念ながら旦那さんは置き去りにして一人で出発（笑）

だって今日逃したら今度はいつ乗れるかわからない（ゴメン）  
久しぶりの**w650**は機嫌よくエンジン音を響かせてくれた。

## 名栗カフェまでツーリング(2010.5.16)

---



今日は久しぶりにツーリングに行ってきました♪

ホントは久々に旦那さんと二人でツーリングの予定だったのですが・・・  
以下レポートです

7月に二人目の子供が生まれて、育児の日々から仕事復帰した4月。

旦那さんのご両親の接待で終わったゴールデンウィーク。

お疲れさま、私。

ってなことで、今日は新緑の爽やかな名栗に行ってきた。

子供達もようやく新しい環境に慣れてきて体調も落ち着いていたので、4歳と9ヶ月の二人を預けて、夫婦で久しぶりのツーリングを計画してみた。

ところが、

いざ出発という時に旦那さんのZZRのエンジンがかからず...残念ながら旦那さんは置き去りにして一人で出発(笑)

だって今日逃したら今度はいつ乗れるかわからない(ゴメン)

久しぶりのw650は機嫌よくエンジン音を響かせてくれた。

ああやっと私にも充電日がきたなあ～と感慨にひたりつつ、w650を走らせた。  
w650手放さなくて良かった♪（時々チラッと頭をよぎる）

自宅を10時頃出発し、青梅インター付近から成木街道に入り、名栗を目指す。

少し山道になっていて、コーナリングの練習にもなるルート。  
車はほとんどいなくて新緑が爽やか～  
ところどころ、藤の花が山の斜面などに咲いていて、美しい～

山の中は寒いくらいに涼しくなってくる  
12時前に名栗のお気に入りカフェに到着！



お腹もすいたし、ランチしていこうとスリランカカレーセット（¥1260）を注文。

とても美味しい♪

器も金山焼きという焼き締め of 素敵なお皿だし、何ととっても窓から見える緑の気持ちのよいこと。

そしてこのカフェは天然木をふんだんに使った素敵なお内装でエンヤの音楽が流れていて癒やされる～



癒やされついでにギャラリーものぞき、焼き締めのお皿（¥2400）を四枚ゲット。  
実はこのお皿も本日の目的のひとつ。（お財布に1万円を忍ばせてきた！）



カフェのオーナーさんは建築もしているそうで、家を建てる予定の人とカフェで打ち合わせをしているところだった。

（私もこんな感じの家に住んでみたいなあ～）  
とにかくふんだんに木が使われていて素敵です

さて、置いてきただんなさんも気の毒だし、そろそろ帰るとしよう・・・



名栗カフェへのルートはもう覚えたので（時々間違えるけど）なんとか地図なしで走れるようになった。

途中、なんだかエンジンの様子がおかしい。  
スロットルを回しても、回転が回ってこない。  
れれれれ？  
ついに壊れたか、私のダブル。

いったん停車してエンジンをかけなおす。  
う～んなんだか変。元気がない。  
どうしよう・・・こんなところで止まっちゃうのは困るよ～おいおい

と、また復活したのでだましだまし走る。  
なんとかお店（バイク屋さん）までがんばれ～

ところがしばらく走ると、また信号待ちでエンスト。  
まさか・・・ガス欠？  
ガス欠したときにまわすコックをひねってみると、ダブルは息を吹き返した！



急いでガソリンスタンドへ行って給油。

11リットル入る。

やっぱりガス欠だったのか、良かった～故障じゃなくて。

そういえば、前にもずっと乗っていなかった後にツーリングへ行ったとき、ガソリンは入っていたはずなのに、すぐにガス欠してしまい、（しかも雁坂トンネルの中で！）びっくりしたことがあったっけ・・・  
ガソリンが古くなっているのか、揮発してしまったのか・・・？わからないけど、久々に乗るときは要注意だ・・・

西武園遊園地付近で、見覚えのあるバイクとすれ違った。（緑のZZR）

旦那さんだった。手を振っていた（笑）

いったいどこへ？っていうか、バッテリーもう復活？

3時過ぎに帰宅。

やっぱり5時間くらいあると、ちょっとしたツーリング気分が味わえるなあ～

これで明日から（今日から？）また2匹の怪獣たちと戦えるぞ！

と、充電完了した私なのでした。

---

久しぶりにバイクにまたがり、ちょこっと走ってみたら、  
風の匂いとか、木の香りとか、知らない道や公園とか、  
午前中に子供たちと歩いた道とか、色々なもやもやとか、  
イライラとか、疲れとかがすっとんで行きました。

あー良かった。

ダブルが錆び付いてなくて。

そして私の心も。

-



ご無沙汰しています。

先日久しぶりにダブルと少しだけ近所を夕涼み？してきました。

2月に倒してからはなんだか動かすのに気が乗らなくて、たまに旦那さんに動かしてもらったりしてました

子供たちも5歳と、もうじき2歳で、なかなか離れてくれないのですが、旦那さんがさすがに見かねて時間をくれました。（二時間ほどですが...）

ママの黒ずくめバイクウェアに、泣き出す娘、ヘルメットをかぶる息子(笑)

久しぶりにバイクにまたがり、ちょこっと走ってみたら、風の匂いとか、木の香りとか、知らない道や公園とか、午前中に子供たちと歩いた道とか、色々なもやもやとか、イライラとか、疲れとかがすっとんで行きました。

あー良かった。

ダブルが錆び付いてなくて。

そして私の心も。

ありがとうダブル。なかなか乗れないけど、これからも宜しく！

## 名栗カフェまでツーリング (With 旦那さん) (2011.9.28)

---

先日、久しぶりに旦那さんと走ってきました。

この間の連休に、旦那さんのご両親が泊りに来てくれました。  
そして、下の子がお昼寝したのを見計らい、  
なんとお母さんが、「二人で走っといで！」とってくれたのです

え！？

さあ、着替えてゴー！！

引っ越してはじめてのバイクお出かけ。

行楽地には近づかないように、注意して名栗を目指します。  
出発したのは既に3時半を回っていました。

名栗の方は、台風の影響で成木街道ががけ崩れのため片側通行になっていました。  
ちょっとビビりながら、そして、薄着できてしまい、後悔しながらも進みます。  
さぶ！

カフェは、金・土・日しかやっていないので、心配でしたが、開いていました！  
おもわず「おしるこ」を注文する私たち（笑）  
あったかかったあ～。

さて、帰宅すると6時で、子供たちがにっこり迎えてくれました。

たまには、こういうのもいいよね！

---

ちょっと走るとそこは里山。

本当に里山が近い。

## 一時間のお出かけ(2012.8.19)

---



今日は久しぶりにチェーンのお掃除をした。

ウェスが真っ黒。

夕方になって涼しくなったのでちょっとお散歩がてら近所のホームセンターに行くことにする。

市街地を走っていると、急にファミレスの駐車場から車がでてきて焦ってブレーキ！

後輪がロックして横滑りしグラグラしたので一瞬焦ったが、そこまで急ブレーキではなかったので大丈夫だった。

モチロン車はそんなことまったく気づいていない。

一瞬の事だったが、ただブレーキを握る（踏む）ことしかできなかった。

とっさの判断で場合によっては路肩に回避したりする癖が必要だと実感。

市街地は危険がいっぱい。

ダブルは急に止まれない(笑)

コワイ市街地はさっさとスルーして里山のホームセンターを目指す。

途中で空気圧見るのを忘れた事に気づく。少し走りにくい気がする。

西日が...まぶしい。夕方に西に向かって走るのはキツイ(笑)

ちょっと走るとそこは里山。

本当に里山が近い。

今日はだんなさんが飲み会があるため、一時間以内に帰らねばならないが、10分で行くところなので余裕でショッピング。

こうして少しでも自分だけの時間をもてることに感謝。

アウトドア用の折りたたみイスをだんなさんへのプレゼントに買って、バッグに無理やり押し

込み、はみ出した部分を無理やりくくりつける。

走ってる途中で落っちたら大変だもんね。バッグにコードがあって助かった。  
暑すぎず、さっと気分転換に出かけられたので良かった！

五時から子ども番組もあり、子どもたちもそっちに夢中で助かる。

このくらいちょっとでも乗ってあげたらダブルちゃんも喜んでくれるかな？

本日までの総走行距離 27905 キロ

第7章 2013年 ブログから女性ライダーとの出会い  
～オンナ2人ダブルツーリング in 佐久～

---

初めての道をドキドキして走る。

川では釣りをしている人がいたり、甘い酒粕がふんわり香る酒蔵の前を通ったり。

コンビニで休憩して帰ってきたただけだけど、約一時間のリフレッシュタイム。

久しぶりにママからピラ手に戻れた時間でした。

## 久しぶりにダブルちゃんとお散歩(2013.7.13)

---

今日は久しぶりのオフでした。

7月は仕事が忙しかった事や7歳と4歳のママ業（毎朝の弁当作り！）と放送大学の試験もあり、疲労がピークだったようで・・・。

「何にもしたくない...」午前中はソファを占領して完全にダウン(笑)

いつもは子供たちに占領されているソファを独占して、なかなか気持ちよいうたた寝でした。

午後、なかなか出かける気にならない自分を励まし(笑)、カツ丼を作って食べたら夕方頃ようやく重たい腰をあげる気に。

久しぶりにダブルちゃんとお散歩にいきました。  
けど、久々すぎて、色んなものが見つからない(笑)

メッシュグローブが片方見つからず、結局革のグローブに。

暑い夏に革パン履いて、メッシュジャケット着て、グローブして、フルフェイスのヘルメット...  
普通の人からみたら変ですよ、きっと。

でも、ライダーとして万一の時に備える事は大切だと思う。  
熱くなるエンジンから革パンは足を守ってくれ、万一転倒の際にも足を保護してくれる。

ジャケットはヒジと肩、背中にパットが入っていて、気休めかもしれないけど安心感がある。  
何より、日焼けを防いでくれるのは疲労を減らす効果もあり、ありがたい。



だいぶ昔に買ったインディアンモトサイクルのメッシュジャケット（メンズのSサイズ）

レディースのジャケットは少ないのと、ピタピタしてボディラインを強調するものが多くて好きになれず...  
たまたまサイズが合ったので購入。  
走り出してしまえば、風が通り抜けて涼しいんですよ♪

先日バッテリーを替えてもらったダブルちゃんは時計もバッチリ合っていて（笑）  
エンジンもすぐにかかった。



えーと、コーナリングってどこに体重かけるんだっけ？(笑)

先日だんなさんがサスペンションがふにゃふにゃとっていた通り、  
リアサスが振動を吸収できてないみたいで、ぼよぼよと安定感がない走り。  
うーんこれは入院かも....



などと考えながら初めての道をドキドキして走る。  
川では釣りをしている人がいたり、甘い酒粕がふんわり香る酒蔵の前を通ったり。

コンビニで休憩して帰ってきたけど、約一時間のリフレッシュタイム。  
久しぶりにママからピラ手に戻れた時間でした。



## ダブルちゃんを預けてきました(\*^\_^\*)(2013.8.19)

---

今日はリアショックのお手入れが必要になったダブルちゃんと、お店までツーをしてきました♪



朝日を浴びて輝いています。



今日は、革パンははけないよ～

相変わらずなんだかぼよんとしているダブルちゃん。しかもエンジンがこんなに唸っていたかしら？

・・・などと考えながら、茶畑を走り抜けます。

今日は、大きな道を使わずに、なるべく簡単で楽しく走れる道を選びました♪

今日は初めての道でちょっとドキドキでしたが、なんとか無事にたどり着きました(\*^\_^\*)

しかし、暑いですね！

さすがに今日は革パンは無理(笑)

一車線なのどかな道。

引越す前に私たちがいつも走っていた道です。

知っている道はやっぱり安心ですね♪

心に余裕が生まれます(笑)

新しくできた道に戸惑いながらもなんとか到着！

お店では懐かしい顔も見られて、楽しかった(#^.^#)

二週間ほどで、リアショックのオーバーホール（おそうじ）と、  
オイル交換をしていただくことに。

リアショックは、オーバーホールに31500円+工賃数千円なんだそうです。

エンジンオイルも交換してもらおうと思います。

もう、しばらくかえてないので・・・

お店を後にして、もとダブル乗りの姉さんのお家にお邪魔してきました♪

姉さんには、「[オンナ2人、w650ツーリングin軽井沢](#)」でお世話になりました。

2人目の赤ちゃんが生まれたんですよ！

かわいかった～！！

やっぱり赤ちゃんはかわいいですね。大変だけど。

また姉さんとツーリングにいける日が来るといいなあ～！！

## ダブルちゃん帰ってきました♪ (\*^^) inゲリラ豪雨(2013.9.1)

---

昨日、バイクショップから連絡があり、  
ダブルちゃんのリアショックのオーバーホールが終わったとのこと。

「ブレーキパッドがそろそろなくなりそうで、注意が必要な時期だけど交換する？」  
と聞かれたので、お願いしました。  
オイル交換やら、オーリンズの部品交換やらで  
バイク貯金が役立ちました！

今日の午後、早速ダブルちゃんを取りに行くことに。

2時ごろだんなさんがマラソン大会から帰宅して、バトンタッチ。  
子供たちに「となりのトトロ」を見せている隙に、こっそり家を出発（笑）

出掛けに雨がぽつぽつ降ってきて、一度傘を取りに帰り、嫌～な予感が。

お店に着くと、雨はやんでいて、懐かしい顔もあって話が弾み・・・  
結局5時前にお店を出発。

雨雲レーダーでは大丈夫だと言われていたものの・・・

しばらく走っていて、道を間違え、新青梅街道に出てしまい・・・  
さらに、エンジンの調子がおかしくなり、バイクが変な動きに。

???エンストでした。

リザーブにコックをまわして、ガソリンスタンドで給油。  
155円／1リットルでした。

気を取り直して走り出すと、雷がビカビカしてきて、ついに、  
右前方で落ちた！ドガン

これはかなりヤバそう！！と思っていると、ポツポツポツ  
ザー—————！！

大慌てでダブルちゃんを止め、慌てて合羽を取り出す。

こんな時、ブーツをはいたままはける合羽のズボンって助かる～！！  
ゴアテックスの合羽です。



今日はこれに助けられました。感謝！

それにしても、すごい雨でした！

さらに、道を間違え、ツーリングマップルで道を確認。  
行き過ぎていたので、Uターン。  
やっと知っている道に来てホッとしました。

それにしても、今日はすごい雨でした。  
合羽があってホントに助かった～！！

出かけるときは、忘れずに！(\*^^)v

帰宅すると、4歳の娘が泣きながら出てきて、  
「ママがいないって泣いてたの～！！」  
と抱きついてきたので、  
「ごめんよ～。ママは、今日ダブルちゃんを取りにいったの♪」  
と、抱きしめてあげました。

無事に帰れて良かった♪

---

「もう～、永遠にワックスしてくれないかと思ったよ～。  
ま、忙しそうだったのは分かってたけどね。」

と、ダブルちゃんが私につぶやいた（笑）

## お気に入りの温泉発見ツーリング(\*^^)v♪(2013.9.17)

---

昨日の台風、凄かったですね。

ご無事でしたか？

うちはゴーヤがやられてしまいました。

4歳の娘は、台風と竜巻を間違えてて、

「台風来る！？いやだあ～！！」と半ベそでした。（笑）

確かに、竜巻がくるのは怖すぎます！

今日はダブルちゃんとちょこっとツーしてお気に入りの温泉を発見してきました(\*^^)v

以下ちょっと長いですが、レポートです♪

今日は台風一過の秋晴れ。気持ちい～い！！

しかもなんとオフ！わーい

これは、ダブルちゃんと出かけなければ（←もう実は計画してた）

・・・とその前に、いくつか気になる温泉がツーリングマップルに載っているので、温泉情報をネットで調べてみることに。

その結果、前にハンドル交換してすぐに行った、おいしいにしんそばのお店の辺りに、温泉があるらしいことが判明。お値段も、800円で高くはない。

今日は、そこを目指してレッツゴー！（^。^）

・・・と、カバーをめくると、先日のゲリラ雨の泥がついたままのダブルちゃんが。。。

「洗車してくれないの？」と言っている。

（洗車はたまにしていたけど、ワックスとかしてなかった！）

久しぶりにワックスをかけようと、缶を開けると・・・！！

ワックスが乾燥して固形化してた！

いったい何年ワックスかけていなかったのか？

ごめんね。ダブルちゃん。。。反省。

固形化したワックスをウェスに無理やりもみこんで、なでなですると、ピカピカに！

「もう～、永遠にワックスしてくれないかと思ったよ～。

ま、忙しそうだったのは分かってたけどね。」

と、ダブルちゃんが私につぶやいた（笑）

久しぶりに磨いてみると、ところどころ錆びが浮いている。

ミラーの裏側とか、キャブレターのねじとか。

時々本気で磨かないとダメだねえ。

ピカピカになったので、やっと出発する。（11時すぎてる）

都内に住んでいた頃は、こっちのほうへ来るだけで1時間はかかっていたので、

そう考えると、とっても幸せ♪

バイク乗りの人は、田舎がおススメよ～(\*^^)v

前回の[にしんそばツー](#)でトラックが多い片側1車線の道と分かっていた。

案の定今日もトラックがいっぱいたけど、意外と流れている。

道沿いの花壇に咲く黄色とオレンジのマリーゴールドがキレイ！

左には山並みが見えてくる。

そういえば、今日はリアサスをオーバーホールして初めてのツーリング。

こないだはゲリラ豪雨でよくわからなかった（それどころじゃなかった！）けど、

こうして落ち着いて乗ってみると、オーバーホール前と全然違う！

オーバーホールする前は、ブレーキでいちいちリアサスが沈みこんでぼよんぼよんして安定せず、コーナリングも怖かった。

オーバーホール後の今日、ブレーキとともにスーッとバイクが曲がっていく。

こんなに違うなんて！

自分が下手なのかと思っていたけど、リアサスのせいだったのか！（ということにしておこ

う（笑）

そんなこんなで、楽しく走れました（\*^\_^\*）

五明を右に曲がると、玉川温泉ののぼりが出ているので、のぼりに導かれて左折する。

ちっちゃい踏切を越えて、田んぼの間の細い道へと入っていく。

大丈夫か？ホントにこっち？

途中、山と田んぼと彼岸花がとても絵になるところを通過。

道が細くなかったら、写真が取れたんだけど・・・ね。

道なりに行くと、突き当たりが玉川温泉でした。（^。^）



バイク置き場が見当たらないので、スタッフの方にバイクはどこに停めればいいですか？

と聞くと、車一台分使って駐車場に停めていただいていいですよ。と言われ、

ありがたく停めさせていただく。



入り口でダットサンがお出迎え。



中に入ると、レトロな感じでいっぺんで気に入ってしまった・・・。  
昭和初期っぽいポスターや、メンコ、駄菓子、何十種類ものサイダー！！  
ケロリンの黄色いふるおけが、壁にいっぱ〜い飾られている（販売もしてる！）

ちょっと興奮してしまったが、とりあえず、お風呂に向かう。

お昼どきのせいか、とてもすいている。  
体を洗って、お湯に入ったとたん、

！！！！！！！！すごー！！

めっちゃすべすべー。

アルカリ性のお湯大好きなのだが、ここはすごい。

このお湯はヤバイ。感動してしまった。

しかも、お風呂にぶかぶか浮いているヒノキの輪切りがとってもいい香り。

そして、敬老の日スペシャル期間ということで、

子供たちから、おじいちゃんおばあちゃんへのメッセージがいっぱい書いてある。

「うちのたんぼもやってくれてありがとう」←めっちゃローカル！

「へいじつあずかってくれてありがとう」←助かるよね～！

「いつもおとしだまありがとう」←いっぱいくれるのかな？

「長生きしてね」←そうだよねー！

などなど・・・読んでいてほっこりした。

源泉が30分ごとにかけて流し状態となるらしく、勢いよくジャーっと出てきた。

源泉よ。きてごらんなさいと声をかけられて、触ってみると、熱くなく、水みたい。

一応顔にぬりぬりしてみた。（笑）

屋根付の露天風呂があり、そっちにも行ってみると、

体温と同じくらいの温度にしてあるお湯だった。

こんなの初めて。

より長く、ゆっくりと温泉を楽しめ、心臓にも優しく、美肌にも良い！らしい。

確かに、熱くもぬるくもなく、風に吹かれながら眠ってしまいそう・・・

なくらい、気持ちいい。

内湯と外湯と交互に入ればいつまでも入れそう。

熱いの苦手な私にはピッタリだ～！

しかも、だんだん人が減ってきて、いつの間にか貸切り状態に。

平日すんばらすい～！！

お風呂を出て、お土産にヒノキの輪切りと狭山茶の抹茶ジェラートを買う。



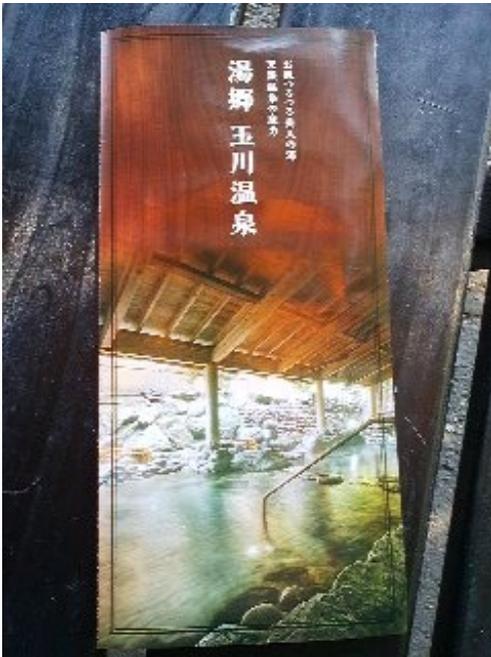
外のテーブルと椅子でダブルちゃんを眺めつつ、クールダウン。



今日はマップケースつけてきてみました。



パンフよく見たら、こないだだんなさんが秩父で行ったという温泉も同じ系列でした。



温泉を後にして左折→左折で気持ちいい道を走り抜ける。

・・・と、大きい道に出てしまい、しばらく行くと、農産物直売所があって、横目で見ながら通過。（ちょっと寄りたかった・・・）

気になっていた道の駅おがわまちへ寄ってみると、本日休業日。

月曜日がお休みらしい。



道の駅にもお休みがあるって知らなかった！  
また今度きてみようっと。

それから帰路につく。  
だんだん気温も上がってきて、メッシュジャケットで来て大正解！  
トラックに護衛されながら（？）家路に着く（笑）

そんなこんなで、久しぶりに楽しい時間を過ごせました（\*\_^\*）♪

本日の出費

温泉 800円

ヒノキ輪切り 300円×2コ

抹茶ジェラート 300円

本日の走行距離 66キロ

---

三好礼子さんは「砂の子」の中で言っていた  
「地面に足をつけて考えるとアレコレ悩んでしまうけれど、  
乗って動き始めたら、どうにかなるだろうという気がしてすごく楽になれる。」

ホントにそうなんだよね。乗ってしまえば、後は進むだけ！

## 巾着田ツアー（？）行きました（^\_^）(2013.9.18)

---

今日も実はオフでした。ソファには先客が・・・



仕方ないので、出かけるとしますか（笑）

三好礼子さんは「砂の子」の中で言っていた

「地面に足をつけて考えるとアレコレ悩んでしまうけれど、  
乗って動き始めたら、どうにかなるだろうという気がしてすごく楽になれる。」

ホントにそうなんだよね。乗ってしまえば、後は進むだけ！

目的地は巾着田。

巾着田は、高麗川沿いに500万本の彼岸花が群生している巾着型の土地で、  
今まで、行ってみたいなあ～と思っていたけど、いつも機会がなく、通過していた。

須藤英一さんの「日本絶景街道」でも紹介されていた（ということは、須藤さんも来た）巾着田

。

一度行ってみたいなあ。

今日は平日だし、見頃には少し早いから、きっと巾着田渋滞もないだろう。

宮沢湖の先の分岐を左に進み、信号を左折する。

今日はメッシュジャケットでも暑いくらい。

到着すると、バイク100円です～と言われて支払い、誘導され進む・・・

馬がいたりしてびっくりしながらも、砂利のダートで少しビビる。

バイク専用の場所（砂利）に案内されると、バイクはほとんどいなかった。

小川が流れ、ラベンダーやキバナコスモスも咲いている。



日和田山が見える開けた場所で、風が気持ちいい。



来て良かった♪

すでに満足（笑）

入り口で入場料を払おうとすると・・・



なんと今日まで無料期間だそうなの。  
ラッキー～！！

公園に入ると・・・



まだ満開にはなっていないけど、川沿いなんかは満開の場所もあったりして、感動～！！

しかも、平日のせいか、見ごろがもうちょいのせいか、結構すいてる♪

橋は川が増水していて渡れないみたい。



木漏れ日が気持ちよく、隅々まで歩いて彼岸花を満喫♪





思っていたより群生場所が広がったので、結構汗かきました。

栗の入った巾着田饅頭（250円）や、味噌付け饅頭（120円）に心動かされるが、のどが渴いていたのと、革パンがちょっときついので通過（笑）

水車小屋もありました。



缶コーヒーを買くと、  
バイクで来たの？いいねえ～といわれ、にっこり♪(\*^^)v  
えへ。いいでしょ♪



GOTO商店のグローブ、馴染んできました。  
さあて、明日から、（今日から？）またがんばるぞ～い(\*^^)v

本日の出費

駐車場 100円

缶コーヒー 120円

待ち合わせは、  
上信越自動車道の横川SAに8：00になった。

100キロ以上走った場所で待ち合わせするなんて、私初めて～！

私のダブルちゃん、時速100キロとか出すの、いつぶりかしら。  
久々の高速走行で振動がビリビリとすごく伝わって足が痺れてくる。



8月頃からブログを通じて知り合った  
w800乗りの[ミキティさん](#)と、ツーリングに行ってきました！

初対面なのに、楽しくって、夢みたいに時間が過ぎて・・・  
素晴らしい景色とおしゃべりと・・・  
二台のカッコいいダブルと革パンの2人のオンナ。  
か・な・り、格好良かった？です（笑）

以下、レポートです♪（かなり長いですがお許し下さい・・・）

にほんブログ村の女性ライダーさんの記事がきっかけで、  
ミキティさんのブログを知った私。

スペシャルエディションの格好良いw800に乗っている、  
お花の好きな女性がいるんだ～！と、  
嬉しさのあまり、コメントをさせていただいたのが8月上旬の事。

その後、ミキティさんもブログ村の女性ライダーランキングから  
私のブログを発見して下さって、コメントを下さった♪  
「今度どこかで待ち合わせでもどうですか？」

キャ～！！どうしましょ

ブログを通じた女子ツーに行った方々の記事を拝見していて、  
いいなあ～と思っていたのだけど、こんなに早くお誘いいただけるなんて！

それからは、コメント欄を通じて待ち合わせ場所を連絡しあって、  
待ちきれなくて、不安と期待と緊張でドッキドキの日々（笑）

初めてお目にかかるミキティさんとの待ち合わせは、  
上信越自動車道の横川SAに8：00になった。

100キロ以上走った場所で待ち合わせするなんて、私初めて～！

< 前日 9月20日（金） >

頭の中はツーリングのことでいっぱい（笑）

ドキドキしながら準備をして11時半頃就寝 z z Z . . .

< 当日 9月21日（土） >

朝5時に目覚ましをセットしていたけど、5分前に目覚める。

お陰で家族を起こさずにそ〜っと起きられた。

まだ外は暗く、西の空にはキレイな月が浮かんでいる。

東の空は朝焼けが美しい。

空気がひんやりとして、今日も良い天気になりそう。

タイヤに空気を少し入れて、予定通りの6時に出発！

～本日のウェア～

長袖の化繊Tシャツの上に、半そでの化繊Tシャツ、

その下には化繊のキャミソール。

その上に、ゴアウインドストッパーと、背中がファスナーで開くジャケット。

下は、CW-Xタイツの上に、GOTO商店の革パン。

化繊の靴下に、ゴアテックスのブーツ

シートバッグには、レインウェアと、寒くなった時用の冬用のポリプロピレンの長袖。

そしてお土産の檜の輪切りと、一応タオルと、メイク道具一式！

セルフのスタンドで給油してから高速のICに向かう。

久しぶりの高速&引っ越してから初めて乗るICで緊張して、

最初の30分はガチガチ。

ブレーキレバーに指をずっと添えていて、手がつりそうになる。

あ、高速はブレーキレバーに指を添えてる必要はあまりないだった。

途中で気づいてやっと楽になる（笑）

私のダブルちゃん、100キロとか出すの、久しぶりかしら。

7年前（！）にw650の姉さんと2人でツーリングした時は高速も2人だったけど、

今日は待ち合わせ場所の横川SAまで1人だ。

久々の高速走行で振動がビリビリとすごく伝わって足が痺れてくる。

心配していた渋滞は全くなく、  
ちょっと途中ノロノロ~とした所があったけど  
スムーズに流れていた。(ホッ)

圏央道→関越に入り、途中ノンストップで上信越道に入る。  
上信越道に入ると、山並みが見えてきて気持ちいい。

7:40 横川SAに到着!



すでに人がいっぱい賑わっている。  
屋根のあるバイク置き場は超小さくて、(5台くらい)  
バイクがあふれていたなので、手前の2輪駐車スペースにバイクを停める。

横川SAから妙義山を望む



8:00を過ぎると続々とバイクが入ってくる。

・・・と、赤いランドセルをつけたw800の上下革の女性が入ってきた。

おい！こっちで～す！と手を振って、駐車場を指差す。

「はじめまして～！」ミキティさんも緊張していたようで、は～！！とため息。  
やっと会えましたね～。ニコニコ。  
想像通り、とっても優しそうなミキティさん♪  
緊張と喜びでウルウルしちゃう。

横川SAにはタリーズコーヒーがあり、外のテラスでコーヒーを飲みながら  
早速おしゃべりタイム。



私たち、かなり気が合いそうですね！

～2時間経過～（笑）

会えただけでもかなり満足な私たちですが、  
せっかく来たので、そろそろ走りにいきましょうか？

横川SAの混み様と、インフォメーションでもらった軽井沢渋滞マップを見て、  
軽井沢に行くのは取りやめ、そのまま佐久小諸JCT→佐久南でほっとばーく浅科を目指す。

ミキティさんに先導してもらい、眺めのいい高速を走る2台のダブル。  
景色に見とれながら、ミキティさんの後姿にも見とれてしまった・・・  
ヘルメットから出ている髪が風になびいて、素敵～。  
眺めのいい所を通ると、手を上げたり、指を指したり。  
とってもオトナ♪なミキティさん

佐久小諸JCTで高速料金を精算し、中部横断自動車道で佐久南に向かう。  
この道路は佐久南より先はまだできていないようで、  
なんと、無料だった（！）

中部横断自動車道は1車線の道路でありがたいことに空いていた。  
佐久南に向かって気持ちよく下りながら走るルート。  
八ヶ岳連峰の大パノラマと、黄金色の稲穂が美しく、ミキティさんと会えた喜びと、  
1人で走ってきた緊張が解け、いろんな気持ちが混ざり合って涙が出そうになる。

あー幸せだ～私！！

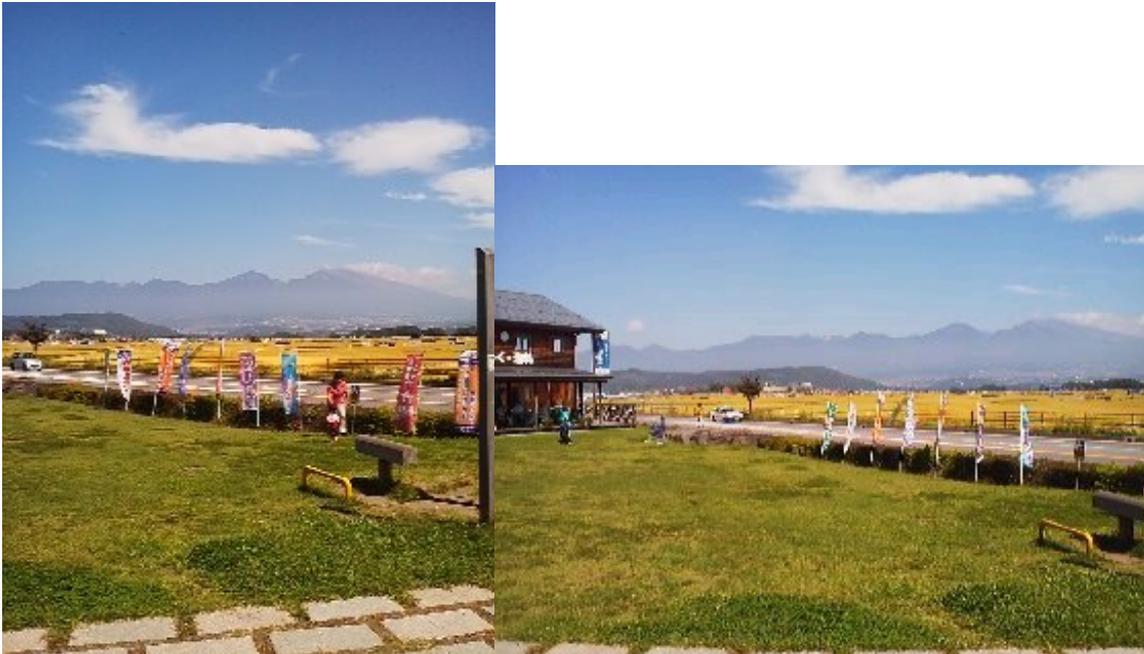
佐久南を出て、R254を右折してからは左右に金色の田んぼと、右手に浅間山連峰を望む。  
天気が良く、風がカラッとして気持ちい～い

ほっとばーく浅科に到着！



バイクを止めるとすぐ、  
ニューヨーク3丁目生まれだという（笑）地元のおじさんが話しかけてきてくれた。  
この辺は、水がなかった地域で、市川五郎兵衛という人物が水を引き、  
現在五郎兵衛米（ごろべえまい）というお米の里と呼ばれているそうだ。

おじさんにお礼をいい、ほっとぱーく浅科の眺めのいい所へ。  
浅間山を一望する佐久平の眺めがすばらしい～！



地元のおじいちゃんおばあちゃんが作った野菜や、スイーツなどが売っていて、  
食用ほおずきを一つもらって味見したり。（甘酸っぱくて、フルーティ～）  
ソフトクリームで休憩～♪



ここでもまた素晴らしい眺めのテラスでおしゃべりタイム。

このあとどうする～？

佐久南IC方面へ向かってR254を行くとコスモス街道、下仁田こんにゃくセンターや下仁田ICがある。

コスモスの先、ちょっとクネクネ峠みたいだけど、コスモス行って見ようか？  
賛成～♪

という事で、出発～

暑くなってきたので、長袖を脱いで半そでになり、ジャケットのファスナー全開～！  
途中、ガソリンを入れてコスモスの咲く道を走り抜ける。  
両側にピンクのコスモスが揺れる片側1車線の道。  
台風の影響か、斜めになっているけど、一生懸命咲いていた。  
かわい～い！

そして夢のようなコスモス街道は終わり、  
トンネルを抜け、クネクネ道に。  
そんなに急なカーブではなかったけど、  
追い越し禁止の道でガンガン追い越してくる車とか、  
バイク（！）とか、マナーの悪い人がいてちょっと怖かった・・・。

コンビニでちょっと休憩♪



ここでもお姉さんたちバイクで来たの？たいしたもんだねえ。  
と、おじさんに話しかけられる。

栃木と埼玉かい。 ???

不思議に思ったみたい（笑）

それから下仁田方面に向かい、ツーリングマップルに載っていた  
「おかた茶屋」で2台のダブルを眺めながらお蕎麦を食べ、



こんにゃくを試食したり、お土産を買ったり、おしゃべりしたり。



お店の方も感じよく、素朴な民芸品（どれも安い！）や  
自家製のこんにゃくやゆず味噌なども買える、すごくいいお店でした。  
神津牧場のソフトクリームも食べれるし、（さすがに食べなかったけど）  
ここのお店はすごく良いですよ〜♪

お土産がバッグに入りきれないくらいに色々買ってしまった（笑）  
こんにゃく、ゆずみそ、竹踏み、木の枝のお皿、磯部煎餅。



気づけばもう15:30。

名残惜しいけど、そろそろ帰ろうかあ～。

また、一緒に走ろうね！

と、下仁田ICから高速に乗り、藤岡JCTで私→関越道とミキティさん→北関東道  
なのでホーンを短く鳴らし、手を上げてお別れする。

うーん切ない～でもまた会えるよね～

帰りの高速は心配していたけど全然渋滞はなく、スムーズに流れていて、

17時過ぎ、家に到着。

ただいま～

娘はお昼寝していて、息子はお昼にだんなさんが連れて行ってくれた  
警察のイベントでもらった風船で楽しそうに遊んでいた。

お土産のこんにゃく味噌田楽♪



むちゃくちゃ美味し〜い！

本当に、楽しい一日でした。

ダブルに乗り続けていて、本当に良かった！

ありがとうミキティさん！ブログ村の女性ライダーさん！

だんなさん、子供たち、本当にありがとう〜！！

私の第3の人生が、幕開けしました(^\_-)-☆

本日の走行距離 307キロ

ダブルの燃費 行き26キロ／リットル 帰り33キロ／リットル

## あとがき

---

いかがでしたか？

この後、オンナ2人ダブルツーリングは回を重ねてゆきます。

そして、さらに女子ツーは進化して行って・・・！？

さらなる出会いも！？

さてさてどうなるのでしょうか(^O^)

Woman★Riderのツーリングは続きます。

※この本の情報はツーリングした当時のものです。

## レトロなバイクで行こう。Woman★Riderツーリング日記

<http://p.booklog.jp/book/113426>

著者：ピラ手

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/w650love/profile>

初版発行 2017年3月22日

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/113426>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト